


1999(平成11)年度

講義内容

全学共通科目

 駒澤短期大学

KOJIMA

講 義 内 容

目 次

I	全学共通科目 (国文科・英文科・放射線科)	
1	宗教教育科目	7
2	教養教育科目	
(1)	人文分野	25
(2)	社会分野	49
(3)	自然分野	81
(4)	総合分野	117
3	外国語科目	135
4	保健体育科目	189
II	全学共通科目 (仏教科-夜間開講-)	
1	宗教教育科目	233
2	教養教育科目	
(1)	人文分野	241
(2)	社会分野	251
(3)	自然分野	261
3	外国語科目	275
4	保健体育科目	289

国文科	宗教教育科目	必修科目	選択科目	
	教養教育科目	人文分野	社会分野	自然分野
		総合分野		
		英文科		
外国語科目				
放射線科	必修科目	英語	ドイツ語	
		フランス語	中国語	
		スペイン語	再履修	
		選択科目		
保健体育科目	必修科目	選択科目		
	仏教科 (夜間開講)			
仏教科 (夜間開講)	宗教教育科目	人文分野	社会分野	
	教養教育科目	自然分野	外国語科目	
		保健体育科目		

I 全学共通科目

(国文科・英文科・放射線科)

国 文 科	宗教教育科目	必修科目
		選択科目
		人文分野
		社会分野
		自然分野
英 文 科	教育科目	総合分野
		英語
		ドイツ語
		フランス語
		中国語
放 射 線 科	外国語	必修科目
		選択科目
		スペイン語
		再履修
		選択科目
科	保健体育科目	必修科目
		選択科目

1 宗教教育科目

1 宗 教 教 育 科 目

《 必 修 科 目 》

仏 教 と 人 間 〈短 国〉	(石 井 公 成)	7
仏 教 と 人 間 〈短 国〉	(袴 谷 憲 昭)	8
仏 教 と 人 間 〈短 英〉	(奥 野 光 賢)	9
仏 教 と 人 間 〈短 英〉	(木 村 誠 司)	9
仏 教 と 人 間 〈短 放〉	(角 田 泰 隆)	10
仏教と人間〔再クラス〕〈短国・短英〉	(木 村 誠 治)	10
仏教と人間〔再クラス〕〈短国・短英〉	(黒 丸 寛 之)	11
仏教と人間〔再クラス〕〈短国・短英〉	(奈 良 康 明)	11
仏教と人間〔再クラス〕(前期)〈短放〉	(袴 谷 憲 昭)	12

《 選 択 科 目 》

文 化 と 宗 教 〈短国・短英〉	(長谷部 八 朗)	13
社 会 と 宗 教 〈短国・短英〉	(池 上 良 正)	13
自 然 と 宗 教 〈短国・短英〉	(佐 藤 憲 昭)	14
坐 禅 〈短国・短英〉	(佐藤 秀孝・木村 誠治)	15

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いし い こう せい 石 井 公 成	短 国 1 必	4

講義のねらい

釈尊に始まる仏教の基本的な立場、インド・中国・朝鮮・日本などの仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について十分な理解を得、宗教に関する様々な問題について自分で調べ、また考えることができるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

原始仏教の基本的な立場を明らかにしたうえで、仏教史の流れ、禅および道元禅師の思想について講義する。その際は、受容と変容の過程に注意し、仏教以外の宗教との違いやまた呪術的な習俗とのかかわりなどにも注意する。

履修上の留意点

一人一人に頻繁に質問を行うほか、問題によっては討論を行うこともあるため、進んで取り組む態度が必要である。

成績評価の方法

試験の成績を重視し、あわせて講義に積極的に参加しようとしたかどうかを考慮する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

平川彰著『インド・中国・日本 仏教通史』（春秋社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	袴谷憲昭 <small>はかま や のり あき</small>	短国1必	4

講義のねらい

芥川龍之介は、『侏儒の言葉』の中で、「事実」について、「紛紛たる事実の知識は常に民衆の愛するものである。彼等の最も知りたいのは愛とは何かと言うことではない。キリストは私生児かどうかと言うことである。」と書いた。現代において、そういう「事実」がなお一層深く我々に食い込んできている。我々人間が益々民衆化してきたからである。しかるに、「事実」についてそのように嘆いた芥川は、そのキリストについては、「キリストも亦あらゆるキリストたちのようにいつも未来を夢みていた超阿呆の一人だった。若し超人と云う言葉に対して超阿呆と云う言葉を造るとすれば、………」と『続西方の人』で記している。しかも、芥川は、そのすぐ先の文章で、『新約聖書』の「一人の外に善者（よきもの）はなし、即ち神なり（There is none good but one, that is, God.）」（マタイ、19.17.；マルコ、10.18.；ルカ、18.19）を引用しているのである。このように、人間は、神ならぬ身でありながら、「事実」的ではなく「宗教」的に生きようとする時には、常に「未来を夢み」ということと遭遇しなければならなくなる。芥川の『西方の人』を読みながら、洋の東西のキリストたちのことを考え、仏教とはなにとということについても考えてみることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

上記を目的とするゆえ、絶えず自分でも『西方の人』を読むようにしてもらいたい。

履修上の留意点

第1回目の授業の前には、必ず末尾の「37 東方の人」を読んでおくこと。

成績評価の方法

学年末の定期試験によって評価する。

教科書

芥川龍之介著『侏儒の言葉・西方の人』（新潮文庫）1810 362円

参考書等

袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）1998年 4,800円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	おくのみつよし 奥野光賢	短英1必	4

講義のねらい

本授業は「仏教の教義」を建学の理念とする本学の特色を踏まえ、仏教の基本的教え、ものの見方、人間観といったことの教授を主たる目標とする。

 講義の内容・
 授業スケジュール

授業は、釈尊の伝記、中道、四聖諦、八正道といった仏教の基本的教えの解説を中心とし、あわせてインド・中国・日本の仏教の歴史についても目を配り概説する予定である。また、後期はプリントを配布して実際に仏教を学ぶ上での主要な原典を直接読むことも考えている。

上記のように授業の内容は仏教を中心とするが、仏教との対比の上で各宗教学にも言及し、短期大学生の一般教養としての宗教学全般についての基本的知識も習得できるよう配慮する。

履修上の留意点

大学（短大）での授業はともすれば、一方的な講義になりがちである。疑問に思った点やわからない点は遠慮せずにとどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末の試験によって評価する。なお、レポートの提出を求める場合もある。

教 科 書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	きむらせいじ 木村誠司	短英1必	4

講義のねらい

仏教は、日本人にとって身近な宗教であるが、その教養に対して正しい理解を持った人は、必ずしも多いとは言えない。本講義では、まず、仏教の歴史を辿り、般若心経等の經典類にも触れ、仏教とはどのような教えなのかを考察していきたい。

教 科 書

特定の教科書は用いず、適宜資料を配布する。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験あるいは、レポートによって行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	つの だ たい りょう 角 田 泰 隆	短放1必 (H11年度入学生)	4

- 講義のねらい

仏教とは、いわゆる宗教なのだろうか。仏教は、ある意味において科学ではないのか。…仏教が説く縁起とは事実であり、その四諦説は人生の洞察から生まれている。…そのような視点から仏教とは何かについて、できるだけ具体的に、わかりやすく解説する。
- 講義の内容・授業スケジュール

仏教の基本的な教義について解説するが、便宜的に、「人間」「自己」「現在」「教育」「生死」の五つの言葉を取りあげ、これらと関係させながら講義する。また、現代的問題も関連して取り上げたい。
- 履修上の留意点

教科書は用いないので、筆記用具を整え、講義の内容をしっかりと記録して頂きたい（定期試験には自筆ノートも持ち込みを許可する）。
- 成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。
- 教科書

なし。
- 参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	き むら せい じ 木 村 誠 治	短国・短英	4

- 講義のねらい

人間にとって最後になって大事なものは、生活の頼りではなく、生きる頼りである。私たちはその違いを明確にしているだろうか。この授業では釈尊にその智慧を学び、人間とは何か、そして生きることを問い直して行きたい。
- 講義の内容・授業スケジュール

 1. 釈尊の生涯、出家の目的、菩提樹下の悟り、四十五年の伝道を学び仏教の基本的思想を確認する。
 2. 釈尊の出家に至る「生死」の課題を、現代的に捉え直す。
 3. 現代における死の受容と生き甲斐を探る。
- 履修上の留意点

出席は重視する。積極的に聴講し学習することを希望する。
- 成績評価の方法

出席率及び聴講の態度、レポート、学年末の試験などにより総合的に評価する。
- 教科書

無し。必要に応じてプリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	くろ まる かん じ 黒 丸 寛 之	短国・短英	4

講義のねらい

仏陀の生涯とその基本的な教えを中心として、仏教や禅の文化と、すぐれた仏教者達の間像について講述する。再履修科目でもあるので、授業は講義とノートによって行い、成績評価は期末試験と出席状況によって決定する。特定の教科書は用いない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間〔再クラス〕	な ら やす あき 奈 良 康 明	短国・短英	4

講義のねらい

「仏教と人間」というテーマであるが、この講義では、仏教を「教学」の面からとらえるのではなく、「文化」としてとらえて、考えてみたい。

ここでいう「文化」とは、何等かの社会の成員が共有し、学習し、伝達していく行動様式、生活様式のことである。したがって、仏教の本義とされる精神性の高い教えや行法も、それが人々の間に価値観として受容され、実践されている限り、仏教「文化」である。しかし、同時に、このレベルの観念と修行だけでは、仏教は教団として歴史的に伝承され得ない。種々の通過儀礼、祖先崇拜儀礼、祈願儀礼、あるいは盆、彼岸のような習俗は民衆の精神的ニーズであり、これに対応したからこそ、仏教は各地に定着し、仏教の「文化」として発展してきた。

この両者を総合する立場から見たとき、仏教が人間の生活にとってどのような意味があり、どのように発展し、今日および未来の社会にどのような意義をもつかを十全に知ることができよう。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、仏教の基本的な思想、例えば、無常、無我、慈悲、奉仕、中道などとともに、通過儀礼、祖先崇拜儀礼、業と輪廻、功德の観念、等をも文化史の立場から講じてみたい。

参 考 書 等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍）1993年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再 ク ラ ス 〕 (前 期)	はかま 袴 谷 のり あき 憲 昭	短 放 (H10年度以前入学生)	2

講義のねらい

鎌倉時代の仏教を中心に、我が国における仏教思想の問題点を考えてみることにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

再履修者が中心なので人数が少ないことが予想されるので、その実際の人数にあわせてスケジュールも組んでみたい。

履修上の留意点

上記の理由により、常に参加して発表するくらいの意欲あるものでなければ、単位は再び取得できないものと思ってもらいたい。

成績評価の方法

平常点。

教 科 書

袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）1998年 4,800円＋税
なお、高価なものゆえ、申し出のあったものについては、別途の方法を考える。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化と宗教	はせべ はちろう 長谷部 八 郎	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会と宗教	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	短国・短英選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的視野から、特に近代社会の形成と宗教との関係を主題に講義する。私たちが今日生きている「近代」という時代が成立する過程において、宗教はどのような関わりをもったのか、そしてまた、将来どのような関わりをもつことになると予想されるだろうか。近代（そして現代）社会が抱える長所と難点とをしっかりと見つめながら、現代世界における宗教の意義や役割までも考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

マックス・ウェーバーによる古典的研究の問題意識からスタートして、ロバート・ベラー、ユルゲン・ハーバマス、ピーター・バーガー、アンソニー・ギディングズなどに至る現代宗教論、世俗化論、私事化論などを、批判的に検討する。抽象的な学説紹介におわらぬよう、身近な話題に照らして説明したい。近年の精神世界ブーム、新宗教や民俗宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

試験、レポート、出席状況などを総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。さしあたり、井上順孝編『現代日本の宗教社会学』（世界思想社）などが役に立つ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然と宗教	佐藤憲昭	短国・短英選	4

講義のねらい

私たちは、日常生活において、自己を取り巻いている自然(例えば、海、岩、浜、山、池など)そのものに宗教性を見いだすことがあるだろうか。恐らく「ない」と答える人が多いに違いない。だが、ひとたび宗教人類学的視点からとらえ直してみると、人類は古くから自然に対してさまざまな宗教的意味づけを施してきたことが知られる。この講座では、こうした自然に焦点を合わせて、「自然と宗教」の問題に接近することを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、まず、宗教人類学の成立史、構成内容、方法などについて具体的に解説し、次に、広義のアニミズム、民俗宗教と成立宗教、民俗仏教と教義仏教などについて学習する。後期は、内外の事例を通して、仏教文化と自然との諸関係について考察を深め、さらに曹洞宗の「グリーン・プラン」についても考えてみたい。

履修上の留意点

夏期休暇中に「宗教」に関する図書の感想文を作成してもらおうが、その提出は希望者のみとする。また、ときどき出席をとるので、欠席をした場合(または欠席をする場合)には、欠席届(形式は任意)を提出することが望ましい。

成績評価の方法

①受講生が少人数の場合にはゼミ形式にするので平常点で評価し、②受講生が多い場合には学年末のレポートで評価し、③受講生がすこぶる多い場合には学年末の筆記試験で評価する。①②③のどれを採用するのは、6月上旬頃に決定する予定。なお、②または③を採用した場合、その評価が59点以下である時には、感想文の点数と出席状況とを考慮して総合的に評価する。

教科書

佐々木宏幹『神と仏と日本人』(吉川弘文館)

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
坐禅（前期）（後期）	佐藤 秀孝・木村 誠治	短国・短英選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を抛り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を正し、静けさの中で自己を見つめるのです。これは生命の大地に立ち返るときでもあります。初めはごちないかもしれませんが、何回か経験する内に静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

 講義の内容・
 授業スケジュール

半期単位ですので、全体で15回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」（坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得）

4～15 「坐禅実習」（一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。）

（道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『普勸坐禅儀』・『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。また、禅の世界をより深い理解のため、各祖師方の語録も参考してみたいと思っています。）

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

レポート、出席態度、出席数を総合して成績評価とします。

教科書

随時、講師より資料をプリントし提供します。

参考書等

『坐禅-講本-』（更生社）2,266円

2 教養教育科目

2 教養教育科目

(1) 人文分野

文学(1) [日本文学「古典」]	〈短国・短英〉(平野由紀子)	25
文学(2) [日本文学「古典」]	〈短国・短英〉(平野由紀子)	25
文学(3)(4) [日本文学「古典」]	〈短国・短英〉(増尾聡哉)	26
文学(5)(6) [日本文学「近代」]	〈短国・短英〉(川島淳史)	26
文学(7) [日本のことば]	〈短国・短英〉(須田義治)	27
文学(8) [外国文学「アメリカ文学」]	〈短国・短英〉(田中保)	27
文学(9) [外国文学「ドイツ文学」]	〈短国・短英〉(松岡晋)	28
文学(10) [外国文学「中国文学」]	〈短国・短英〉(清水浩子)	28
文学(11)	〈短国・短英〉(休講)	
文学(12) [日本文学「近代」]	〈短国・短英〉(安藤幸輔)	29
歴史学(1) [日本中世史]	〈短国・短英〉(長塚孝)	29
歴史学(2) [中国古典考古学]	〈短国・短英〉(茂沢方尚)	30
歴史学(3) [東洋古代史]	〈短国・短英〉(茂沢方尚)	30
歴史学(4) [西洋近現代史]	〈短国・短英〉(渡辺知)	31
歴史学(5) [日本近世史]	〈短国・短英〉(桜井邦夫)	31
歴史学(6) [日本近代史]	〈短国・短英〉(立川章次)	32
芸術学(1) [日本美術]	〈短国・短英〉(山下裕二)	32
芸術学(2) [西洋美術]	〈短国・短英〉(矢野陽子)	33
芸術学(3) [音楽]	〈短国・短英〉(赤羽由規子)	33
哲学(1)(2)(3) [西洋思想の源流]	〈短国・短英〉 (寺田誠一・河谷淳・中村友太郎)	34
哲学(4)(5)(6) [近代の人間観と世界観]	〈短国・短英〉 (国嶋一則・戸田洋樹・古田知章)	34
哲学(7)(8)(9) [現代文明と人間]	〈短国・短英〉 (久保陽一・古田知章・箭野浩司)	35
論理学(1)(3)(4)(8) [科学方法論と現代論理学]	〈短国・短英〉 (山本敦之・麻生享志・ 久保陽一・小宮山隆)	35
論理学(2)(5)(6)(7) [科学方法論と現代論理学]	〈短国・短英〉 (箭野浩司・戸田洋樹・ 寺田誠一・山口祐弘)	36
科学史(1) [科学と技術]	〈短国・短英〉(山本敦之)	36
科学史(2) [近代科学の成立と展開]	〈短国・短英〉(小宮山隆)	37
倫理学(1)(2) [人間観]	〈短国・短英〉(国嶋一則)	37
倫理学(3) [価値観]	〈短国・短英〉(国嶋一則)	38
倫理学(4) [自由論]	〈短国・短英〉(国嶋一則)	38
倫理学(5) [制度とモラル]	〈短国・短英〉(久保陽一)	39
倫理学(6) [東洋倫理]	〈短国・短英〉(末木恭彦)	40
宗教学(1) [比較宗教文化]	〈短国・短英〉(池上良正)	41
宗教学(2) [聖と俗]	〈短国・短英〉(田中かの子)	42
宗教学(3) [思想と儀礼]	〈短国・短英〉(佐藤憲昭)	43
宗教学(4) [組織と運動]	〈短国・短英〉(洗建)	44
人文地理学(1)(2) [風土と文化]	〈短国・短英〉(矢野陽子)	44
人文地理学(3)(4) [空間と行動]	〈短国・短英〉(多田統一)	45

(2) 社会分野

社会学(1)〔現代社会を考える〕〈短国・短英〉(呉 炳 三)	49
社会学(2)〔現代社会を考える〕〈短国・短英〉(橋 爪 敏)	49
社会学(3)〔現代文化を考える〕〈短国・短英〉(橋 爪 敏)	50
社会学(4)〔現代文化を考える〕〈短国・短英〉(呉 炳 三)	50
社会学(5)〔社会生活を考える〕〈短国・短英〉(小 畑 和)	51
社会学(6)〔社会生活を考える〕〈短国・短英〉(橋 爪 敏)	52
統計学(1)〔社会現象の統計的分析〕〈短国・短英〉(稲 葉 敏 夫)	52
統計学(2)〔社会現象の統計的決定〕〈短国・短英〉(日 下 泰 夫)	53
文化人類学(1)〔文化と人間〕 〈短国・短英〉(佐 藤 憲 昭)	54
文化人類学(2)(3)〔文化と人間〕 〈短国・短英〉(藤 崎 康 彦)	55
文化人類学(4)〔諸民族とコスモロジー〕〈短国・短英〉(杉 井 純 一)	56
文化人類学(5)(6)〔諸民族とコスモロジー〕〈短国・短英〉(清 水 芳 見)	57
文化人類学(7)〔社会変化と価値観〕 〈短国・短英〉(小 川 順 敬)	58
文化人類学(8)(9)〔社会変化と価値観〕 〈短国・短英〉(内 山 明 子)	59
法学・憲法(1)〔法と社会生活〕〈短国・短英〉(長谷川 日出世)	59
法学・憲法(2)(3)〔法と社会生活〕〈短国・短英〉(和 知 恵 一)	60
法学・憲法(4)〔法と社会生活〕〈短国・短英〉(鷄 徳 啓 登)	61
法学・憲法(5)〔法と権利〕 〈短国・短英〉(和 知 恵 一)	62
法学・憲法(6)(9)〔法と国家〕 〈短国・短英〉(佐 藤 多 美 夫)	63
法学・憲法(7)(8)〔法と国家〕 〈短国・短英〉(新 田 浩 司)	64
法学・憲法(10)〔法と国家〕 〈短国・短英〉(織 田 晃 子)	65
法学・憲法(11)〔法と権利〕 〈短国・短英〉(茂 野 隆 晴)	66
法学・憲法(12)〔法と権利〕 〈短国・短英〉(光 田 督 良)	68
政治学(1)〔社会生活とデモクラシー〕〈短国・短英〉(早 川 純 貴)	69
政治学(2)〔政治システムと政治参加〕〈短国・短英〉(中 野 裕 二)	70
政治学(3)〔国際社会と日本〕 〈短国・短英〉(浦 田 早 苗)	70
経済学(1)〔現代社会と市場経済〕 〈短国・短英〉(浅 田 統 一 郎)	71
経済学(2)〔現代経済と人間〕 〈短国・短英〉(瀬 戸 岡 紘)	72
経済学(3)(4)〔現代経済理解へのガイド〕〈短国・短英〉(小 野 俊 夫)	73
社会科学論〔社会認識の思想〕 〈短国・短英〉(大 石 雄 爾)	74
教育学〔デス・エデュケーション〕〈短国・短英〉(柳 堀 素 雅 子)	75
教育心理〔大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－〕〈短国・短英〉 (野 中 弘 敏)	76
社 会 学 〈短 放〉(橋 爪 敏)	77
法 学 〈短 放〉(織 田 晃 子)	77
心 理 学 〈短 放〉(青 塚 徹)	78

(3) 自然分野

生物学(1)(2) [生態と進化] 〈短国・短英〉 (清水 善和)	81
生物学(3) [生物と環境] 〈短国・短英〉 (中村 敏枝)	83
地球科学(1) [変動帯としての日本列島] 〈短国・短英〉 (藤井 享)	84
地球科学(2)(3)(4) [古環境の復元] 〈短国・短英〉 (猪郷 久義)	85
地球科学(5)(6) [自然景観の成り立ち] 〈短国・短英〉 (市川 清士)	86
自然環境論(1)(2)(3)(4)(10) [自然と災害] 〈短国・短英〉 (宇和川 正人)	87
自然環境論(5) [環境と保全] 〈短国・短英〉 (漆原 和子)	88
自然環境論(6)(7) [環境と保全] 〈短国・短英〉 (古藤田 一雄)	89
自然環境論(8)(9) [自然史と環境] 〈短国・短英〉 (藤井 享)	90
自然環境論(11) [宇宙から見た地球環境] 〈短国・短英〉 (篠原 正雄)	91
自然誌(1)(2) [現代の自然像] 〈短国・短英〉 (清水 善和・篠原 正雄・ 藤井 享・三好 重明)	92
数学(1) [微積分学入門] 〈短国・短英〉 (三好 重明)	93
数学(2) [線型代数学入門] 〈短国・短英〉 (三好 重明)	93
数学(3) [現代数学入門] 〈短国・短英〉 (福田 賢一)	94
情報数学 [情報と論理] 〈短国・短英〉 (三好 重明)	94
物理学(1)(2) [光と物質] 〈短国・短英〉 (篠原 正雄)	95
化学(1) [物質の変化] 〈短国・短英〉 (休 講)	
化学(2) [衣食住の化学] 〈短国・短英〉 (御代川 貴久夫)	96
宇宙科学(1) [宇宙像の歴史的変遷] 〈短国・短英〉 (竹田 洋一)	97
宇宙科学(2) [星と銀河] 〈短国・短英〉 (篠原 正雄)	98
コンピュータ基礎(1) [コンピュータの実際] 〈短国・短英〉 (三好 重明)	99
コンピュータ基礎(2)(3)(4) [コンピュータの実際] 〈短国・短英〉 (上原 隆平)	99
コンピュータ基礎(5) [コンピュータの原理] 〈短国・短英〉 (三好 重明)	100
コンピュータ基礎(6) [コンピュータの実際] 〈短国・短英〉 (竹田 洋一)	101
コンピュータ基礎(7) [コンピュータの原理] 〈短国・短英〉 (上原 隆平)	102
人類学(1)(2) [人類の進化] 〈短国・短英〉 (遠藤 萬里)	103
心理学(1) [ヒューマン・ウォッチング] 〈短国・短英〉 (高橋 良博)	103
心理学(2) [ヒューマン・ウォッチング] 〈短国・短英〉 (横山 剛)	104
心理学(3) [ヒューマン・ウォッチング] 〈短国・短英〉 (山岸 直基)	104
心理学(4) [ヒューマン・ウォッチング] 〈短国・短英〉 (青塚 徹)	105
心理学(5)(7) [人間関係を考える] 〈短国・短英〉 (高橋 良博)	106
心理学(6) [人間関係を考える] 〈短国・短英〉 (鈴木 順一)	106
心理学(8) [人間関係を考える] 〈短国・短英〉 (山岸 直基)	107
心理学(9) [心を科学する] 〈短国・短英〉 (高橋 良博)	107
心理学(10)(11) [心を科学する] 〈短国・短英〉 (堀内 正彦)	108
心理学(12) [心を科学する] 〈短国・短英〉 (中丸 茂)	109
基礎物理学〈短放〉 (清水 忠良)	110
基礎化学〈短放〉 (原田 和正)	111
計算機言語概論〈短放〉 (杉田 徹)	112
基礎数学〈短放〉 (清水 忠良)	112
基礎生物学〈短放〉 (清水 善和)	113

(4) 総合分野

総合Ⅰ(1)〔仏教と自然〕	〈短国・短英〉(奈良康明) ……………	117
総合Ⅱ(1)〔旅〕	〈短国・短英〉(竹内啓一・富士昭雄) ……	118
総合Ⅱ(2)〔自然観察入門－富浦をめぐる人と自然〕	〈短国・短英〉 (清水善和・漆原和子・小高昭一・篠原正雄・ 藤井享・三好重明・柳澤紀夫) ……………	119
総合Ⅲ(1)〔人権と社会問題〕	〈短国・短英〉(ピアス, D. M.) ……………	120
総合Ⅲ(2)〔欧米の教育と日本の教育〕	〈短国・短英〉(岡崎寿一郎) ……………	120
総合Ⅲ(3)〔女性学・男性学〕	〈短国・短英〉(杉山秀子) ……………	121
総合Ⅳ(1)〔南アジアの宗教と社会〕	〈短国・短英〉(休講)	
総合Ⅳ(2)〔アメリカの黒人問題〕	〈短国・短英〉(中尾俊光) ……………	122
総合Ⅳ(3)〔ポスト・モダンの世界〕	〈短国・短英〉(丸小哲雄) ……………	123
総合Ⅴ(1)〔イギリス文化探訪〕	〈短国・短英〉(休講)	
総合Ⅵ(1)〔民族問題〕	〈短国・短英〉(原尻英樹) ……………	124
総合Ⅵ(2)〔イスラム〕	〈短国・短英〉(塩尻和子) ……………	125
総合Ⅵ(3)〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈短国・短英〉(上野富美枝) ……………	126
総合Ⅶ(1)〔トラブルと法的解決〕	〈短国・短英〉 (杉浦智紹・雨宮眞也・岡田外司博・ 関口雅夫・林幸司・藤本茂) ……	127
総合Ⅶ(2)〔都市論〕	〈短国・短英〉 (早川純貴・岩下弘・浦田早苗・江上渉・ 首藤素子・中野裕二・宝利尚一) ……………	128
総合Ⅷ	〈短国・短英〉(休講)	

(1) 人 文 分 野

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文 学 (1) 〔日本文学「古典」〕	ひらの ゆきこ 平野由紀子	短国・短英	4

講義のねらい

日本経済の成長により、国際社会に果たす日本の役割はますます大きくなってきている。このような現代において、真の国際人であるためには、自国の文化や歴史を知る必要がある。そこで、日本語の歴史を知るとともに、日本文学の原点とも言える万葉集をよみ、文学と社会との関わりについて考える。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、文学の発生の問題や日本語の表記の歴史を学び、万葉集の歌をよむことによってその歴史的背景を知る。具体的には、前期万葉の歌をとりあげる。万葉前期は、大化の改新や斉明天皇の百濟救援、壬申の乱など、激動の時代を経て、律令国家体制の確立された時代である。才媛額田王や歌聖柿本人麻呂などが活躍し、古代の歌謡からみずみずしい万葉の歌が生まれ出て、人麻呂によってひとつの完成をみた時代でもあった。歌の舞台は主に宮廷を中心とし、歌は歴史と密接に関わりながら存在した。前期万葉をよむことは、古代史を読むことでもある。できれば後期万葉の歌にも触れて、万葉の時代に生きた人々の考え方を学んでみたい。

履修上の留意点

教場において指示する。

成績評価の方法

教場において指示する。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

参 考 書 等

金井清一・小野寛編『年表資料上代文学史』（笠間書院）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文 学 (2) 〔日本文学「古典」〕	ひらの ゆきこ 平野由紀子	短国・短英	4

講義のねらい

日本経済の成長により、国際社会に果たす日本の役割はますます大きくなってきている。このような現代において、真の国際人であるためには、自国の文化や歴史を知る必要がある。そこで、日本語の歴史を知るとともに、日本文学の原点とも言える万葉集をよみ、文学と社会との関わりについて考える。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、文学の発生の問題や日本語の表記の歴史を学び、万葉集の歌をよむことによってその歴史的背景を知る。具体的には、後期万葉の歌をとりあげる。万葉後期になると、都を遠く離れた北九州や北陸、関東などに主要な歌の舞台が移り、大伴旅人や山上憶良、万葉集の最終編者と考えられる大伴家持など官人たちの他に、防人や名もない庶民の歌が多く収録されている。その時代がどのような時代であったのか、そこに生きた人々が何を感じ、どう生きたのか、できれば前期万葉の歌にも触れて、万葉の時代に生きた人々の考え方を学んでみたい。

履修上の留意点

教場において指示する。

成績評価の方法

教場において指示する。

教 科 書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

参 考 書 等

金井清一・小野寛編『年表資料上代文学史』（笠間書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (3) (4) 〔日本文学「古典」〕	増尾 聡 哉 <small>ます おとし や</small>	短国・短英	4

講義の内容・
 授業スケジュール

平安時代の代表的な文学作品には、女性の手になるものも多いが、一方では男性による和文も決して少なくない。本年度は、『大鏡』の兼家伝から道長伝を中心に読み、『源氏物語』や『枕草子』等に描かれた世界とは、また違った視点でとらえた平安貴族のありようを見直したい。併せて、歴史物語が成立する社会的・精神的背景にも触れる予定である。

成績評価の方法

年度末の定期試験による。

教科書

佐藤謙三校注『大鏡』（角川文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (5) (6) 〔日本文学「近代」〕	川島 淳 史 <small>かわ しま あつ し</small>	短国・短英	4

講義のねらい

日本の近代文学はどのように成立し、発展していったのか。明治から大正初めにかけての時代状況を見据えつつ、近代文学そのものの意義について考えていきたい。

講義の内容・
 授業スケジュール

今年度は日清戦争前後から大逆事件前後までの文壇の動向を中心に考察していきたい。明治二十年代から明治末年にかけての時期、日本は政府の主導により近代化を推進し、西欧の原理・思想・文明を取り入れて、国民国家を形成していった。しかし、その性急な近代化は他方でさまざまな社会問題を増殖させることになったのである。そのような時代状況のなかで、文学者たちはそれをどのように見つめ、作品に書き表していったのか。森鷗外、二葉亭四迷、樋口一葉、国木田独步、島崎藤村、夏目漱石といった作家の作品を通して、〈日本の近代〉の矛盾点や諸問題を浮上らせていきたいと思う。

履修上の留意点

欠席が三分の一に達した場合は、単位不認定となるので注意すること。レポート未提出の場合も同様。なお、講義中に指示した作品は読んでおかなければならないので、それなりの覚悟が必要。

成績評価の方法

出席状況及びレポートによって審査する。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

その都度、講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (7) 〔日本のことば〕	須田 義治	短国・短英	4

講義のねらい

日本人として日本語で言語生活をするうえで知っておくべき、日本語についての基礎的な知識を身につけるようにする。また、一般言語学の観点から日本語をみることによって外国語や言語一般に対する理解を、より深めることができるようにする。

内容は、文法論を中心として、音韻論や語彙論など、日本語学の基礎的な領域をあつかう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (8) 〔外国文学「アメリカ文学」〕	田中 保	短国・短英	4

講義のねらい

アメリカ文学の歴史は極めて浅い。アメリカ文学の主潮を辿りながら、主要な作家とその代表作品を取り上げ講義する。

 講義の内容・
 授業スケジュール

前期は講義形式でアメリカ文学を概観し、受講者各自で興味ある作家を2人選び、それらの作家の作品を自由にそれぞれ1編選んで読んで、その作家紹介と作品の内容・主題についてレポートを提出してもらう。

後期は受講者各自が主要作品一覧表から関心をもつ作家を1人選び、その作家の作品を読むグループを編成して、グループ発表形式で授業を行います。

履修上の留意点

教養教育科目ですので、作品はすべて翻訳本で読んでもらいますが、アメリカ文学にいささかでも関心のある学生の受講を希望します。

成績評価の方法

レポート・発表・出席等を総合的に評価する。

教科書

教科書は用いません。

参考書等

参考となる書籍については、適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (9) 〔外国文学「ドイツ文学」〕	まつ 松 おか 岡 すずむ 晋	短国・短英	4

講義のねらい

「19世紀ウィーン民衆喜劇——ライムントとネストロイ——」というテーマで講義をおこないます。

講義の内容・
授業スケジュール

第一次世界大戦終了時までのオーストリアは「ハプスブルク帝国」と称され、ドイツ系住民の他に、イタリア人、マジヤール（ハンガリー）人、スラヴ系諸民族も含む広大多民族国家を形成していました。ドイツ系住民が政治、行政、軍隊などで支配的地位を占めていたために、オーストリアは「ドイツ語圏」に属するとみなされてきました。そのことは、必ずしも間違いであるとは言えませんが、その民族構成から見て、当時のオーストリアではゲルマン的要素以外に、ラテン的要素、スラヴ的要素も無視できない力を有していました。その点がドイツとは決定的に異なるところです。本講義では、このような歴史的背景を持つ帝都ウィーンに興隆した民衆喜劇について、その代表的作家フェルディナント・ライムント Ferdinand Raimund 及びヨーハン・ネストロイ Johann Nestroy の作品（戯曲）を中心に論じます。具体的には次の三点について話することになります。

1. 19世紀前半のハプスブルク帝国
2. 当時の帝都ウィーン——トポグラフィー、民衆生活——
3. ライムントとネストロイの作品分析

履修上の留意点

講義の過程で重要なテクニカル・ターム、概念などをドイツ語で板書することはありますが、ドイツ語の知識は受講に際して必ずしも必要ではありません。歴史、文学一般に興味を持つ方々の受講を歓迎いたします。また、講義の中で紹介する参考文献のうち何冊かは読んでくださるよう希望いたします。

成績評価の方法

成績評価は、あらかじめ与えられた課題についての学年末筆記試験によっておこないます。

教科書

教科書は用いません。

参考書等

参考文献は、その都度紹介いたします。なお、講義中に資料をコピーで配布する予定です。

その他

時間的に余裕があれば、ライムントとネストロイの作品をビデオ鑑賞したいと思っております。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (10) 〔外国文学「中国文学」〕	し 清 みず 水 ひろ 浩 こ 子	短国・短英	4

講義のねらい

『詩経』は四書五経の経書の一つとして研究されてきたが、フランスのマルセル・グラネーが歌謡として解釈して以来、その解釈は古代の祭祀風俗の観点からも関心が持たれるようになった。本講義では従来の解釈を基本に、新しい解釈にも注目し、『詩経』という歌謡によって古代中国社会への理解を深めたい。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

石川忠久著『詩経』（明德出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (12) 〔日本文学「近代」〕	あん どう こう すけ 安 藤 幸 輔	短国・短英	4

講義のねらい

近代文学の特質を図式的に言えば、「家」に象徴される前近代性、半封建性と、その呪縛から脱出しようとする「近代的自我」との対立葛藤の姿といえることができる。それはまた「男性社会」の抑圧のなかにあつて人間的な生き方を求める女性の苦悩の歴史でもあり、ジェンダー（性）の問題への展開も視野に入ってくるのだが、ここでは近代文学に描かれた女性を考えることで、その時代と社会との関係を明らかにし、日本文学の歴史のなかで「近代文学」がどのような位置を占め、意味をもっているかもあわせて考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

ここでは時代を追って、代表的な作家の作品のなかの〈女性〉を具体的に考えてゆく。すなわち、鴎外「雁」、四迷「浮雲」、一葉「たけくらべ」「十三夜」、鏡花「高野聖」、独歩「竹の木戸」、藤村「ある女の生涯」、漱石「三四郎」、荷風「ひかげの花」、潤一郎「痴人の愛」、直哉「赤蛙」、武郎「或る女」、龍之介「お富の貞操」、犀星「性に目覚める頃」、康成「雪国」など。（以降の作品もあるが掲げるのを省略する）。

教科書

テキストは、そのつど指示する。

参考書等

参考文献は、そのつど指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (1) 〔日本中世史〕	なが つか たかし 長 塚 孝	短国・短英	4

講義のねらい

室町時代の社会と国家について概論する。

教科書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (2) 〔中国古典考古学〕	も 茂 沢 方 尚 <small>も ざわ みち なお</small>	短国・短英	4

講義のねらい

最近の中国考古学のめざましい発掘報告はおびただしいものがあるだけにとどまらず、人類の歴史を再考せしめるような発見にみちている。それらの知見を無視することは学問にたずさわる者の良心が許さないであろう。

私は一介の中国古典学徒であるにすぎないが、その古典とは悠久なる中国の古代に花ひらいた諸子百家と後世呼称された人々の思想の歴史的な再考察を志す者にすぎない。その古典は、老子、孔子、荘子、列子、楊子、墨子、孫子、管子、申不害、慎到、商鞅、韓非子、等々、と多彩な人々の思想を歴史的に考察することになる。人間があらん限りの知恵をぶつけ合う、この錚々たる人々の織りなすドラマをともに考え苦しむことは、我々が生きることを反省させる鏡たることに疑問の余地がない。その中国の古典を最近の考古学的発掘資料が、それを理解するために一助となる場合がある。従来の中国学が要求する精緻精密な文献学に充分注意しながら、最新の考古学的発掘成果とを合致させるという神技に近いことに挑むこととする。

教 科 書

『韓非子』の思想史的研究』(近代文藝社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 学 (3) 〔東洋古代史〕	も 茂 沢 方 尚 <small>も ざわ みち なお</small>	短国・短英	4

講義のねらい

ここに言う東洋は、かつて中国人が呼んだ東洋＝日本の意味ではない。既にそれは日本では広くかつ多様なアジアを意味することは言うまでもない。その多様なアジアの東に連綿と悠久なる歴史を有して、凄じい生命力を示す中国が存在する。

私はその中国の先秦時代、わけても春秋戦国時代について、なかでも、その時代に知恵のあらん限りを尽くして生きた人々に関して深い関心を抱いている。戦乱にあけくれる中国古代のそれらは華々しい思想家達の又活躍した時代であった。そういう人々を諸子百家と呼称するが、その後世に与えた影響は図り知れない。これらは単に中国の独占するものではなく、広く諸外国でも研究されている。それらの辛苦にみちた諸成果に充分なる配慮をしつつ、私は天才と言われる法家の韓非子を中心にして、諸子百家を概観しつつその思想の根源に横わる思想、道家に挑んでみたいと思っている。

教 科 書

『韓非子』の思想史的研究』(近代文藝社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 (4) 〔西洋近現代史〕	わた なべ ちか 渡 辺 知	短国・短英	4

講義のねらい

ヨーロッパの近現代の歩みを世界システム論の観点から見て行くこととします。ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、又、過去の出来事が現在の社会にいかに関わりつづいたのか、あるいは、一地域の動向がその他の地域の動向といかに関わりつづいているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方を会わせて提示できればと希望しています。

 講義の内容・
 授業スケジュール

ヨーロッパ諸国が15世紀頃より積極的にヨーロッパ外に進出した結果、ヨーロッパとアフリカ大陸、アメリカを結ぶ大西洋システムが成立しました。このシステムは、18世紀の末から19世紀初にかけておきた一連の事件（アメリカの独立、産業革命、フランス革命、ハイチ革命など）を通じて、世界へと拡大していきます。授業ではその過程を追いつつ、その意味を考えていくこととします。

成績評価の方法

講義の区切りに提出してもらった講義内容をまとめたミニ・レポートを平常点とし、学年末の試験と総合して評価します。

教科書

使用しません。

参考書等

講義中に随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 (5) 〔日本近世史〕	さくら い くに お 桜 井 邦 夫	短国・短英	4

講義のねらい

近世交通史を中心に講義する。街道・宿場の役割や実態、庶民の旅の実情などから近世の社会を見ることにする。

成績評価の方法

学年末試験・レポート等で総合的に評価する。

教科書

使用しない。随時プリントを配布する（B4版）。

参考書等

講義中に随時紹介する。

そ の 他

必要に応じ、スライド等を用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 (6) 〔日本近代史〕	たちかわ しょうじ 立川 章 次	短国・短英	4

講義のねらい

日本史の流れを概観し、幕末から維新时期にかけての過程を考察する。
幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し、崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。
このことを留意して新しく維新史を学びたい。

成績評価の方法

定期試験と出席日数により総合的に評価する。

参考書等

尾佐竹猛著『幕末遣外使節物語』（講談社学術文庫）800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学 (1) 〔日本美術〕	やま した ゆうじ 山 下 裕 二	短国・短英	4

講義のねらい

「日本美術」に対する、国定化したイメージ（渋い、おとなしい、きれい、リアルじゃない、古くさい）をはぎとることを、当座の目的とする。博物館でかしまって見るような姿勢ではなく、絵に近づいて、声をたてて笑ったり、深く考えこんだり、眼からうるこが落ちたりするような、実感を重んじる姿勢で、イメージをとらえてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

今、考えているテーマは以下の通り。①北斎の肉筆画 ②1960～70年代のマンガ ③雪舟の水墨画 ④源頼朝像、など。この講義は時代を追った概説ではない。形だけの「教養」を身につけたい学生にとっては不向きなので、知的な考察によって感性に裏づけを求める学生に出席してもらいたい。

履修上の留意点

日本美術に対する事前の知識は全く要求しない。むしろ真っ白な気持ちでイメージと向きあってほしい。

成績評価の方法

レポートにより評価する。

教科書

なし。

参考書等

参考文献は適宜コピーにて配布する。

その他

スライド・ビデオを多用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 〔西洋美術〕 (2)	矢野陽子	短国・短英	4

講義のねらい

芸術の観念は近代において成立したと考える見方があるが、芸術作品そのものは人類の歴史とともに古くから存在する。芸術は我々の社会のうちにあり、そのあり方は、宗教、政治、娯楽など生活と関わりあって存在している。したがって、作品を深く理解するためには、制作された時代の社会状況や表現の約束事や特徴などを知ることが必要である。この授業では、西洋美術の主要な流れをつかみ、さまざまな芸術の傾向を広く理解し、あわせて象徴や表現の意味、様式についても考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

時間的にも地理的にも広汎にわたる西洋美術のうち、この授業では主としてルネサンスから近代まで対象とする。しかし、西洋の美術を理解するうえでは古典古代、すなわちギリシャ、ローマの知識は必須であるので、最初に序論として古代から始まる全体の流れを概観するつもりである。スケジュールとしては、前期は主として15～16世紀の美術を、後期は17～19世紀の美術を扱う予定である。

成績評価の方法

前期レポートと学年末試験および授業態度によって評価する。

教科書

監修・高階秀爾『カラー版西洋美術史』（美術出版社）1,900円

参考書等

参考図書は授業中、適宜紹介する。

その他

授業では、毎回スライドを使用して、具体的に作品を見ながら講義を進めていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 〔音楽〕 (3)	赤羽由規子	短国・短英	4

講義の内容・授業スケジュール

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもたちの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えて行きたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (1) (2) (3) 〔西洋思想の源流〕	寺田 誠一・河谷 淳 なかむらともたろう 中村友太郎	短国・短英	4

講義のねらい

現代にいたるまでの西洋思想の西洋思想の歴史的形成の展望を主眼とする。

講義の内容・
授業スケジュール

フィロソフィア（哲学）を主体的探求の意味で捉えるのであるべく現代の問題意識に基づいてディスカッションすることを心がけたい。

履修上の留意点

講義内容への各自の積極的なリアクションを前提とするので、そのつど自ら思考し応答する心構えが必要である。

成績評価の方法

上記の授業の特性に対応して、レポートおよび試験の他、毎回の簡単なリアクション・ペーパーの提出による総合的な評価を行う。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

開講時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (4) (5) (6) 〔近代の人間観と世界観〕	くにしま かずのり・とだ ひろき ふるた ともあき 古田 知章	短国・短英	4

講義のねらい

私たちはそれぞれ自分なりの人間観・世界観に従って生きているといえるが、日常生活のなかでは、それを表立って吟味してみることはまれであり、ましてや、その背景について明確な認識を得ようとする事は、ほとんどない。

しかし、その背景を探ってみると、それが近代ヨーロッパ的な色彩を帯びていることもあり、また、昨今話題にのぼる諸問題——例えば生命倫理の問題、環境問題等——も、近代ヨーロッパの人間観・世界観との対決に関するものであることが意外に多い。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は、近代ヨーロッパの人間観・世界観を中心として、以下の順で概観する。

- ①. 古代から中世へ ②. ルネサンス期 ③. 17世紀 ④. 啓蒙期
⑤. 18世紀から19世紀へ ⑥. 20世紀（現代）

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
哲 学 (7) (8) (9) 〔現代文明と人間〕	久保 陽一・古田 知章 や 野 ひろし あ 野 浩司	短国・短英	4

講義のねらい

主に19～20世紀の現代哲学を学び、それを通して現代文明の中で人間が直面している諸問題の解決の手掛りを得ることをめざす。近代の科学革命や啓蒙主義によって鼓舞された人類の進歩や科学技術への信頼は、今日、自然環境の破壊、日常生活の均質化や匿名化、次世代にも及ぶ生命倫理の問題、民族や宗教の対立など、新たに生じた諸問題のために、色褪せ疑わしくなっている。しかしこれらの問題の解決のために、近代の科学技術や啓蒙主義の達成をすべて放棄することもできない。そこでこれらの問題に正しく対処するためには、問題のよって来たる所以が何であるかを明らかにし、様々な解決の処方箋を原理的および具体的に検討することが必要と思われる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 講義では、19～20世紀の諸哲学を中心に、以下のような内容を取り上げる。
- ①、近代化とは何か。
 - ②、ドイツ観念論、マルクス主義、生の哲学と実存主義、プラグマティズム、分析哲学、現象学と解釈学等。
 - ③、生命倫理、言語、身体等。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等によって評価する。

教 科 書

開講時に指定する。

参 考 書 等

講義の際にその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論 理 学 (1) (3) (4) (8) 〔科学方法論と現代論理学〕	山本 敦之・麻生 享志 く 久保 陽一・小宮 山 隆	短国・短英	4

講義のねらい

言葉をしゃべる時、文法を意識することがほとんどないように、論理もまた、その存在が意識されることはあまりない。そのような論理がどのように取り出されるか、取り出すことにどのような意義があるかを考えていく。
記号論理では、論理計算のたくいにも多少つきあってもらうが、それ以上に、論理性を養ったり、記号化の仕組みへの理解を深めてもらうことに重点をおきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

伝統論理、記号論理および帰納型の推理を、この順にほぼ等分に見ていく。なお、帰納推理の項では科学方法論にも言及する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外には予備知識等、一切必要としない。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義の際に、その都度紹介する。

そ の 他

講義が中心になるが、問題演習の時間をできるだけ多くとることにしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論 理 学 (2) (5) (6) (7) 〔科学方法論と現代論理学〕	や の 矢野 浩司・戸田 洋樹 てら 寺田 誠一・山口 祐弘	短国・短英	4

講義のねらい

論理学は、広義には、形式論理学と科学方法論（帰納法を含む）との二つを含むが、ここでは主として形式論理学の基本について講述する。ここで形式論理学というのは、正しい思考の法則の体系（公理体系）のことであり、アリストテレスがまとめて、ほぼ18世紀に至るまで支配的であった伝統的論理学と現代の数学的論理学の二つを含んでいる。
本講義のねらいは、科学的に正しく考えるための条件の一つとしての、論理的思考を身につけることである。

講義の内容・授業スケジュール

内容は、① 伝統的論理学、② 概念論、③ 命題論、④ 推理論
⑤ 記号論理学、⑥ 命題論理、⑦ 述語論理の順で講述する。

成績評価の方法

成績は、中間試験と期末試験、授業時の小テスト等で評価する。

教 科 書

開講時に指定する。

参 考 書 等

授業中その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
科 学 史 (1) 〔科学と技術〕	やま 山 本 敦 之	短国・短英	4

講義のねらい

ヨーロッパという一地方の文化圏に生まれた「科学」は、これと結びついた「技術」を媒介して、今では極めて大きな影響力を人類全体に及ぼし、好むと好まざるにかかわらず数多くの問題を我々に突きつけている。環境問題や生命倫理の問題はその代表と言える。これらの問題は、具体的な技術や法律によって単純に解決するものではない。むしろ自然観・生命観の歴史的知識が必須の前提なのである。

今年度の講義では、このような科学技術に由来する諸問題の理解を目指して以下の諸テーマを中心にして講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. キリスト教と科学
2. 広義のルネサンス
3. 狭義のルネサンス
4. 17、18、19世紀の時代と思想家たち
5. ヨーロッパ近代と中国・日本
6. 原子論とストアと近代ヨーロッパ
7. 生物学・解剖学・生理学の歴史
8. 心理学の歴史
9. 現代科学
10. 現代の諸問題と自然観の歴史

教 科 書

教科書は特に指定せず、プリントを配布し、これを中心に行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
科学史 (2) 〔近代科学の成立と展開〕	こみやま たかし 小宮山 隆	短国・短英	4

講義のねらい

科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。

そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。

 講義の内容・
 授業スケジュール

今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教科書

八杉龍一『図解・科学の歴史』（東京教学社）

参考書等

講義の際に、その都度紹介する。

その他

通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等をもちいて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学 (1) (2) 〔人間観〕	くに しま かず のり 国 嶋 一 則	短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実なとか、理性的などいわれる「生き方」を探求する哲学である。

われわれが自己の「生き方」を決めるためには、自己の人生観をたてなければならない。人生観とは、この世における人生とは何かについての考えである。したがって、人生観の基礎には、人生を営む主体としての「人間とは何か」という人間観がある。

われわれは、人間自身をいかに考えるかという人間観を確立することによって、自己の正しい「生き方」を決めることができる。

 講義の内容・
 授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、哲学の考え方の学習に重点をおく。後期は、人間観の歴史的変遷を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教科書

学期のはじめに発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	くにしまかずのり 国嶋一則	短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実とか、理性的と言われる「生き方」を求める哲学である。われわれが自己の生き方を求めるということは、自己が生きてゆくための支えを求めることにほかならない。
 「支え」となるものは、生きてゆくのに頼りとなり、生き甲斐となるような価値のあるものである。このような価値は、生きる目標ないし目的となるものであって、生きることを意味あらしめるものである。したがって価値を見誤ると、われわれは正しい価値観をもつことができず、また人生観にも誤りを生ずる。なぜなら、価値観に基づく生き方が人生観だからである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、価値の構造を考察する。後期は、価値観の歴史の変遷を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教科書

学期のはじめに発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4) 〔自由論〕	くにしまかずのり 国嶋一則	短国・短英	4

講義のねらい

倫理学は、われわれ人間がいかに生き、何を行為すべきかを探求する学問である。言い換えれば、人間として正しいとか、真実とか、理性的などと言われる「生き方」を探究する哲学である。われわれ人間は、意志の自由をもち、その自由によってみずからの行為の選択をしてゆかなければならない。すなわち、われわれは自己の意志によって行為を選択する自由をもつのである。自由は、行為の主体たる人格を担うところの価値を可能ならしめる制約として、倫理学の根本概念をなしてきた。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、哲学・倫理学の基礎的概念と、自由の語義を考察する。後期は、近代において、自由が自由主義として展開した過程を考察する。

履修上の留意点

書物の読解力をつけるために、教材の重要な箇所を取り上げて解説する。

成績評価の方法

出席回数、筆記試験、レポートによって成績を評価する。

教科書

学期のはじめに発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫 理 学 (5) 〔制度とモラル〕	く ぼ よう いち 久 保 陽 一	短国・短英	4

講義のねらい

現代における「倫理」の意味を制度や組織との関連で考察する。今日人々は戦前の家父長制や封建主義の人間関係のしがらみから解放され自由になりはしたが、その自由は、何をしても構わないというエゴイズムに頹落し、それ故種々の無用な抗争を生ぜしめる可能性をも持っている。いかに人間が自由になろうとも、社会生活が存立し続ける以上、例えば学校や企業などの組織の中で、他者との相互依存関係を拒むことはできない。つまり個人の権利と社会的規制との調和をどのように図るか、個人にどのようなモラルが組織の中で要求されるのか、更にそのような法や道徳は人生の根源的問題との関連でどのように基礎づけられるのかが、あらためて問われているように思われる。この問題を原理的に考察するために、主に近現代の倫理学説を学び、検討することにする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では次のような項目を取り上げる。

- ① 社会契約思想とその問題点——ホッブス・ロック、ルソー・ヘーゲル・マルクス、日本国憲法、ロールズ等。
- ② 道徳の原理、法と道徳の関係——快樂主義・功利主義、理性主義、カント、ヘーゲル。
- ③ 人生論——パスカル、ハイデガー等。

履修上の留意点

講義ノートをよく取ること、分からない点は質問すること、一年間で少なくとも一冊古典的書物を読むようにすること。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指定する。

参 考 書 等

授業中その都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
倫 理 学 (6) 〔 東 洋 倫 理 〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	短国・短英	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の中で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ること、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ること、我々の未来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む——ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・
 授業スケジュール

講義のねらいに書いたことと矛盾するが、我々の先人は決して「倫理学」を説いたのではない。現在の我々の眼から見ると「倫理学」として見えるということである。この講義では、始めに現代の思考枠を排除して漢文古典の思想を見てみたい。その後、「倫理」の知恵をそこから学びとりたい。そこで、授業は、最初に、様々な面から中国古典の世界の基礎にある「世界観」を浮彫りにし、現代日本人の常識を離れて漢文古典の世界を眺める準備をし、その後、漢文古典の世界の多様性の一斑を窺っていかうと考えている。

履修上の留意点

漢文の基礎的教養があることが望ましい。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無－質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教 科 書

『原典対照中国思想文学史』（明治書院）

参 考 書 等

講義中に適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (1) 〔 比 較 宗 教 文 化 〕	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	短国・短英	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」(マックス・ミュラー)という信念が前提になっていた。この命題が常に正しいかどうかは別として、「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題になっていくであろう。

本講義では、比較宗教学の基本的な視点を紹介しながら、諸宗教の比較を試みたいいくつかの研究成果を学ぶことにする。

 講義の内容・
 授業スケジュール

宗教学の成立史と、その基本的な視点を示したのち、宗教進化論、宗教類型論、宗教的世界観、人間観、儀礼、救済論などの個別テーマごとに概説していく。

成績評価の方法

試験、レポート、出席状況などを総合的に評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。さしあたり、脇本平也『宗教学入門』(講談社学術文庫)、井上順孝他編『宗教学を学ぶ』(有斐閣)、などが役に立つ。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔 聖 と 俗 〕	た な か 田 中 かの子	短国・短英	4

講義のねらい

「聖」と「俗」という対立概念については、さまざまな解釈が可能である。本講では宗教的世界観の根柢によこたわるひとつの関係式としてあつかう。

宗教の核心をなす人格的「神」や非人格的「法」がつかさどる世界を「いま・ここに」観て生きる「人間」として、「神」の畏るべき権威や「法」の真実性は「聖なるもの」の根源としてとらえられる。その完全さ・神秘性・絶対的方に対して「人間」の至らなさ・無力なことを自覚すると、「聖なるもの」の顕われとみなされる出来事、場所、時、季節、人などから隔離された自己の立場や状況がおのずと「俗なるもの」として設定されてくる。この意味において「聖なるもの」と「俗なるもの」は、宗教的世界観のなかに取りこまれた「二通りの生存のありかた」であるということが出来る。宗教生活とは、限りあるみずからの生命（いのち）をより善くまっとうするために「俗なるもの」を「聖なるもの」のなかに移しかえていく絶えざるいとなみのことである。

宗教生活における「日常から非日常」「不浄から清浄」「苦悩から救い」「罪から悔悛」「離叛から和解」「死から再生」などのプロセスは、「人間」が「聖なるもの」との出会い・対話・一体感などをとおして「聖なるもの」の世界へ復帰できるということを物語っている。

要するに「聖」と対置される「俗」の概念は、「聖」を志向してやまない人間存在を前提としており、「聖」と「俗」はときに反対・矛盾の関係を示すようにみえながらも、実際には、つねに内的連関をたもつ不即不離の「聖と俗」を構成しているのである。

一般に「聖」と「俗」は「宗教」と「非宗教」の対比としてあつかわれることが多い。上述の論理にしたがえば、宗教的世界観のなかに取りこまれた「俗」はもともと「聖」の領域に依存していることになる。それに対し、「非宗教」としての「俗」とはどのような「人間」のありかたをさすのだろうか。そこには、「聖」とはまったく無縁な世界が想定されているのだろうか。

「人間」はこのように、みずからが設定した概念にもとづいて「世界」を観る生きものである。本講は、ものごとを「聖と俗」「善と悪」「美と醜」などに二分して考える人間の本性をおさえたうえで、1) 宗教学の基本的立場をふまえ、2) 世界の諸宗教の歴史・思想・文化における「聖と俗」の諸相を観察することにより、3) 「宗教」とは何か、「人間」とは何かという問いを深めていくことをねらいとする。

講義の内容・
 授業スケジュール

I. 宗教学とは何か

1) 「宗教」という用語の起源と「作業仮設的」限界、2) 「宗教学」成立の背景。

II. 宗教生活の原初形態

1) 「いのち」に気づく、「いのち」の表現、「いのち」のゆくえ、2) 宗教の民族学的起源論、3) 呪術・宗教・科学について。

III. 宗教の類型論

1) ひとつの宗教の諸相・さまざまな宗教の比較、2) 人格的「神」の宗教と非人格的「法」の宗教、3) 権威主義的宗教と人間主義的宗教、4) 神秘主義的宗教と預言者の宗教、5) 汎神的宗教の諸相、6) 「救い型」「悟り型」「つながり型」の三類型、7) 民族宗教と世界宗教の歴史的連関、8) 「宗教進化の五類型」説（宗教史における「進化」とは何か）。

IV. 宗教を構成するもの

1) 「聖なるもの」は目に見えない、2) 「聖なるもの」からのメッセージ、3) 「聖なるもの」を祀る空間、4) 「聖なるもの」に向かって祈り集う人々、5) 「聖なるもの」をめぐる行なわれること。

V. 芸術と聖なるもの

1) 「偶像」とは何か、2) 文学・美術・音楽において「宗教芸術」と「世俗芸術」の区別はつねに妥当か、3) 「宗教芸術」における「美と醜」の問題。

VI. 宗教的人間観

1) 「俗人と聖人」「凡夫と菩薩」のあいだ、2) 禪者と妙好人の観るもの。

VII. 宗教的世界観

1) コスモロジー（宗教的宇宙論）、2) 「神の国」「仏国土」はどこにあるのか、3) 時間と空間における「聖と俗」。

VIII. 本講の後半では、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化を解説する。

履修上の留意点

既成の概念にとらわれずに自分自身の見方・考え方をしっかりと持つためにも、聴き取った講義内容は必ずノートに書き留めよう。

成績評価の方法

期末試験、レポート、出席状況、受講態度。

教科書

協本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

ウィリアム・E・ペイドン、阿部美哉訳『比較宗教学』（東京大学出版会）など。

その他

スライド、録音テープ、CD を活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 〔 思想と儀礼 〕 (3)	佐 藤 憲 昭 <small>さとう けんしょう</small>	短国・短英	4

講義のねらい

宗教学は、宗教文化について価値中立的立場から研究する学問である。仏教・キリスト教などの成立宗教から、日常生活の中で展開している民俗宗教にいたるまで、およそ宗教と呼ばれる文化現象には、思想と儀礼の双方が具えられているのが普通である。もちろん、その思想や儀礼は、すこぶる洗練されている場合もあれば、きわめて素朴な場合もあるなど、さまざまである。そのいずれであれ、思想を行為化した営為が儀礼であることに変わりはない。この講座では、思想と儀礼との諸関係を通して、宗教文化に接近することを目指したい。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、宗教学の成立史、構成内容、方法、などについて具体的に解説をした後に、儀礼の研究史を紹介しながら、思想と儀礼との諸関係について、内外のさまざまな事例を取り上げて考察する。つぎに、成立宗教としての仏教の儀礼と、民俗宗教としてのシャーマニズムの儀礼とをそれぞれ取り上げて比較分析し、思想がどのように行為化されているのかについて突っ込んで考えてみたい。

履修上の留意点

抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には定期試験で評価するが、59点以下の場合には、出席点を考慮して総合的に評価する。

教科書

佐々木宏幹『宗教人類学』（講談社学術文庫）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔 組織と運動 〕	あらい 洗 げん 建	短国・短英	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生ずる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生ずるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実在即して考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学の性格、領域、学説史などを概観した上で、教団の類型について簡単に紹介し、宗教史の事実、特に近・現代の宗教運動の事実に基づいて、一般社会と宗教の問題を考えたい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人 文 地 理 学 (1) (2) 〔 風土と文化 〕	や の よう こ 矢 の 野 陽 子	短国・短英	4

講義のねらい

地誌的見地から日本の風土と文化とのかかわりを考え、各自の郷土の自然と文化に対する認識を深めたい。
「風土とは何か」 風土についての問題は地理学以外の各分野、例えば哲学、思想比較文化などでも扱われている。
本講では、それぞれの風土と一体化された人間生活についてとりあげ、人類の文化の歴史と風土との関係を考えたい。

履修上の留意点

つねに問題意識をもって受講されたい。

成績評価の方法

前期は主としてレポート提出を行ない、後期の試験で評価する。
前期はレポート提出、後期は試験を行なうことにより評価する。

教科書

藤岡謙二郎その他共著『日本地誌』（大明堂）2,900円 人文地理学(1)
中村和郎・高橋伸夫編『地理学への招待』（古今書院）2,500円 人文地理学(2)

参考書等

開講時に指示する。

その他

受講時に地図帳を用意することが望ましい。（高校の時の地図帳でよい）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (3) (4) 〔空間と行動〕	た だ とう いち 多 田 統 一	短国・短英	4

講義のねらい

人文地理学は、地表に存在する人文事象を対象に、それを地域的な視角から研究する学問である。すなわち、日本および世界の人口、集落、農牧業、工業、商業、交通、文化などの諸問題を、地域論や機能論、立地論などの視角からとらえる。環境問題や国際物流などの新しい話題も取り入れる。

講義の内容・
授業スケジュール

次の①～⑧の内容を中心に授業を進める。

- ① 地理学の発達と人文地理学の課題
- ② 人口（分布、構成、移動）
- ③ 集落（機能、立地、形態、圏、計画）
- ④ 農牧業（立地、地域区分、産地形成）
- ⑤ 工業（分布、立地、集積、地域分業）
- ⑥ 商業（立地、圏、行動空間）
- ⑦ 交通（流、圏、網）
- ⑧ 文化（圏、伝播、変容）

履修上の留意点

地図や地図帳を積極的に活用してもらいたい。世界や日本の地域の動向に興味をもってもらいたい。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの内容によって評価をおこなう。

教 科 書

特に指定しない。プリントにより授業を進める。

参 考 書 等

その都度紹介する。

そ の 他

① 授業の方法

講義を中心に進める。プリントにより人文地理学の最近の研究成果についても紹介する。時事問題を適宜とりいれ、世界や日本の動向を地域的な視点から解説する。

② 地域調査

可能ならば、野外調査を実施したい。そうでなければ、文献調査によって地域の成り立ちや性格を調べる方法を習得させたい。希望者には、発表の機会を与える。

(2) 社 会 分 野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (1) 〔 現代社会を考える 〕	お 呉 びょん さん 炳 三	短国・短英	4

講義のねらい	現代社会において特徴的であるといえる問題は何か。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、その前半で社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会についての考察を深めていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	① 経済のグローバルイゼーションにともなう企業の社会貢献活動の意義。 ② 現代の社会変動にともなう家族ユニットの変化、特に少子化、高齢化を中心とした家族に関する諸問題の検討。 ③ 高齢化社会に対応すべき「社会福祉」と「社会教育」の問題。 ④ 高度消費社会の中に見受けられる消費の構造、特に「豊かさ」と「余暇」の問題。
履修上の留意点	開講時に説明する。
成績評価の方法	開講時に説明する。
教科書	特に使用しない。
参考書等	安藤喜久雄編『社会学概論』(学文社) 倉沢進・川本勝編『社会学への招待』(ミネルヴァ書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 (2) 〔 現代社会を考える 〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	短国・短英	4

講義のねらい	この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題——大衆社会、高度情報化社会、高度消費社会等——を扱うことにしたい。
成績評価の方法	成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。
教科書	安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)
参考書等	高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房) R. ニスベット『現代社会学入門1～4』(講談社学術文庫) その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 (3) 〔現代文化を考える〕	はし 橋 づめ さとし 敏	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代文化」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代文化」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代文化」の諸問題——文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等——を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)
R.ニスペット『現代社会学入門1～4』(講談社学術文庫)
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 (4) 〔現代文化を考える〕	お 泉 びよん 三	短国・短英	4

講義のねらい

講義の前半で社会-文化に関する基礎を明示した上で、現代文化を理解する上でぜひとも押さえておかなければならない諸問題、すなわち、ジェンダー、若者文化を中心に「文化」なるものの本質に迫ってゆく。詳細は以下の通りである。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 社会における「文化」の意義。
- ② 社会・文化的産物として男性／女性はいかにして生成されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に、「ジェンダー(社会的な性)」の問題を考える。
- ③ 若者文化(ユース・カルチャー)が現代において果たす役割とは? ファッション・音楽・恋愛等の視点から、若者文化を俯瞰してゆく。

履修上の留意点

開講時に説明する。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

江原由美子・安川一ほか『ジェンダーの社会学』(新曜社)
伊藤公雄『(男らしさ)のゆくえ-男性文化の文化社会学-』(新曜社)
井上俊ほか編『岩波講座社会学(2)モード・デザイン・ファッション』(岩波書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 (5) 〔社会生活を考える〕	お ばた かず 小 畑 和	短国・短英	4

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切適切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。その故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出し難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的循環の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「Macroscopicなもの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

日曜日の午後の隅田川公園の一角で、割り箸と食器を持った大勢の人々が並んでいた。キリスト教のボランティア団体が一週間に一度配給する食事を貰うためである。千人ほど来るそうである。この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の6つの要因について講義する。

はじめに、①マクロ的要因（現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会（少子社会）を総合的に講義する。その後、②誕生に関する要因（出生・墮胎・殺児…）、③幼児・子供の成長に関する要因（育児・保育・学校生活・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…）、④家庭生活に関する要因（核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…）、⑤社会生活に関する要因（入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…）、消費生活に関する要因（広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、資源問題等の消費の問題…）、⑥老後の生活に関する要因（年金、介護、生きがい、死の問題…）などを講義する。

この6つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。

その他

なお上記授業のスケジュールは進度によって多少の変更がある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 (6) 〔社会生活を考える〕	はしづめ さとし 橋 爪 敏	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「社会生活」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義のねらいで述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」の見方を通してみた「社会生活」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基本的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「社会生活」の諸問題-社会的人間、つまり、社会によって形成され、また社会を形成していく存在としての人間。このような人間（個人）の成長と社会生活とは密接不可分に関わる。この関わりの諸問題を考えることにしたい。

成績評価の方法

講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

安藤喜久雄編『人生の社会学』（学文社）
高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 (1) 〔社会現象の統計的分析〕	いなば としおと 稲 葉 敏 夫	短国・短英	4

講義のねらい

情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

テストによって評価する。

教科書

稲葉三男・敏夫・和夫 共著『経済・商系基礎統計』（共立出版）1,800円

その他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらおう。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 (2) 〔社会現象の統計的決定〕	くさ かわ やす お 日 下 泰 夫	短国・短英	4

講義のねらい

統計学は、観測値（バラツキをもったデータ）から観測値の源泉に関する結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定などに広範に使用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と方法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

 講義の内容・
 授業スケジュール

1. 統計的方法の本質、
2. 記述統計、
3. 標本空間と確率、
4. 確率変数と確率分布、
6. 母集団と標本、
7. 推定、
8. 検定、
9. 相関、
10. 回帰

履修上の留意点

統計学は数学の一分野であり、積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

後期末に行う試験を主に、出席状況、演習を加味して評価します。

教科書

P. G. ホーエル（浅井 晃、村上正康 共訳）『初等統計学』（培風館）1,732円

参考書等

開講時に紹介します。

その他

授業方法：重要な部分はその講義の終了の都度個別に演習を実施しますが、全講義の終了直前（12月頃）に3～4時間をかけて演習を行います。ここでは、これまでに学習した全内容に関する典型的な問題とその解答について解説し、自習のための便宜を図ります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (1) 〔文化と人間〕	さ とう けん しょう 佐 藤 憲 昭	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学は、日本を含む世界のさまざまな民族の文化や社会について比較研究をする学問である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするのである。国際化時代が到来している現在、異文化を理解することは必須の事柄といえよう。異文化の理解はまた自文化の理解を深めることでもある。こうした問題意識から、この講座では、内外の事例をできるだけ多く取り上げて、分析・比較・考察を行い、文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

かつて、狼に育てられた二人の少女がインドで発見されたことがあった。狼に育てられた子供たちと、人間に育てられた子供たちとを比較してみると、文化を所有している人間の特質が浮き彫りにされてくる。わかりやすい事例を取り上げて、文化と人間との関係をさまざまな角度から考える。

つぎに、文化人類学の学問的特徴、対象、方法、歴史などについて具体的に解説し、さらに、家族、婚姻、親族、呪術-宗教的な観念や行動などの問題を取り上げて、「人間とは何か」という問題に接近してみたい。

履修上の留意点

夏期休暇中に文化人類学に関する本の感想文を作成してもらおうが、その提出は希望者のみとする。また、抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

基本的には筆記試験で評価するが、試験の結果が59点以下の場合には、感想文の点数と出席状況とを考慮して総合的に評価する。

教 科 書

村武精一・佐々木宏幹編『文化人類学』（有斐閣Sシリーズ）（有斐閣）

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学(2)(3) 〔文化と人間〕	ふじ 藤 崎 康 彦 さき やす ひこ	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学全般に渡り概説的な講義を行う。ヒトは生物学的な共通性を持ちながらも文化を身につけることで多様な生活を組み立てて来た。「文化と人間」についてその「普遍と特殊」の観点から考えたい。私の研究上の背景は心理人類学的なものである。文化を様々なコミュニケーションとしてみる立場から説きたい。同時に社会人類学的な考え方もバランス良く取り込みたい。又、日本の民俗文化を人類学的な広がりである時間も適当に組み込むことを考えている。

 講義の内容・
 授業スケジュール

- 次の項目について講義をする。
1. 文化の概念、文化の生物学的基礎
 2. 言語とコミュニケーション
 3. 家族・親族・婚姻
 4. 妖術・呪術・シャーマニズム
 5. 心理人類学
 6. 経済の技術・生活の技術
 7. 法と政治の人類学
 8. 日本の民俗文化再考
 9. その他のテーマ

履修上の留意点

質問や意見は歓迎する。積極的に参加していただきたい。しかし私語等の身勝手な行動には極めて厳しい態度で臨む積もりである。

成績評価の方法

基本的に学年末のテストに基づいて評価を行うが、随時行うミニテストの成績や出席状況も一定の範囲で反映させる。学習状況が思わしくない学生にはレポートを特別に課することもある。

教 科 書

特になし。講義にはプリントを用意する。

参 考 書 等

テーマごとの参考文献は各回の講義時に紹介する。

そ の 他

ビデオ等の映像資料は随時用いる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 (4) 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ 杉 井 純 一 じゅん いち	短国・短英	4

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼・慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者を理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
 授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化とコミュニケーション
 - 3. 環境と人間
 - 4. ジェンダーとセクシュアリティ
 - 5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 儀礼の構造
 - 2. 呪術と宗教
 - 3. 儀礼・神話・世界観
 - 4. 神聖王権
 - 5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート、期末試験で評価します。

教 科 書

特に指定しません。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）
 佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）

そ の 他

できるだけ、ビデオを利用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学(5)(6) 〔諸民族とコスモロジー〕	し 清水 芳 見 みず よし み	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学の基礎理論の習得と応用力の育成

講義の内容・
授業スケジュール

文化人類学とは、諸民族の社会・文化の比較研究をつうじて、人間の本質に迫ろうとする学問である。この授業では、文化人類学の課題、人間と文化、親族と人間、宗教と人間、開発およびエスニシティの問題、文化人類学者と政策との関わりなどについて講義する。また、ヨルダンの農村での私の調査経験に主として基づきながら、文化人類学のフィールドワーク（現地調査）の具体的な方法と問題点等に関する話もする。

履修上の留意点

授業中、学生諸君の意見をきくことがあるので、そのつもりで授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

年度末試験による。

教科書

宮本勝・清水芳見編『文化人類学』（八千代出版）1999年3月発行

参考書等

清水芳見『アラブ・ムスリムの日常生活 ヨルダン村落滞在記』（講談社）1992年
その他の参考書については、教科書にあげられている参考文献の欄を参照。また、授業でも適宜指示する。

その他

授業は、講義が中心となるが、必要に応じてスライドやビデオ等の教材を利用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学(7) 〔社会変化と価値観〕	お <small>が</small> 川 <small>とし</small> 順 <small>ゆき</small> 敬	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする文化人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではありません。比較を通してその差異と共通性について考え、それらの作業を通じて文化とは何か、人間とは何かについて考えようとしているのです。

この講義では、私たちにとっては一見奇妙に思ってしまう異文化の慣行のなかにある考え方を探りたいと考えています。そしてまた同時に、日頃私たちが何気なく行っている生活慣行をふりかえり、異文化と比較しながら、その意味を考え直してみたいと思います。ふだんは気付かない私たちの文化の形が、異なる文化の調査者の目を通して現れてくるのではないのでしょうか。すなわち、この2つの目的は比較という作業を通してこそ可能となるものなのです。

なお、この講義は専門課程の前段として行なうものではありません。したがって、文化人類学の専門性の強い講義ではありません。あくまで文化人類学の基本的な考え方について受講のみなさんに理解を深めてもらうことを第1の目的としています。

講義の内容・
 授業スケジュール

文化人類学の研究対象領域は広範にひろがり、研究方法も多岐にわたっています。1年間の講義でそのすべてに触れることは不可能です。そこで、この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説することにしたいと思います。

文化人類学は、異文化社会を調査の対象としてきましたが、これまで「異文化社会」というのは非西欧世界の伝統社会を意味していました。それらの社会は15、16世紀の大航海時代以降「発見」された「異なる文化をもつ社会」であり、その時以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。すなわち、「植民地主義」や「開発」によって絶え間なくこれらの社会は変化し続けているのです。

文化人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたといえます。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システム導入、新しい宗教、新たな価値観の変化が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。

この講義では、文化人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、変容という角度から紹介していきたいと思います。伝統的な社会組織、親族組織、経済システムと近代化がもたらした社会変化、キリスト教など外来宗教がもたらした伝統社会の価値観の変容、そして人類学者自身がこれらの問題をどの様に認識し、問題としてきたのかについて考えてみたいと思います。

前期の講義では文化人類学の一般的な概説と、後期の授業に必要な基本的な概念を解説します。後期は具体的な事例を通して「社会変化と価値観」について考えていきたいと思います。

なお教科書は下記のものを使用します。しかし、最近は様々な工夫をした教科書や、文庫等の安価な文化人類学関係の出版物も出されていますので、何冊か紹介したいと思います。

成績評価の方法

年に1回のレポート提出(夏期休暇明け)と、年度末の筆記試験により評価します。年度末の試験は必須条件です。レポートは受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容・形式、出席その他に関しては最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男著『文化人類学入門』(中公新書560番)800円

参考書等

講義の内容に直接関連する参考書は適宜紹介します。

その他

年に2、3回は講義の内容に関連するビデオを見たいと思います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学(8)(9) 〔社会変化と価値観〕	うちやまあきこ 内山明子	短国・短英	4

講義のねらい

文化人類学は、どんなに異質に見える文化であっても、できるかぎり偏見をもたずに理解しようとする努力の中で発展してきました。自分の文化がもつ尺度を無批判に持ち出すことを慎みながら、相手の文化と自分の文化との比較を繰り返していく。そうすることで、相手の文化への理解が深まるばかりでなく、自分の文化に対してもそれまでとは違った視点から眺められるようになっていくのです。もっとも文化人類学は、西欧の近代化の中で生まれ育ったものであり、その理論には近代西欧の価値観が色濃く反映されています。また、調査する側とされる側の間には、文明／未開、近代／伝統、宗主国／植民地といった対立関係が付きまとうてきました。しかし、文化人類学を支えてきたこのような基盤は、近代化が地球の隅々にまでその影響力を及ぼしている今日、大きく揺らいでいます。この新しい状況に応じるべく文化人類学では今、みずからの足元を見つめ直し、新たな展開を求め様々な試みがなされています。本講義では、文化人類学の基本的な考え方を紹介した後、社会変化と価値観というテーマで、この新しい動きについて様々な事例をあげながら皆さんと考えていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基本的な考え方(文明と未開、フィールドワークと民族誌、主要な学説紹介、親族、世界観)
- II 社会変化と価値観(文化や社会についての新しい考え方、近代化と文化人類学-世界システム論、植民地主義と新植民地主義、民族国家成立と民族問題)

成績評価の方法

全講義の最後に行う筆記試験を中心に、状況に応じ期間中に提出してもらったレポートを参考

教科書

指定しない予定。参考文献を授業中に提示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法(1) 〔法と社会生活〕	はせがわひでよ 長谷川日出世	短国・短英	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。
後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』(成文堂)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法(2)(3) 〔法と社会生活〕	わ ち けい いち 和 知 恵 一	短国・短英	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講義名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるのかを理解すること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行ない、挙手により解答してもらおう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業の中では、「三茶の駅頭で『うまい儲け話がある』とさそわれ、出資金の手付けとして1万円を払ってしまった。後で冷静に考えると失敗したと思う。この契約の効力はどうか、どうしたら『手付け金』を返してもらえるか」など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。さらに、たとえば「今朝の新聞に、官僚が『収賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、up to date な話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通してほぼすべての条文に触れられるよう配慮する。

- I 法学
 - 1. 法学を学ぶにあたって
 - 2. 法とは何か
 - 3. 法の体系と分類
 - 4. 法の目的
 - 5. 法と裁判
 - 6. 裁判の基準（法源）
 - 7. 法の解釈
 - 8. 法と道徳をめぐる問題
- II 社会生活と法
 - 9. 犯罪と刑罰
 - 10. 財産生活と法（人・物・契約など）
 - 11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
 - 12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
 - 13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ板書を多く行いたいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。特に、授業の中で十分考察し、理解してほしいので、単に教場にいるだけでは出席とは認めない。したがって、真剣に授業を受けようという意識のあるものにだけに履修してほしい。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）
 塩野宏等編『ポケット六法』（有斐閣）平成11年版
 ※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日に受講票を提出してもらうので、特別の事情のない限り、初回から出席のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ・ 憲 法 (4) 〔 法 と 社 会 生 活 〕	けい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。
本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。
i 社会生活と法 ii 法の意義・効力 iii 法規範と他の社会規範との差異
iv 法の分類と解釈の方法 v 市民法の概論 vi 刑事法の概論 vii 法と裁判
憲法の講義は、次の内容を中心として行う。
i 憲法の意義 ii 憲法の種類 iii 明治憲法の原則と特質 iv 現憲法の原則 基本的人権の主体 v 基本的人権の分類 vi 各種基本的人権の内容 vii 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用 viii 裁判所の仕組みとその作用 ix 地方自治

成績評価の方法

出席状況と試験による。

教 科 書

小林弘人・松村 格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参 考 書 等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

社会八分野
教養教育科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (5) 〔法と権利〕	わかちけい 和知恵一	短国・短英	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法に取り囲まれながら生活している。諸君も、毎日のように電車やバスに乗るであろうし、スーパーマーケットで買い物もするであろう。それらの行為は、すべて、法的な側面を持っている。電車に乗り料金を払うことや、品物を受け取り代金を払うということは言葉を代えていえば、「権利を行使し、義務を履行することである。」といえる。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルは（法と権利）とされている。そこで、本講義においては、『法学の基礎を理解し、その上で、権利及び義務が法によってどう守られ、どのような制限を受けているのか』を確認・検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行ない、挙手により解答してもらう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業の中では、「未成年が行った契約は、どんな効果をもつのか」「欠陥商品による被害や、悪徳商法に引っかからないためにはどうすべきか」など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。また、「医療事故や交通事故にあった場合に、被害の救済はどのようなされるのか」など社会生活を営む我々の『権利』にスポットを当てて講義する。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めことをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通してほぼすべての条文に触れられるよう配慮する。

I 法学

1. 法学を学ぶにあたって（権利と義務は反対語か）
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

II 法と権利

9. 犯罪者の権利と義務
10. 労働者の権利と義務
11. 消費者の権利と義務
12. 患者の権利と義務
13. 企業の責任
14. 憲法上の権利と義務

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ板書を多く行いたいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。特に、授業の中で十分考察し、理解してほしいので、単に教場にいるだけでは出席とは認めない。したがって、真剣に授業を受けようという意識のあるものだけに履修してほしい。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）
塩野宏等編『ポケット六法』（有斐閣）平成11年版
※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日に受講票を提出してもらうので、特別の事情のない限り、初回から出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法(6)(9) 〔法と国家〕	佐 藤 多 美 夫 さとうたみお	短国・短英	4

講義のねらい

1. 近代憲法の思想史のなかの日本国憲法の位置を考える。
2. 日本国憲法の構造を人権の視点から考える。
3. 判例を材料として、日本国憲法の姿を考える。
4. 憲法の課題を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 憲法の内容
2. 憲法の歴史
3. 日本国憲法の特徴
4. 人権と憲法
5. 人権の種類①～③
6. 人権規定の効力①～③
7. 人権と政治機構①～⑦
8. 人権と裁判①～⑤
9. 思想と人権①～④
10. 教育と人権
11. 宗教と人権
12. 生存と人権
13. 刑事手続と人権①～③
14. 平和と人権
15. 日本国憲法の理念と現実

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

原則として試験による。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法(7)(8) 〔法と国家〕	新田 浩 司 <small>にっ た ひろ し</small>	短国・短英	4

講義のねらい

日本国憲法（以下「現行憲法」と略称）が制定されて半世紀が過ぎた。敗戦による占領下において制定されたという経緯等、当初よりもさまざまな問題を孕んでの制定であった。自衛隊をめぐって国論を二分する論議が続きながらも、我が国は、日米安保条約というアメリカの傘の下で、高度経済成長をおう歌してきたのであるが、その歪みが社会の隅々に露呈している。たとえば、政治腐敗、企業の談合、公務員の汚職、イジメ問題、カルト集団による犯罪、あるいは凶悪犯罪の増加、環境問題等々。

法は、社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものであるが、法、なかんずく、憲法はそれらの問題の解決となりうるのだろうか。このような問題に対しては、法による解決に加え、我々国民が持つ習俗、習慣、あるいは道徳をふくめた、その国の文化も多いに影響するものであるといえる。

現行憲法よる過度の民主主義、個人主義の蔓延、また、我が国の文化及び伝統もまた憲法によって歪められてしまっていることは大いに指摘されているところである。このことの妥当性、あるいは、戦前の軍国主義を否定するあまり我が国の文化までも現行憲法は破壊しては来なかったか。いずれにせよ、我々の生活にとって、法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりもなおさず、我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

特に、現実には発生する様々な憲法上の問題、たとえば、湾岸戦争を契機とした自衛隊の海外派兵問題、日米安保条約の見直し、夫婦別姓、外国人の選挙権さらには、プライバシーの権利、環境権など新しい人権に対して現行憲法は対応できるのか検討する必要がある。

講義においては、以上のような視点に立って、現実には発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- | | | | |
|-------|---------------|-------|--------------|
| 第1回目 | ガイダンス | 第13回目 | 信教の自由と政教分離 |
| 第2回目 | 法とは何か①② | 第14回目 | 表現の自由とその制約 |
| 第3回目 | 法とは何か③／憲法の学び方 | 第15回目 | 学問の自由 |
| 第4回目 | 憲法と国家 | 第16回目 | 経済的自由 |
| 第5回目 | 日本国憲法の制定過程 | 第17回目 | 身体の自由 |
| 第6回目 | 日本国憲法の基本原則 | 第18回目 | 国務請求権 |
| 第7回目 | 天皇 | 第19回目 | 参政権 |
| 第8回目 | 戦争放棄 | 第20回目 | 生存権 |
| 第9回目 | 基本的人権① | 第21回目 | 教育権 |
| 第10回目 | 基本的人権② | 第22回目 | 国会・内閣 |
| 第11回目 | 新しい人権 | 第23回目 | 司法権の限界と違憲審査権 |
| 第12回目 | 法の下での平等 | | |

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法 (10) 〔法と国家〕	お だ て る こ 織 田 晃 子	短国・短英	4

講義のねらい

①法とは何かに始まり、②私人間における基本的人権の尊重、③財産関係と法について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

上記①の法とは何かでは、法と道徳、法と正義、法の解釈と適用等について。②の私人間における基本的人権の尊重では、例えば、私企業への入社に際しての身上書と基本的人権、私立学校(大学)の学則と基本的人権、安楽死と基本的人権等について。③の財産関係と法では、所有権の絶対性とその制限、権利概念の拡大と限界、契約自由の原則とその制限、権利侵害と損害賠償等について。

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績と出席日数による。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

『ポケット六法』(有斐閣)
最近の判例を重視するため、プリントの配布が多くなる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (11) 〔法と権利〕	茂野隆晴	短国・短英	4

講義のねらい

“法と権利”を学び、「法」というものを知ることによって、我々は社会生活をする上で、どのような目的を達成することが出来るのであろうか。それは大要、次の3点に帰着するのではなからうか。

i 『抽象的な概念構成をする力』を身につけること

我々が社会生活を送るに当たって、様々な社会現象がそこに生じることになるが、そうした現象のなかで、どれが法的に意味をもつものであるか。それを抽出して、しかも法的価値判断にてらして、「有効」か「無効」か、或いは、「適法」か「違法」かを判断するには、「抽象的な概念構成をする力」を是非とも必要とするのである。法を学ぶことによって、それが得られるのである。

ii 自分自身の見解をもつこと

我々の社会には、種々の考えをもつ人々が存在する。例えば、「死刑廃止」ということについて意見を訊ねれば、それを是認する意見と、否認する意見とに分かれることは、明らかである。人間の人生観・世界観というのが、人によって異なる以上、それは当然のことであり、止むを得ないことである。そうした社会であるから、事物の是非を判断するに際しては、客観的な証拠を裏づけとして処理することが必要である。即ち、法を学ぶことによって、事物を正確に把握し、客観的な裏づけをつかんで、判断する態度を身につけなければならないのである。日本人は、やもすれば、多数の意見に附和雷同する傾向が強いが、自分自身の見解をもつことによって、正しい判断を下すことが出来るようになるのである。

iii 『妥当性をもった考え』を確立すること

法は本来、いかなる時でも、いかなる場所でも正しいものでなければならない筈である。それこそが「正しい法」といえるからである。従って、法を学んだ以上、その判断は、「正義」に立脚するものでなければならない。本人の利害による自分勝手な判断や、恣意的な行動は、厳に慎まなければならない。あくまでも「正義」に合致した「妥当性をもった考え」を身につけるように、努めなければならないのである。

講義の内容・
 授業スケジュール

〔第1回〕◎「法と権利」を学ぶに当たって

本講を学ぶ際に最も肝要なことは、「法」というものが、いかなるものであり、また、いかなる特徴をもつものであるか、その本質をつかむことにあろうと思う。このことは、先ず最初に、しっかりとつかんでもらいたいところである。

〔第2回〕◎法と社会生活

社会そのものが維持されるためには、社会内部の秩序維持がなされなければならないことはいうまでもない。秩序が乱れ、個人がその生命などを自分で守らなければならないとするならば、その社会自体も危うい。従って、社会が成立するための要件の第一は、秩序維持である。そのためには、秩序を乱した者に対しては、死刑を含む制裁（現行法のもとでは）を科す必要が生じる。それは、当然のことながら、強制的に行わなければならない。

〔第3・第4回〕◎法と他の社会規範

社会の支配組織が確立するにつれ、社会規範は分化し、独自の領域を形成するようになった。即ち、あるものは、単なる流行に終わり、あるものは、儀礼や、風習、習俗、習慣といわれるものとなり、あるいは道徳や宗教として一領域を形成するようになり、こうしたもののなかから、やがて、法として宣言されるものが出てきたのである。

〔第5・第6回〕◎法の種類

法は社会生活が多岐となるにつれ、その内容も次第に複雑化し、その数も多くなったことから、さまざまな基準によって、法の種類がなされるのである。

〔第7・第8回〕◎法源（法の淵源）

法源とは、裁判官が裁判をするに当てる基準として用いられる法規範といえる。裁判所の恣意のままに裁判がなされないためにも客観的な基準となるべき法規範が必要である。

〔第9回～第13回〕◎法の生成

我国における法の発達を観る。「上古法」、「中古法」、「中世法」、「近世法」、「近代法」、「現代法」の6期に分ち、各期の特質を講述する。

〔第14回〕◎法と裁判①（裁判所の種類と仕組み）

〔第15回〕◎法と裁判②（裁判官・検察官・弁護士及び調停制度）

〔第16回〕◎国家

〔第17・第18回〕◎憲法①（日本国憲法の成立他）

〔第19・第20回〕◎憲法②（基本的人権の保障）

〔第21・第22回〕◎憲法③（「国会」）

〔第23・第24回〕◎憲法④（「内閣」と「裁判所」）

[第25・第26回] ◎民法① 家族法のⅠ（親族法）
[第27・第28回] ◎民法② 家族法のⅡ（相続法）

成績評価の方法

遅刻・退席・私語等、平素の学習姿勢も勘案し、試験の成績に出席度を加味する。

教科書

山口嘉三・大久保治男編『法学要説』（芦書房）2,800円
大久保治男・茂野隆晴共編『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 ・ 憲 法 (12) 〔 法 と 権 利 〕	みつ だ まさ よし 光 田 督 良	短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、「法学・憲法」と二つの標題を持ちますが、全体としては、「法と人権」というテーマのもとに講義をすすめます。

人権を保障している憲法も「法」の一つです。まず、「法とは何か」ということを検討します。そのためには、できるだけ多くの「法現象」を見聞することが必要です。それは、これらについての個別分野の専門科目が多く存在する事からも理解できます。しかし「法学」の講義が、それぞれの個別分野を概観するような内容であれば、中途半端な内容となってしまいます。したがって、講義では、これら個別分野の科目に共通する、法の一般的な、基礎的な考え方について検討します。

次に、憲法の内容に入ります。「憲法」の講義の目的は、日本国憲法の内容を、主として憲法解釈学の立場から理解することにあります。憲法の講座では、本来、日本国憲法全体を対象として検討しなければなりません。講義では、本講のテーマおよび時間的制約から、特に人権を中心に検討します。具体的には、人権の内容、限界、制限といった点が主たる内容となります。もっとも、その際、国会、内閣、裁判所などの統治(政治)機構についても、人権との関連において、人権をよりよく確保するための制度という観点から、必要に応じて、採り上げます。

「法の一般的な、基礎的な考え方」、「人権の内容、限界、制限」の検討というと、どうしても抽象的で、難解であると考えられがちです。しかし、抽象的な検討に終始すれば、十分な理解もできませんし、また学修する意欲、興味を損なうこととなります。そこで、講義では、できるだけ、判例など実際に起きた具体的事柄に例を求め、分かりやすく説明するつもりです。

また、人権をめぐる法現象は社会現象の一つですので、現実の社会において現在生じている事柄についても、「今」の法を考えるという意味において、関連性、必要性に応じて採り上げるつもりです。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、具体的には以下のようなスケジュールで行います。

序 法学・憲法を学ぶに当って

I 法とは何か

- 1 法とは何か－法の定義
- 2 法と道徳(関係の歴史・区別の基準)
- 3 法の構造
- 4 法における強制(主体・方法・意味)
- 5 法の目的(正義・秩序)
- 6 法の効力
- 7 法の適用
- 8 法の解釈

II 憲法における人権

- 1 日本国憲法の基本原則
- 2 基本的人権の視角
- 3 包括的人権
- 4 法の下での平等
- 5 内心の自由
- 6 信教の自由と政教分離
- 7 表現の自由
- 8 経済的自由
- 9 身体的自由
- 10 社会権
- 11 立法と国会
- 12 行政と内閣
- 13 裁判と司法

履修上の留意点

講義では、「検討する」という姿勢を重視します。したがって、受講者も、講義を聞き、板書を写し、それを覚えるということではなく、常に「考える」という態度で望んでほしく思います。そのためには、少なくとも、教科書の講義該当部分を読んでおくことが必要です。

成績評価の方法

成績は、学年末に行う試験を中心に評価します。受講者数にもよりますが、出席をとった場合、それを平常点として評価することもあります。

教科書

Iの分野については、有沢知子・光田督良・山本悦夫著『法と社会生活』(尚学社)2,060円
IIの分野については、古野豊秋編『スタンダード憲法 テキスト版』(尚学社)1,000円

参考書等

六法(用途に応じた種類等については開講時に紹介します)、参考書等は講義の進行に応じその都度紹介します。

その他

主として講義の形式ですすめます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 (1) 〔社会生活とデモクラシー〕	はや かわ よし き 早 川 純 貴	短国・短英	4

講義のねらい

政治をよく知らないが興味を抱いている学生、あるいはテレビ報道や新聞の記事のおさまりのフレーズに飽き飽きしている学生、そんな諸君のための入門政治学である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 社会生活と政治
 - ① 何が政治なのか：消費税は政治か？では男女の恋愛関係は？
 - ② 大学生はなぜ政治に関心がないのか：「政治的社会化」を考える
 - ③ 日常のなかの権力：見える権力と見えない権力
- 2 民主主義とはなにか
 - ① そもそも民主主義は優れた制度なのか：独裁（=即決の政治）はよくないのだろうか？
 - ② みんなにとって大事なことはみんなで決めるべきか：代議制と直接民主主義について
 - ③ 政治は誰が行うべきか：プロ（政治家と役人）の政治・アマチュア（市民参加）の政治
- 3 選挙について
 - ① 小選挙区制と比例代表制を考える：それぞれのメリットとデメリットについて
 - ② 民意の反映とは：民意はどの程度尊重されるべきか／マスコミのつくる「世論」について
 - ③ いわゆる無党派層について
- 4 永田町の政治(1) [自民党の強さを探る]
 - ① その栄光の歴史と権力構造：「五五年体制」とは何だったのか？
 - ② 後援会と地元民主主義
 - ③ 族議員への長い道程
- 5 永田町の政治(2) [野党が与党になる日]
 - ① 社会党（社民党）はなぜ衰滅したのか
 - ② 公明党と創価学会の関係
 - ③ 民主党に明日は来るのか
- 6 霞ヶ関の政治
 - ① 日本は本当に官僚国家なのだろうか？
 - ② お役所のなかの政策決定
 - ③ なぜ悲劇は起こったか：公害問題と薬害エイズ問題に見る厚生省行政
- 7 利益団体と政治
 - ① 農協と農政
 - ② 日本医師会と社会保障
 - ③ 経済団体と環境政策
- 8 経済大国日本と国際社会
 - ① ODAとPKO：オカネを出せば尊敬されるのだろうか？
 - ② 安全保障と平和主義：軍事力は必要か？
 - ③ 共生の社会を目指して：在日外国人の参政権について

履修上の留意点

政治の中心的要素は「権力」であり、政治学はその実態と制御を扱う学問である。つまり社会正義や社会システムではなく、強制力を内在する「権力」というデーモンを科学する極めて特異な学問である。平和主義者や理想論者よりもクールな現実主義者こそこの学問を学ぶにふさわしい。とにかく新聞（政治面）ぐらい読んでくること。

成績評価の方法

中間試験と定期試験で判定する。また随時出席をとる。

教 科 書

米原謙・土居充夫（編）『政治と市民の現在』（法律文化社）2,700円＋消費税

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 (2) 〔政治システムと政治参加〕	なかの ゆうじ 中野裕二	短国・短英	4

講義のねらい

国民の政治的無関心が語られはじめて久しいが、東京都知事選挙では、それが既成政党離れ、「新無党派層」という言葉で語られた。実際、私たちの日常的感觉でも「政治」は非常に遠いものとして感じられる。それでは、政治は本当に私たちから遠い存在なのだろうか。
本講義では、私たちにとって遠いものに思える政治は、実は身近な存在なのだということを知らせることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

そのために、「共生」「歴史」「現代」「思想」という4つのキーワードから、政治を再発見していく。具体的には「異文化と政治」「ジェンダー・ポリティクス」「日本の戦後」「アジアの戦後」「自由民主主義のゆらぎと民主主義のゆくえ」「噴出する民族問題」「核の時代と平和の思想」などの章を立てて、政治を考えていきたい。また、講義のなかで今の政治や社会の動きを「政治トピックス」として紹介し、受講生とともに現代社会を理解し、その問題点について議論したい。

履修上の留意点

受講生の積極的な参加を期待する。

成績評価の方法

「政治トピックス」等に関する小テストおよびレポート（数回）と学年末試験とを総合的に評価する。ただし、受講生の積極的参加（質問、意見など）は、これとは別に高く評価する。

教科書

石川捷治・平井一臣編『自分からの政治学（改訂版）』（法律文化社）1999年

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 (3) 〔国際社会と日本〕	うら た さ なえ 浦田早苗	短国・短英	4

講義のねらい

21世紀を目前に迎え、新たな世界秩序が模索されている現在、世界は大きな転換期にある。国内では政治改革、行政改革、税制改革が政治経済の緊急課題となり、これまでの政治のありかたに変更が求められている。また、科学技術の発達はグローバル化を加速させ、海外をより身近なものにしている。本講義では、世界における日本の位置を、国際化・情報化された現代社会の枠組みの中で考察し、今後の日本の進むべき方向を明らかにすることに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

講義の冒頭では各自の政治への関心を高めるため、その週に起こった国内外の時事問題を取り上げ解説し、現代社会が抱える問題について考える。前期の講義では、日本の政治事情の比較対象として1980年代から現在に至るアメリカ、イギリス、ドイツ、フランスそれぞれの国の政治を概観する。スタグフレーションとレーガノミクスからクリントンの政治、サッチャー政権以後の保守党優位のイギリス議会政治、ドイツ統一と冷戦の終結過程、EUの成立とフランス、シラクの政治外交等が中心テーマである。後期は、例えばマキシミン戦略、多数決のパラドックス、公共性の理論といった政治理論をまず概説し、続いて現代日本社会の問題点を考察する。取り上げるテーマは、政官業のトライアングル、会社主義の変容、環境政策等である。

成績評価の方法

年5～6回行う小テスト－簡単な政治論評－は出席点代わりとし、学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する（ノートの持ち込みは不可）。

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細に研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。参考書は必読でないが、常に新聞を「読む」ことが全員に義務づけられている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 (1) 〔現代社会と市場経済〕	あさ だ どう いち ろう 浅 田 統 一 郎	短国・短英	4

講義のねらい

本講義では、現代経済学において主流的な地位を占める近代経済学の理論体系に基本的に依拠しながら、私達その中で日々生活している現代の市場経済のしくみをわかり易く体系的に解説します。本講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門になっていますが、経済学をもっと本格的に学びたい人にも役立つように工夫されています。具体的には、本講義は、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得理論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡しとしても役に立ちますし、また、経済学を専攻しない学生諸君に教養として身につけておくべき経済学の必要最小限の知識を提供することを目的としています。特に、私達にとって身近な経済問題を解釈したり、その解決策を探るために経済学の考え方がいかに役立つつか、ということ在具体例に基づいて明らかにします。とりあげるテーマについては、以下のようものを考えています。

1. 経済学の課題
2. 市場経済のしくみ
3. 需要と供給の法則
4. 国民所得について
5. 財政・金融政策について
6. 景気の話
7. バブルとその崩壊について
8. 国際貿易と国際通貨体制の話

なお、教科書は、幸村千佳良『経済学事始』を使用しますが、経済学をもっと本格的に学びたい受講者のために、下記の「指定図書」を推薦しておきます。

成績評価の方法

成績は年2回（前期・後期）行う筆記試験によって評価します。

教 科 書

幸村千佳良著『経済学事始』（多賀出版）

参 考 書 等

伊藤元重著『入門経済学』（日本評論社）
 林 敏彦著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 (2) 〔現代経済と人間〕	瀬 戸 岡 紘 <small>せ と おか ひろし</small>	短国・短英	4

講義のねらい

現代経済の諸現象を人間の目とおしてながめること——それを、どんなことを専攻している学生にもわかりやすくお話すること——それがこの講義の課題です。

経済活動は人間がやっているものです。資本主義経済という仕組みも人間が作り出したものです。なのに、人間は、人間自身がつくり出したものによってふりまわされ、時として破滅さえしていないでしょうか。過労で病気になったり死んでしまったり、あるいは現代経済がかけがえない地球をだめにしたり、…と。人間が考えだした神さまに人間が支配される、それと、どこか似ていませんか。この講義はそんなことを、みなさんといっしょに考えます。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、あくまで受講者諸君の希望を配慮しながらすすめます。さしあたり考えている講義内容は、以下のとおりです。◇印の項目ひとつひとつを、おおむね一回ごとの講義にとりあげます。ここにあげていない項目も、受講者の希望にもとづき随時追加していきます。

《導入の話題》

◇人気のない経済学、人気のある人間諸科学——諸外国の大学事情
《人間の目とおして現代経済をながめると…》

- ◇強烈な成長指向——やる気満々のアジアの現代経済と混乱
- ◇仕事と幸せをわかちあって——福祉の重圧にくるしむヨーロッパ人
- ◇夜中もはたらくアメリカ人——野蛮にもどった文明人
- ◇社会主義への夢と諸結果——旧ソ連・東欧の経験
- ◇食料と資源は大丈夫か——経済成長への期待と反省
- ◇適度な規制か、それとも自由と規制緩和か——現代経済学の課題
- ◇いつおこってもおかしくない大恐慌——国際金融の舞台裏
- ◇どこへゆく日本の経済——まだつづくか大不況
- ◇地球と人間、そして経済はどこへゆく

《経済学は経済と人間とのあいだをどのように見てきたか》

- ◇資本主義経済が成立するまで経済学もなかった
- ◇成長せよ、発展せよ、どうすれば経済は発展するか
- ◇人間の目から見た経済学——経済学批判という経済学
- ◇ダイヤモンドはなぜ価値あるの——人間の欲望と経済
- ◇自由放任は幸せか——ケインズの問題提起に熱狂していた時代もあった
- ◇大量生産・大量販売・大量消費・大量廃棄の経済は何をもたらしたか

《むすびの話題》

- ◇西暦2000年と人間——経済学者は何を考えているか

履修上の留意点

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基本的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。

成績評価の方法

この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫します。したがって、一発の年度末試験よりも、平常点を重視する予定です。たとえば、授業で学んだことがらや感想を簡単に記した文章を年間をおして何回も提出してもらおうことを考えています。受講者との合意が成立すれば、そのように平常点を中心に成績評価をすることにしたいと考えています。

教科書・参考書等

最新の情報をもとに講義をすすめます。だからこの講義では、特定のテキストは使用しません。現代経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めば現代経済と人間の問題がわかるというほど事情は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまな文献の全体が、この講義の教科書ということになります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済学 (3) (4) 〔現代経済理解へのガイド〕	小野俊夫 <small>おのしお</small>	短国・短英	4

講義のねらい

経済は現代社会の基本であり、経済学は現代経済を理解し、広く社会諸科学を学習し理解するためには必須の学問である。この講義では、現代経済社会の仕組みと運行の仕方を理解し、正しく分析し得る力を身につけるためには不可欠な理論の基本を、いわゆる近代経済学の立場から体系的に解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は次のように進められる。

1. 経済学発展史要説：経済学への入門をかねて
マイクロ経済学
2. ミクロ的経済循環とマイクロ経済学
3. 消費者行動の理論
4. 企業行動の理論（企業の生産技術と生産費、完全競争下の企業行動、独占企業の行動）
5. 完全競争経済と独占
6. 不完全・独占的競争の理論
7. 現代企業と市場の理論
マクロ経済学
8. マクロ的経済循環とマクロ経済学
9. 国民所得の諸概念
10. ケインズ有効需要の原理と理論体系要説
11. ケインズ経済学体系（消費・貯蓄関数、国民所得の決定と投資乗数の理論、投資決定の理論、利子率決定の流動性選好理論、ケインズ理論体系と IS-LM モデル）
12. 経済成長と景気変動
13. 政府および外国貿易を考慮する一般的な分析

履修上の留意点

講義を理解するために経済に関する予備知識は必要としないが、学問はそもそも一つの体系であるから、常に出席して講義の順を追って理解して行かねばならない。

成績評価の方法

学年末に行われる教場試験の結果によって評価する。しかし平素の出席率が好ましくない場合には、適宜行なう出欠調査、小テスト、レポート提出などの結果も考慮して、最終評価を行なう。

教科書

小野俊夫編著『現代経済学の基礎』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお いし ゆう じ 大 石 雄 爾	短国・短英	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出ていません。一昨年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、このところ好調に推移してきたアメリカ経済すらゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東や旧ユーゴには戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、こうした人類の願いに少しでも応えることを課題としているといえます。複雑きわまりない現代社会の諸問題の原因をさぐり、問題解決への展望をさし示すことが求められている、といってもよいでしょう。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械成大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および理論をとり上げて、現代的な意味について考えてみたいと思います。

講義の内容・
 授業スケジュール

1. 社会科学とは何か
2. 社会の歴史的発展
3. 社会科学の生誕——ホブズとロック
4. 資本主義経済の法則的把握——スミスとリスト
5. 資本主義の経済と国家——マルクスとウェーバー
6. 現代資本主義の捉え方——レーニン・ケインズ・ガルブレイス
7. 資本主義と民族
8. 現代日本の社会と法

なお、現代社会のかかえるナマの問題についても随時とり上げてみるつもりです。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。

参 考 書 等

- 高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 八木紀一郎『経済思想』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ ほり 柳 堀 素 雅 子	短国・短英	4

講義のねらい

現代医療における諸問題を「生と死」という観点から考察していく。
 現代の先端医療の中には、従来の論理観からみて善であるもの、悪であるものだけではなく、倫理的な問いそのものが存在しないために、倫理的判断が存在しなかった領域がある。たとえば脳死者からの臓器移植という例では、脳が死んでいて、心臓が動いている人から、臓器を提出しても殺人にならないかどうかの問題になる。脳が死んでいて、心臓が動いているという状態は、人類にとって前例のない事例だから、過去の判断を調べても答えが出せない。

1995年、北海道大学で先天的な免疫不全症の男子に遺伝子治療の許可が、倫理委員会から下り、日本初の遺伝子治療が行われた。これに対して生命を操作することの是非という倫理問題に国民的なコンセンサスが形成されていないから時期尚早であるという意見もあった。

今日の「医の倫理」が直面するジレンマの1つは、利用できる技術をいくつものようなときに利用してはならないかということである。

「バイオエシックス」という言葉の提唱者 V. R. ボッターは、1971年、「医学は《人格》の維持ができないまま、身体という機械の維持だけができるようになり、このアンバランスな成功の故に、道徳上の問題が起こる」と述べている。

アルバート・シュヴァイツァーは1948年にこの問題を強く認識し、「我々の時代は知識と思想を切り離す方法を見出し、その結果、我々には自由な学問はあるが、反省を行う学者はほとんど残されていない」と述べている。

現代医療におけるさまざまな問題点を、具体的な事例をとりあげながら、検討していきたいと考える。

 講義の内容・
 授業スケジュール

- (1) バイオエシックスとは何か
- (2) 脳死・臓器移植問題
- (3) 生殖技術、クローニング
- (4) 遺伝子治療、出生前診断
- (5) 安楽死・尊厳死
- (6) インフォームド・コンセント etc.

総合的な判断力と思考力をもって講義に参加してもらいたい。個々の事例についての情報は講義によって得られるが、その問題を自分自身どのように考え、受けとめるかが講義の目的であり、ねらいである。受講者の皆さんの独創性に期待したいと思います。

履修上の留意点

講義の途中でレポートを提出してもらうことが何回かあります。

成績評価の方法

総合的に成績評価します。

教科書

なし

参考書等

講義の途中でその都度、提示します。

その他

通常の講義の他にビデオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 心 理 〔大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－〕	の 野 ^{なか} 中 ^{ひろ} 弘 ^{とし} 敏	短国・短英	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

履修上の留意点

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

成績評価の方法

夏休みのレポートと年度末の試験とを併せて考慮します。

参 考 書 等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

そ の 他

講義形式が主体となります。折に触れて、講義時間内での体験的なワークも考えています。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学（前期）	はし づめ さとし 橋 爪 敏	短放1選	2

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識の提供を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

社会学は、その名称の示すように「社会」を理解し明らかにしようとする。しかし、ここで言う「社会」とは、私たちから遠く離れた抽象的存在ではなく、きわめて身近な日常的な事実である。社会学は、学校社会、病院社会、地域社会といった社会の諸問題を、常に具体的、現実的な人と人との関係問題として考察、理解しようとする。この講義は、こうした社会学独自の社会現象の見方、考え方、知識の基礎を提供する。

授業のスケジュールは、まず、社会学とは何かについての概略を述べ、その後で、人間と社会との関わりについて、出来るだけ具体的な例を挙げて論じていきたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学期末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教 科 書

講義開始後に相談の上決定。

参 考 書 等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
安藤喜久雄編『人生の社会学』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学（後期）	お だ て る こ 織 田 晃 子	短放1選	2

講義のねらい

①法とは何かに始まり、②私人間における基本的人権の尊重、③財産関係と法について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

上記①の法とは何かでは、法と道徳、法と正義、法の解釈と適用等について。②の私人間における基本的人権の尊重では、例えば、私企業への入社に際しての身上書と基本的人権、私立学校の学則と基本的人権、安楽死と基本的人権等について。③の財産関係と法では、所有権の絶対性とその制限、権利概念の拡大と限界、契約自由の原則とその制限、権利侵害と損害賠償等について。後期のみであるから上記の予定すべてを終えることは不可能かもしれない。その際は受講生と相談の上、講義の順序を決める。

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績と出席回数による。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

『ポケット六法』（有斐閣）
必要に応じてプリント等を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (前 期)	あお つか とおる 青 塚 徹	短 放 1 選	2

講義のねらい

自分の心、他者の心をよりよく理解することは、人間にとって非常に身近なテーマです。我々は、いつも他者のものではない自分だけの心を感じている一方、他者の心が自分の心と似通っているという感覚も持っています。すなわち、人間にとって心とは、自分だけの唯一無二な存在であると同時に、他者との間で共通する性質を持つ存在であるということです。このような、主観性と客観性をあわせ持つ心の二面性を考慮に入れながら、心というものについて共に学んでいきたいと思えます。近年、心の教育の大切さが言われていますが、そのためにはまず、一人一人が心というものを深く理解し、自分の心、他者の心を曇りなくみつめることができなければなりません。自分の心のあり方、他者の心のあり方をより深く理解できれば、その人の人生はより豊かなものになるでしょう。受講するみなさんが、心をより深く理解することを、少しでも手助けできるように講義内容にしたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

まず、心理学の各分野の重要事項を紹介し、客観的、科学的な視点から心というものがどのような捉えられているかを、トピックを入れながらできるだけ分かりやすく紹介したいと考えています。また、我々が話す「ことば」は、心の主観性と客観性を繋ぐ架け橋の役割を果たしていると考えられ、「ことば」と心の関わりについて研究例を紹介してみたいと思えます。さらに、受講するみなさんが、自分自身の心、他者の心をより深く理解し、よりよい生き方を見つける手がかりにしてもらえればと思い、臨床心理学における基礎理論等を紹介してみたいと考えています。

成績評価の方法

出席を重視し、レポート提出を予定しています。具体的には授業開始時に詳しく説明します。

教 科 書

教科書は用いません。

参 考 書 等

参考図書、文献等は随時紹介します。

そ の 他

受講者数にもよりますが、テーマを決めて討論会を行うことも考えています。

(3) 自然分野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 (1) (2) 〔生態と進化〕	し みず よし かず 清 水 善 和	短国・短英	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後には連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しているわけであり、進化を抜きにして生物を理解することはできない。一方でこの地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを越すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。この生物の多様性が生物を理解するもう一つのカギである。さらに、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。本講義では生物の進化や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化
 - (1) 遺伝子と生命現象
 - (2) 進化のメカニズム
 - (3) 集団遺伝学の基礎
- 第2章 40億年の生物進化
 - (1) 地質年代図
 - (2) マーグリスの共生説
 - (3) カンブリアの爆発
 - (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類
 - (1) リンネ式分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 種の定義と属性
 - (4) 相同と収斂
 - (5) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化
 - (1) 動物行動学の基礎
 - (2) 適応度とゲーム理論
 - (3) 利他的行動と血縁淘汰
 - (4) 性選択と性比
 - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学
 - (1) 生命表
 - (2) 個体数の変動
 - (3) r-K戦略
- 第6章 共生と競争
 - (1) 花と昆虫のパートナーシップ
 - (2) 菌根の役割
 - (3) 擬態
 - (4) 共生と寄生
 - (5) 生物学的多体問題
- 第7章 人類の進化
 - (1) 霊長類の系統
 - (2) ヒトの発段階階
 - (3) ホミニゼーション (ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論
 - (1) ダーウィン以前
 - (2) ダーウィン進化論
 - (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系
 - (1) 生態系 (エコ・システム)
 - (2) 食物連鎖
 - (3) 物質生産とエネルギー流

- (4) 物質の循環
- (5) 地球環境の形成
- 第10章 植生遷移
 - (1) 遷移のモデル
 - (2) さまざまな遷移
 - (3) 森林の更新
 - (4) 植生の復元
- 第11章 生物多様性
 - (1) 3つの多様性
 - (2) 多様性の尺度
 - (3) 熱帯林とサンゴ礁
 - (4) 多様性の危機
- 第12章 人為と生物
 - (1) 里山の生物
 - (2) 都市と生物
 - (3) 帰化種の侵入
 - (4) 汚染と指標生物

成績評価の方法

テスト、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に用いない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 (3) 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	短国・短英	4

講義のねらい

人間の創りだした化学物質は、確かに私達の生活を快適で便利なものにしてきた。それが持つ負の側面について、最初に警告を発したのは、R. カーソンであり、「沈黙の春」の出版は1962年のことである。30年後の今、私達は内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）に脅かされている。生殖機能のみならず、免疫系、神経系をも損なう可能性があるという。

間違いなく、地球は将来人類絶滅の瞬間を用意している。人類にそれを避ける手段はない。できることは、その瞬間をどれだけ先に送るかだけなのだ。「病んだ地球」、「傷ついた地球」という言葉が、かつてあった。痛み、傷ついていたのは、地球ではなく実は人類自身なのである。

この1年間、生物と環境について考えていきたい。まず、生命の営みをいろいろな段階（個体・個体群・群集・生態系）で紹介する。次に環境破壊の幾つかについて、その背後にある社会・経済問題も視野にいれて考察したい。地球史における人類の時間を少しでも長くするために、一体何ができるのか、何をしなくてはならないかを、一緒に考えましょう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生物の生活：生命の維持・植物の物質生産・動物の個体群・社会・行動
2. 生態系：物質の循環・エネルギーの流れ
3. 人間による環境破壊：オゾン層の破壊・地球温暖化・酸性雨・熱帯雨林の破壊・化学物質汚染・ゴミ問題など（これらのうちの幾つか）

履修上の留意点

意見発表の場を設けるので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点とで総合評価します。

教科書

未定。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学(1) 〔変動帯としての日本列島〕	ふじ い すずむ 藤 井 享	短国・短英	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島は、ユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多く地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯といっても過言ではない。

近年、九州の桜島火山、阿蘇中岳、雲仙普賢岳、伊豆諸島の三宅島、大島三原山、伊東沖海底火山、北海道の十勝岳、雌阿寒岳、有珠山、駒ヶ岳など火山活動が活発化し、多くの災害を引き起こしている。また、宮城県沖地震、浦河沖地震、日本海中部地震、釧路沖地震、北海道南西沖地震、北海道東方沖地震、三陸はるか沖地震、兵庫県南部地震等地震関連の災害も多発した。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポートに出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

貝塚爽平著（1977）『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学(2)(3)(4) 〔古環境の復元〕	いごう ひさよし 猪郷久義	短国・短英	4

講義のねらい

現在の地球上の自然環境は46億年に及ぶ悠久の地球史がたどった古環境の一断面である。まず現代の地球観を通してグローバル規模の自然環境全般と、災害・資源・環境の科学としての地学を考察する。次いで地球史の古環境を具体的に復元し、特に生物が関与してきた地球環境変遷史を探究し、今日の環境問題への関与について理解を深めると共に将来を展望する。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の地球観（地球の姿、地球上に働く力、大陸移動説とプレートテクトニクス）
 災害と防災の地学（ハザードマップ、地殻変動、地震とその予知、火山災害と恩恵、海水面変動など）
 資源の地学（金属・非金属資源、化石燃料、資源の偏在性と将来性）
 古環境の復元法（地質・地形と古環境、地層と古環境、化石と古環境）
 古環境変遷史（地球史の編年、地球の誕生と生命の起源、原始地球の自然環境、二酸化炭素と酸素の起源、先カンブリア時代の生物進化、無脊椎動物の発生と爆発的進化、脊椎動物の発生と上陸、植物の上陸戦略、緑の大地の出現と石炭、古生代末の危機到来と生物大量絶滅、ジュラシックパークの自然環境、中生代末の危機と生物大量絶滅、哺乳類の繁栄、人類と氷河時代）
 地学と人間生活（環境・資源・防災の地学と21世紀の展望）

自然分野
 教養教育科目

履修上の留意点

質疑応答や討論の時間を設け、活発な意見交換をする一方通行でない講義としたい。個々の学生が授業に積極的に直接参加するという意識をもって欲しい。

成績評価の方法

論述試験を実施する。

教科書

特に定めない。

参考書等

その都度指示し推薦する予定。

その他

講義形式であるが、必要に応じてスライド、OHPを活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 (5) (6) 〔 自然景観の成り立ち 〕	いちかわきよし 市 川 清 士	短国・短英	4

講義のねらい

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。

後期では前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていききたいと思います。

また、毎回の講義のはじめには、新聞に掲載されている自然環境に関する記事について解説・議論を行い、身近な環境の変化について考えていきます。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。また毎週、新聞を読んでから授業に参加することを望みます。

成績評価の方法

授業への参加・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教 科 書

使用しません。

参 考 書 等

その都度紹介します。

そ の 他

講義を主体とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。

また、駒沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論(1)(2)(3)(4)(10) 〔自然と災害〕	う わ がわ まさ ひと 宇 和 川 正 人	短国・短英	4

講義のねらい

「無人島には水害はない」。洪水があったからといって、必ず水害になるとは限らない。洪水が溢れても放っておけばよいのです。しかし、災害に脆い臨海地帯やデルタへの産業進出、人口集中によって、同じ異常自然現象を受けても、昔とは比較にならないほど大きい災害が発生するようになった。最近の自然災害は、科学・技術の進歩にも関わらず、さらに巨大化する傾向にある。加えて、大気汚染や水質汚染など新顔の災害の参入により、自然と人間の対応に根本的な見直しが要求されている。とくに、日本列島は「世界の災害国」といわれ、各種の自然災害が頻発する。

自然災害研究の究極の目的は、防災・減災・制御の満足な策定にある。災害は自然現象と社会現象が絡み合って発生するものであるから、防災科学は、自然科学分野と社会科学分野を体系化した総合的なアプローチを必要とする。

教養教育科目
自然分野

講義の内容・
授業スケジュール

1. 自然災害とは：災害の概念、典型的自然災害、災害誘因としての地象・気象・水象
 2. 自然災害対策：非構造物的方法（予知、警報、避難）と構造物的方法（耐震設計、河川堤防、防潮護岸、防災・洪水調節ダムなど）
 3. 自然災害の事例：台風、豪雨、噴火、地震、津波災害の実例説明
 4. 環境破壊と自然災害：地球生態系のしくみ、防災のための環境保全、森の価値など
 5. まとめ（自然災害白書）
- 前期に1. 2. 3を、後期に4. 5. を予定している。

履修上の留意点

ノート、地図帳（高校で使った）を用意すること。出来れば、地球儀も。

成績評価の方法

テスト、レポートに、出席を勘案して評価する。

教科書

使わない。

参考書等

その都度紹介する。

その他

講義を主とし、まとめて、スライド、ビデオによる説明を入れる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 (5) 〔環境と保全〕	<small>うるし</small> 漆 <small>ばら</small> 原 <small>かず</small> 和 <small>こ</small> 子	短国・短英	4

講義のねらい

前期は自然環境を理解するための基礎知識について講義をする。後期には人間活動による自然環境の諸問題についてふれる。地球の温暖化、オゾン層の破壊、大気汚染、酸性雨、砂漠化、熱帯雨林の破壊、鉱山跡地の保全、海洋汚染について最新のデータをプリントで配布し、説明する。受講生には自然にどのように接するべきか、自然の保護保全のために何をすべきか考えてもらう。

履修上の留意点

各時間に使用する図表のプリントを配布するので、毎回出席すること。

成績評価の方法

出席と試験によって評価する。

教科書

なし。

参考書等

テーマごとに授業中紹介する。

その他

講義方式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 (6) (7) 〔環境と保全〕	ことうだ かず お雄 古藤田 一 雄	短国・短英	4

講義のねらい

地球は“水の惑星”と呼ばれているように、地球表面の約70%は水で占められている。地球の水は、地球上の大気・陸地・海岸の三圏を絶え間なく循環し、自然環境を形成する重要な要素の一つになっている。

本講義は、まず地球上の水循環（水文循環）に関する基礎知識を理解し、つぎに大気・地上・地下を巡る水の動態の把握とその環境場との相互関係についての理解を深める。最後に、人間生活とかかわりの深い水環境・水資源・水質の保全について考究する。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の内容に沿って、講義を進める。

1. 地球上の水循環（水文循環）
水循環の思想の変遷
水循環の基本則－水収支と熱収支－
2. 大気と水文現象
降水と流出・浸透・蒸発散
洪水と干ばつ
3. 陸域の水循環
地表水と地中水の交わり
水と地形災害
水と地盤災害
地下水の環境
人間活動と水文環境

履修上の留意点

やむを得ず欠席した場合は、必ずその事由を付して欠席届を提出すること。

成績評価の方法

定期試験（筆記）で行う。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論(8)(9) 〔自然史と環境〕	藤 井 享 <small>ふじ い すすむ</small>	短国・短英	4

講義のねらい

最新の地質時代を第四紀というが、この時代は約170万年前にはじまり寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期を繰り返した時代である。この170万年間には少なくとも6回の氷期が確認されているが、このうち最終の氷期を「ヴェルム氷期」と呼ぶ。ヴェルム氷期は約7万2000年前にはじまり約1万年前までの5万8000年間継続したとみられる。つまり、長く続いた氷河時代の最後の氷期が終わったのはごく細菌のことなのである。私たちは今、最終氷期のあとの、東の間の温暖期に生きているのである。

ヴェルム氷期の中でも、約2万年前から約1万8000万年前は特に寒かった時代であり、現在の氷河分布面積の約3倍にあたるおよそ4900万km²もの氷河が陸地を覆っていたとみられる。北半球についてみると、それらの大部分は北緯40°以北に分布していた。

では、その頃の日本列島はどのような自然環境下にあったのであろうか。本講義は最終氷期以後の気候や植生、地形など気候変動に伴う自然環境の変化について考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は最終氷期（ヴェルム氷期）と現在、後氷期（最温暖期）と現在の各気候、海面変化、植生、地形等の自然環境を比較しながら進めたいと思う。その内容とスケジュールは以下のとおりである。

- ① 第四紀の編年と氷期・間氷期
- ② ケッペンの気候分類と寒冷地の気候
- ③ 日本列島周辺の気候と植生分布
- ④ 最終氷期の気候と植生変化
- ⑤ 最終氷期の日本海の環境
- ⑥ 海面変動と地形の変化
- ⑦ 後氷期の自然と環境

履修上の留意点

この講義は、大気汚染、水質汚濁、地球温暖化等の「地球環境問題」を論ずるものではなく、最終氷期から後氷期に至る気候や地形、植生等の自然変遷史を考察するものである。したがって、ヴェルム氷期以後の自然史を扱うので、留意してほしい。

講義の中で地図を多用するので、講義ノートとともに地図帳を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

講義の中で紹介する。

そ の 他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 (11) 〔宇宙から見た地球環境〕	しの 篠原 まさお 正 雄	短国・短英	4

講義のねらい

工場が周囲を汚染する公害問題から始まって、今日では全地球的な環境問題が議論されている。人類の活動が、物質循環においてもエネルギー循環においても惑星規模に達したことの当然の結果である。本講では個別の環境問題ではなく、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを論じる。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきた。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にある。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきた。本講では、現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境を考える。

講義の内容・授業スケジュール

太陽放射は地球環境の支配的な要因である。ところが人類は化石燃料の使用等により太陽放射と地球環境の関係を変えようとしている。前期は、まず太陽放射について学び、太陽系の他の惑星との比較をおりませつつオゾン層、地球温暖化について考える。

化石燃料を減らすには、原子力や太陽エネルギーなどの代替源が要る。後期は核エネルギーと放射能環境、太陽エネルギー利用の可能性について学ぶ。さらに、地球独特の自然が形成されてきた歴史をたどり、未来を考える。

成績評価の方法

学期末に行う筆記試験により、平常点を加味する。

教科書

パリティ編集委員会編『地球・環境・惑星系』（丸善）本体価格1,500円

参考書等

講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 (1) (2) 〔現代の自然像〕	しみず 善和・篠原まさお 清水 藤井 享・三好よししげ 重明	短国・短英	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、ここにいるのか？ 大宇宙の中の人類の存在の意味を問う本質的には哲学的な間に20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が、100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。

本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとつての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。さらに、実証的な自然科学と密接に関わりながら本質的に違った手法に立つ数学の視点で私達を取り巻く自然の姿に迫っていく。

第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄

- (1) 宇宙の起源 (自然の階層構造、膨脹する宇宙、ビッグ・バンと元素の起源)
- (2) 星の進化と物質の進化 (星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域)
- (3) 太陽系と地球の起源 (太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物)
- (4) 太陽と地球の進化 (地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境)
- (5) 宇宙の中の地球 (太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系)

第2講 生命の起源と進化 清水善和

- (1) 生命の起源 (生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説)
- (2) 生物の進化と進化論 (生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論)
- (3) 人類の進化 (霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション)
- (4) 生物の多様性 (分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布)

第3講 地層の堆積から山地の形成まで 藤井享

- (1) 中世代ジュラ紀-白亜紀の海と地層の堆積 (夕張山地)
- (2) 古第三紀と石炭の時代
- (3) 東北日本弧内弧の火山活動とグリーンタフ
- (4) 東北日本弧における奥羽山脈、出羽山地、内陸盆地群の形成史
- (5) 第四紀の気候変化 (氷期と間氷期) とそれに伴う自然現象

第4講 もしも地球が球体ならば 三好重明

地球表面が完全な球面であると仮定して、次の2つの「定理」を「証明」する。

「定理1」：地球表面上の対心点の組で、気温が相等しく、かつ気圧が相等しいものが (少なくとも1組) 存在する。

「定理2」：地球表面上の至る所、同時に、(爽やかな) 風が吹くことはない。すなわち、(少なくとも) 1点は、無風の点が存在する。

(受講に際して予備知識は仮定しないが、純粋な現代数学に属する話題であるから、欠席せずに毎回必ず受講し、かつ自分の頭で真剣に考え、理解しようという強い意志が必要である。)

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

その他

受講に際しての注意：本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回の出席の望めない4年生や運動部員等の履修は控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価 (テストやレポート等) を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
数 学 (1) 〔微積分学入門〕	みよししげあき 三好重明	短国・短英	4

講義のねらい

数学はすべての科学に対してその理論に記述のための言語を提供し、それらの科学理論が成立する基盤となっている。したがって、すべての科学と呼ばれる学問や、それらの応用を学ぶために数学の知識と技法、考え方を身につけることは必須である。しかし数学は他の科学に道具として提供されるためにだけあるのではない。むしろ科学の諸分野、さらには人間の営みのあらゆる側面に於いて、数学的構造は至るところにあるのであって、数学はそこから生まれ育ってきたものである。そして、数学の世界と言うものが存在する。それはあらゆる人間の営みに根を張りながらしかもなお独立した一つの世界である。そこには動機があり、問題が現われ、探究、実験が行われ、多くの失敗の後、様々な技法が開発され解決へと向かう。そしてさらに一般化や、関連した問題が認識され、それが探究されていく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、他の科学のための道具としての準備だけでなく、この様な数学の世界を少しでも示してみたいと思う。具体的にはいわゆる解析学（微積分学）と呼ばれるものの入門部分を解説することになる予定である。解析学は変化の様相を捉えるための基本的な言語を与えるものであって、全ての諸科学の基盤であるばかりでなく、人類が発見した最も重要な文化の一つである。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は原則として前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び授業時間中に適宜行う演習によって行う。

教 科 書

講義の初めに指定する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
数 学 (2) 〔線型代数学入門〕	みよししげあき 三好重明	短国・短英	4

講義のねらい

数学はすべての科学に対してその理論に記述のための言語を提供し、それらの科学理論が成立する基盤となっている。したがって、すべての科学と呼ばれる学問や、それらの応用を学ぶために数学の知識と技法、考え方を身につけることは必須である。しかし数学は他の科学に道具として提供されるためにだけあるのではない。むしろ科学の諸分野、さらには人間の営みのあらゆる側面に於いて、数学的構造は至るところにあるのであって、数学はそこから生まれ育ってきたものである。そして、数学の世界と言うものが存在する。それはあらゆる人間の営みに根を張りながらしかもなお独立した一つの世界である。そこには動機があり、問題が現われ、探究、実験が行われ、多くの失敗の後、様々な技法が開発され解決へと向かう。そしてさらに一般化や、関連した問題が認識され、それが探究されていく。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では、他の科学のための道具としての準備だけでなく、この様な数学の世界を少しでも示してみたいと思う。具体的にはいわゆる線型代数学と呼ばれるものの入門部分を解説することになる予定である。線型代数学は比例関係の概念を多次元量の間に一般化したものと捉えることができ、全ての諸科学の基盤の一つとなっている。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は原則として前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び授業時間中に適宜行う演習によって行う。

教 科 書

講義の初めに指定する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
数 学 (3) 〔現代数学入門〕	ふく だ ほん いち 福 田 賢 一	短国・短英	4

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会現象に応用例を求め具体的事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実際的な応用力の養成を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	1. 論理の基礎 2. 論理の応用 3. 線型代数 4. 線型計画法 5. 幾何学 6. 微分法 7. 積分法 8. 微積分法とその応用 9. 確率現象とその捉え方 10. 種々の応用
履修上の留意点	高校2年程度の平均的な学力があれば十分理解できるが、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な事項を確実に理解する必要がある。
成績評価の方法	期末試験、レポート、小テスト等の結果を総合的に判定する。
教科書	使用しない、プリントを配布する。
参考書等	その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 数 学 〔情報と論理〕	み よし しげ あき 三 好 重 明	短国・短英	4

講義のねらい	この講義では、コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際の数学的部分の基礎についての解説を行う。
講義の内容・授業スケジュール	したがって、基本的な数学の言葉の説明から始めて、論理代数と論理回路、アルゴリズムとその存在、計算量の問題、等を解説する予定である。
履修上の留意点	予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。
成績評価の方法	評価は原則として前期末と後期末の2回の試験によって行う。
教科書	講義の初めに指定する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
物理学 (1) (2) 〔光と物質〕	しの 篠原 まさ お 雄	短国・短英	4

講義のねらい

地上の天文学者は、天体から来る光を分析して、天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。

本講では「光とは何か、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定されず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見るとはどのようなことを体験していただくことにある。数式は物理に不可欠な言葉であるが、大切なのは数式により表現された意味である。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識は必要としない。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義する。

波としての光

光線 影 蜃気楼 波の反射と屈折 光波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気 電波望遠鏡 X線とガンマ線

色とは何か

色即是波長？ 虹は七色か 三原色 茶色い光の波長はいくら？ 目と光

光子としての光

熱と光 星の色 人の光 原子の構造と光 光波は粒子？ 電子は波

光と宇宙

光速 ブラックホール 光の旅・太陽発地球経由宇宙行き 生命：光の流れの渦

成績評価の方法

平常点で評価する。期末試験は行わない。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）本体価格1,600円

参考書等

ニュートン『光学』（岩波文庫）その他、講義の中で適宜紹介する。

その他

講義を中心とするが、理解を深めるために問題を考えてもらうこともある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
化 学 (2) 〔衣食住の化学〕	御代川 貴久夫	短国・短英	4

講義のねらい

我々の日常生活に密接に関連している環境問題を主に化学の面から理解できることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

夏学期（前期）は我々の日常生活におけるエネルギーの利用が環境に及ぼす影響について理解できるように、(1)エネルギー保存則、エントロピー、エネルギーの変換といったエネルギー科学の基礎、(2)化石燃料の種類、埋蔵量、化石燃料の資源としての将来性、熱汚染、(3)核壊変、原子力発電所の原理と実際、放射性物質の生物への影響、(4)太陽光エネルギー、地熱発電など更新性エネルギーの利用、(5)エネルギー収支の計算法などについて解説する。冬学期（後期）は現在人類の直面している環境問題の自然科学的側面を理解するために、大気、水、岩石圏の地球科学および生態学の知識を説明した後に、(1)SPM、SOX、NOX などによる大気汚染と対策技術、(2)酸性雨の発生メカニズムと環境への影響、(3)フロン類によるオゾン層の破壊と保護への国際協力、(4)二酸化炭素などの温室効果ガスによる地球の温暖化とその人類への影響、(5)砂漠化や熱帯林の破壊による生物の多様性の危機などについて解説する。

履修上の留意点

授業には毎回出席して、真面目な態度で受講すること。授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止する。

成績評価の方法

成績の評価は出席点、講義中に行う小テスト、および学年末に提出するレポート又は試験の結果に基づいて行う予定。

教 科 書

御代川貴久夫『環境科学の基礎』（培風館）

参 考 書 等

特になし

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宇 宙 科 学 (1) 〔宇宙像の歴史の変遷〕	たけだ よういち 竹 田 洋 一	短国・短英	4

講義のねらい

古人は毎夜星空を見上げることが常としていた。そして大理石に埋め込まれたかのように普遍に輝く恒星の印象的な並びには古来語り継がれてきた神話の主人公達をなぞらえ、その間を惑うが如く縫いつつ生き物のように不思議に滑り動く惑星こそ地上世界の運命を支配する神々に違いがないと畏れ敬った。絵画を見るかのような調和の様式美に満ちた夢のような世界。こういった天界に対する素朴な驚きと信仰心こそが古代の人々の宇宙観を理解する鍵となる。

時代は流れて近代。人間の未知なものに対する限りない興味は宇宙を全く別のアプローチから探求するようになった。そして自然科学の発達と観測技術の進歩が明らかにした宇宙像は別の意味で驚異的なものであった。ビッグバンと膨張する宇宙。爆発する銀河。何物も吸い込んでしまうブラックホール。すなわち猛烈な爆発と極限状態の物質が主役のダイナミックな阿鼻叫喚の世界だったのである。

本科目のねらいとするところは、一方では古代の人々の純朴な感情を彼らと共有しつつ、他方では現代科学の立場から見た驚くべき宇宙像を知ってもらうことにある。一つのキーワードで言い表すとすれば「センス・オブ・ワンダー (sense of wonder)」であろう。つまり星空とこの我々の宇宙に対する素朴な驚きを自分自身で感じ取ってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は太陽系の天体（月や惑星など）に関する天文学を中心に講義する。暦や占星術などの古典的な話題や古天文学にも触れたい。後期は星座と神話に関する歴史的話題も含めながら恒星の天文学を解説し、そして銀河宇宙の天体物理学的抽象について解説する。どちらかといえば前期よりも後期の方が自然科学的色彩の濃い話になろう。

成績評価の方法

基本的には前期終了時に行う中間試験と年度末の定期試験の成績を合わせて評価する。また多少は出席状況（随時チェックする予定）も加味しようと思う。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で折りに触れて紹介する。

その他

講義が中心の授業になるが、スライドやビデオの視聴覚教材も機会に応じてなるべく用いてみたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宇宙科学 (2) 〔星と銀河〕	しの 篠原 まさ 正 雄	短国・短英	4

講義のねらい

観測装置やコンピューターの発展に伴い、最近の宇宙の研究は急速に進展している。本講では、比較惑星論など地球物理学との境界領域も含めた広義の現代天文学の描く宇宙像を、研究の手法と併せて紹介する。

講義の目的は、宇宙がかつて考えられたような永遠不変、不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であることと、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただくことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、恒星について講義する。初めに、恒星の一つである太陽をとりあげ、その構造、エネルギー源、進化を論じる。次に、恒星一般について、研究の方法、恒星の分類、その結果わかってきた恒星の進化についてのべる。最後に、太陽系の起源について最近の説を紹介する。

後期は、銀河系および宇宙の起源と進化について講義する。銀河系の中で、星間物質から星々が生まれては、再び星間物質へと戻っていくことを繰り返す中で、物質が進化してきた。この過程の重要な現場である星生成領域の研究を紹介しつつ、前期に触れた恒星の進化を銀河系の進化の側面から捉えなおす。

最後に、宇宙の歴史と我々人類の存在との深いかかわりについて述べ、宇宙生物学や地球外文明探査の可能性について考える。

成績評価の方法

学期末の筆記試験による。平常点を加味する。

教科書

比田井昌英他『宇宙のデータブック』（東海大学出版会）本体価格1,500円

その他

講義を中心とするが、天体のスライドなどを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(1) [コンピュータの実際]	みよししげあき 三好重明	短国・短英	4

講義のねらい

コンピュータとは何かという問いから始めて、実習を交えながらコンピュータというものについて概説していく。

 講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータとは何か、その構成要素は何か、シリコンや金属の塊に過ぎないコンピュータがどういう仕組みで計算できるのか、コンピュータの動作原理(アルゴリズム)はどういうものか、プログラム言語とは何であってどうして必要なのか、ハードウェアとソフトウェア及び応用ソフトウェアの役割、プログラム言語とプログラミング、等の簡単な解説の後に実際にコンピュータを操作する実習として、ホームページを記述する HTML 言語の解説と演算及び簡単なプログラミングの演習をやりたい。時間が許せばワープロや表計算などの応用ソフトウェアの実習も行えるかもしれない。プログラミングには Java を使ってみよう。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は原則として前期末(中間試験)と後期末(期末試験)の2回の筆記試験及び演習(授業時間中に適宜行う)によって行う予定である。

教 科 書

講義の初めに指定する予定である。

そ の 他

実習のため計算機室で講義を行うが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(2)(3)(4) [コンピュータの実際]	うえはらりゅうへい 上原隆平	短国・短英	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理を学ぶ。実習を交えながら現在のコンピュータネットワークの上で実現されているさまざまな機能を理解する。

 講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータとはなにか、どのようなもので構成されているか、という金物的な話から、そのうえで実現され、実行されるソフトウェアとはどのようなものか、という話、さらにはコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネット上ではどのようなサービスが利用できるのか、という話まで、実習を交えて行う。ソフトウェアの背景となるプログラミング言語とプログラミング、数学的バックボーンであるアルゴリズム論などにも途中で簡単にふれる。インターネット上のサービスとして、電子メール、オンラインニュース、WWWなどのサービスを実際に利用する。最終的にはHTMLを用いたホームページの作成を通じて、構造を持った文とは何かを知る。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須になる場合がある。その場合は、実際の利用申請は、授業の中で適宜行う予定である。

成績評価の方法

前期末(中間試験)と後期末(期末試験)の2回の筆記試験および演習(授業時間中に適宜行う)によって行う予定である。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの原理〕	みよし しげあき 三好重明	短国・短英	4

講義のねらい

コンピュータとは何かという問いから始めて、実習を交えながらコンピュータというものについて、その原理を概説していく。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータとは何か、その構成要素は何か、シリコンや金属の塊に過ぎないコンピュータがどういう仕組みで計算できるのか、コンピュータの動作原理は（アルゴリズム）はどういうものか、プログラム言語とは何であってどうして必要なのか、ハードウェアとソフトウェア及び応用ソフトウェアの役割、プログラム言語とプログラミング、論理代数と論理回路、情報の表現、等の簡単な解説の後に実際にコンピュータを操作する実習として簡単なプログラムを書き（プログラミング）、それをコンピュータに実行させることをやりたい。プログラミングにはJavaを使ってみたい。また、構造を持った文書の作成に関して簡単に解説し、さらに、いわゆるホームページを記述する言語であるHTMLの初歩を解説する。時間が許せばコンピュータネットワークに関する話題にもふれたい。

履修上の留意点

予備知識は假定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験及び演習（授業時間中に適宜行う）によって行う予定である。

教 科 書

講義の初めに指定する予定である。

そ の 他

実習のため計算機室で講義を行うが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(6) [コンピュータの実際]	たけ だ よう いち 竹 田 洋 一	短国・短英	4

講義のねらい

今日の情報化時代、コンピュータが我々の社会において果たす役割はきわめて重要なものとなっており、この技能を少しなりとも有することは特にこれからの若い世代にとってはほとんど不可欠であるとみなして良いであろう。本授業の目的とするところは、未経験の初心者を対象にして、①コンピュータに関する最低限の基礎的知識、並びに②将来必ず必要になる代表的なビジネスソフトの操作経験、を身につけてもらうことにある。とはいえ堅苦しく考えるには及ばない。基本的な姿勢として、無味乾燥な学問的知識を強いて覚え込ませるといった形はなるべく取りたくはない。むしろ「習うより慣れろ」に重点を置いて、パーソナルコンピュータを実地に操作する演習を中心に据え、「コンピュータとはこんなことまで出来るんだ」といった感動を一人一人が自分自身の感覚で味わってもらいたいものと願う次第である。

 講義の内容・
授業スケジュール

この基本的指針の通り、次のような実際上の目標を設定して授業を進めたいと思っている。まず最初は、現在もっともポピュラーになったパソコンのオペレーティングシステムの代表格であるウィンドウズ（教場のパソコンは富士通 FM-V+Windows NT）に親しみ、習熟することを目指す。タイピングや日本語入力などのキーボードの操作、マウスを用いたウィンドウズの基本的テクニックから初めて、ファイル並びにディレクトリの取り扱い、ディスクへのデータの読み書きなどをまず学習する。そしてワープロや描画ソフトなどを用いてデータの交換と貼り付けの手法を学び、絵入りの文書が作成できるまでの基礎を身につける。

しかる後にビジネスソフトパッケージの代表格であるマイクロソフト社の「OFFICE」に含まれる各ソフトを用いての実習に取り組む。前期は主に表計算ソフトの「EXCEL」を扱うことにする。基本的な帳簿計算やグラフの作成の手法を学習することで、如何にこの種のツールが実際のビジネスにおいて便利なものであるかを自分自身で体験してもらいたい。後期は「データベースの取り扱い」をメインテーマに据えたい。前期で慣れた EXCEL に加えて、高機能のデータベースソフト「ACCESS」を用いて大量のデータの取り扱いと整理の仕方を学ぶ。できれば最終的には、初歩的なレベルのプログラミングで独自のシステムやインターフェイスを作ることのできる段階にまで到達してもらいたい。

履修上の留意点

先にも述べたように初心者を対象とするので特に予備知識の必要性はないが、折に触れて課題や宿題を出すつもりであるので授業以外でもパソコンの使用が必ず必要となるであろう。そのためには情報教育センターの自習室のパソコン群があるので、センターにこの利用のための登録（登録料1,000円）をする事はほとんど必須であるものと理解されたい。

成績評価の方法

各人の成績は、一年を通しての出席の様子、課したレポートや課題の提出状況と出来具合、おのおのの前期後期の終わりに行う計 2 回の試験の点数、などに基づき総合的に判断して決定する。

教 科 書

本年の授業では決まった教科書は特に用いない。毎回授業の際にプリントを配布する予定である。

そ の 他

実習室のパソコンの台数が限られているため、受講希望者が多い場合は選考をせざるを得ないので、その旨理解されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(7) 〔コンピュータの原理〕	うえ ほら りゅう へい 上 原 隆 平	短国・短英	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理を学ぶ。実習を交えながら現在のコンピュータの上で実現されるソフトウェアについて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータとはなにか、どのようなもので構成されているか、という金物的な話から、そのうえで実現され、実行されるソフトウェアとはどのようなものか、という話まで、実習を交えて行う。コンピュータが動作するために不可欠であるソフトウェアがどのように構成されるかということを中心に学ぶ。具体的にプログラミング言語 Java をとりあげ、これを使った簡単なプログラミングを行う。このプログラミングを通じて、数学的バックボーンであるアルゴリズム論、論理代数などについても学ぶ。またインターネット上の各種のサービスについても簡単にふれ、最終的には動くホームページを作成する。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須になる場合がある。その場合は、実際の利用申請は、授業の中で適宜行う予定である。

成績評価の方法

前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験および演習（授業時間中に適宜行う）によって行う予定である。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学 (1) (2) 〔人類の進化〕	えん どう ばん り 遠 藤 萬 里	短国・短英	4

講義のねらい

人類を理解しその進化を知るには骨や化石の話の話を聞いただけでは不十分である。人間が自然界でどの位置を占め、どう分類され、どのような特徴をもつかを知ったうえで人類の進化の意味がわかる。

講義の内容・授業スケジュール

人類が生物のなかでどのような位置になるのか、どのような特徴をもつか、その生態は、その遺伝は、そして最新の知識による化石からみる進化史は、どのように文明が創られたのか、というように進める。

履修上の留意点

教科書を使うので必ず持参すること。

成績評価の方法

成績は年度末試験で評価する。

教科書

正：遠藤萬里編『人類生物学入門』（てらべいあ）
副：高橋彬著『人体解剖学第3版』（てらべいあ）

参考書等

遠藤萬里著『人類学百話一話』（てらべいあ）
ルーウィン著／保志・酒崎訳『人類の起源と進化』（てらべいあ）
馬場悠男監修高山博編『人類の起源・イミダス特別編集』（集英社）
アンドリュウヒストリンガー著ウィルソン画／遠藤萬里訳『イラスト・ガイド どのようにしてヒトは進化してきたのか』（てらべいあ）
（てらべいあの本は駒大書店で入手可能）

その他

授業は教科書に沿って行なうが、ときどきスライドで楽しくやっていきたい。できるかぎり出席すること。常識だけで試験に合格するなどは絶対に考えないこと。常識にないことだらけである。前年度の講義とも全く違う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	短国・短英	4

講義のねらい

基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的な問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学的研究などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

鈴木清編 『人間理解の科学——心理学への招待——』（ナカニシヤ出版）2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (2) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	よこ <small>よこ</small> 横 山 <small>やま</small> 剛 <small>つよし</small>	短国・短英	4

講義のねらい

心理学の主要な領域・対象・方法について、基礎的な知識を解説し、人間の行動・心の動きの理解を深めるよう考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は、感覚知覚、学習、記憶、行動などを取り上げていく。そして後半は、感情とイメージ、パーソナリティ、成長と発達、心の健康などを取り上げていきたい（詳細な講義スケジュール・成績評価の方法については、最初の授業時に提示する）。

履修上の留意点

授業中、感じたこと・体験したことを書いてもらうことも予定しています。“素人考え”でよいですから、積極的に参加して下さい。コミットしていくことで、自分の心の動きを察知できるということもありますから。履修しようとする方は第一回より必ず出席し、教科書を持参して下さい。

成績評価の方法

平常点+筆記試験

教 科 書

山内宏太郎ほか『はじめての心理学』（北樹出版）

参 考 書 等

霜山徳爾編『臨床心理学』（学術図書出版）、中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）

そ の 他

他、プリント資料、V.TR、スライドも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (3) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	やま <small>やま</small> 山 岸 <small>ぎし</small> 直 <small>なお</small> 基 <small>き</small>	短国・短英	4

講義の内容・
授業スケジュール

心理学は人間のするあらゆることについて科学的・実証的に研究する学問です。なぜ多くの大学生は試験の直前にしか勉強しないのでしょうか。なぜ徹夜でプレステをするのでしょうか。この講義では人間のするさまざまなことについての一般的な原理を講義するとともに、日常生活の中のさまざまな行動がその原理とどのように関係しているのか、また日常の問題を解決するにはその原理をどのように応用することができるのかについて講義します。授業スケジュールについては第1回目の授業時にお知らせする予定です。

履修上の留意点

出席はとりませんが、単位を取得するためには毎回の授業に積極的に参加する必要があります。そうすれば講義内容を理解することができます。しかし、単に出席するだけでは単位を落とす可能性があります。履修する学生はその点に注意してください。

成績評価の方法

授業内容の理解度を把握するための数回の小テストと年度末のテストによって評価します。全体の評価に対する小テストの割合は高くなると思います。詳しくは第1回目の授業時にお知らせします。

参 考 書 等

授業時にいくつか紹介します。

そ の 他

基本的には講義形式の授業を行います。第1回目の授業時に配るレスポンスカードを使って随時質問に答えてもらいます。これは授業内容をよりよく理解するためのものです。積極的に参加してください。また、適宜 OHP やビデオを使用する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心 理 学 (4) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	あお つか とおる 青 塚 徹	短国・短英	4

講義のねらい

自分の心や他者の心をよりよく理解することは、人間にとって根本的な問題であり、また一人一人の生活や人生に密着したテーマです。そして、生活が豊かになり、物質的には恵まれたこの時代には、むしろ自分の心、他者の心とどう関わるかが、その人の生き方を大きく左右するといえるのかもしれませんが。人生の進路を決める時、いろいろな人間関係の問題で悩む時などに、自分の心のあり方、他者の心のあり方を深く見つめることができれば、よりよい対応が可能となり、生活や人生をより豊かにすることができるでしょう。しかしそのためには、日頃から心に対する理解を深めておかなければなりません。受講するみなさんが、心をより深く理解することを、少しでも手助けできるように講義内容にしたいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

前期においては、学問としての心理学の歴史と、心理学の各分野の重要事項を紹介し、これまで心というものが学問的にどのように理解されてきたかを紹介したいと思います。その際は、さまざまなトピックを紹介し、できるだけ分かり易く説明していこうと考えています。後期は前半と後半に分け、前半では、臨床心理学における基礎理論を紹介することなどにより、受講するみなさんが自分自身の心を見つめ、自分にとってよりよい生き方を見つける手がりになるような内容にしたいと考えています。後半では、「ことば」と心の関わりについて研究例を紹介し、「ことば」というものが、人間の特質をいかに強く規定しているかについてみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

成績評価の方法

出席を重視し、レポート提出1回、試験1回を予定しています。具体的には、授業開始時に詳しく説明します。

教 科 書

用いません。

参 考 書 等

随時紹介します。

そ の 他

受講者数にもよりますが、後期授業では、テーマを決めて討論会を行うことも考えています。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 (5) (7) 〔人間関係を考える〕	たか 橋 よし ひろ 高 橋 良 博	短国・短英	4

講義のねらい	心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。 特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。 また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。
講義の内容・授業スケジュール	講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。
成績評価の方法	筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。
教科書	鈴木清編『人間理解の科学－心理学への招待－』（ナカニシヤ出版）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 (6) 〔人間関係を考える〕	すず き じゅん いち 鈴 木 順 一	短国・短英	4

講義のねらい	心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅ですていただけます。 授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。
講義の内容・授業スケジュール	次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。 ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。 ② 自分や他人の性格を理解する。 ③ 自分の性格形成史をふり返る。 ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。 ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。 ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。
履修上の留意点	講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。 毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。
成績評価の方法	平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。
教科書	中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円 川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』 ——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 (8) 〔人間関係を考える〕	やま ぎし なお ぎ 山 岸 直 基	短国・短英	4

講義のねらい

心理学は人間のするあらゆることについて科学的・実証的に研究する学問です。なぜ多くの大学生は試験の前日にしか勉強しないのでしょうか。なぜ徹夜でプレステをするのでしょか。この講義では人間のするさまざまなことについての一般的な原理を講義するとともに、日常生活の中の様々な人間関係がその原理とどのように関係しているのか、また人間関係の問題を解決しようとするときその原理をどのように応用することができるのかについて講義します。授業スケジュールについては第1回目の授業時にお知らせする予定です。

 講義の内容・
授業スケジュール

出席はとりませんが、単位を取得するためには毎回の授業に積極的に参加する必要があります。そうすれば講義内容を理解することができます。しかし、単に出席するだけでは単位を落とす可能性があります。履修する学生はその点に注意してください。

成績評価の方法

授業内容の理解度を把握するための数回の小テストと年度末のテストによって評価します。全体の評価に対する小テストの割合は高くなると思います。詳しくは第1回目の授業時にお知らせします。

参考書等

授業時にいくつか紹介します。

そ の 他

基本的には講義形式の授業を行います。第1回目の授業時に配るレスポンスカードを使って随時質問に答えてもらいます。これは授業内容をよりよく理解するためのものです。積極的に参加してください。また、適宜 OHP やビデオを使用する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 (9) 〔心を科学する〕	たか ほし よし ひろ 高 橋 良 博	短国・短英	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

 講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）などを総合して評価を行う。

教科書

鈴木清編『人間理解の科学－心理学への招待－』（ナカニシヤ出版）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 (10) (11) 〔心を科学する〕	ほり うち まさ ひこ 堀 内 正 彦	短国・短英	4

講義のねらい

人間理解のためのひとつの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは、一個人の性格や人格の理解も含むがそればかりではない。例えば、物の見えかたや判断の仕方など、われわれ人間が一般に持つ特性を知ることもそこには含まれる。この講義では、心理学の様々な研究の紹介を通して「人間にはこんな面白い一面があったのか」というような人間に対する科学的な理解の足がかりとなることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

心理学には多くの研究領域があるが、その中から感覚・知覚・記憶、学習、思考、動機・情動、発達、人格、社会、臨床などについて講義する予定である。講義の中では、心理学研究で扱う実験や調査（例えば、錯視図形・ハトのキーつき・推論課題・人格テストなど）を可能な限り多く取り入れ、実際に見たり、体験してもらおう予定である。

履修上の留意点

この講義だけでなく何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中では「当たり前」のことと捉えているようなことに対して、素朴な疑問とも言うべき問題意識を抱くが大切であると考えられる。このような問題意識を持って授業に臨むことを希望する。なお、講義中の私語は厳に慎しまれたい。

成績評価の方法

レポートと筆記試験を1回ずつ行う予定である。また、毎回の講義の最後に簡単な質問に答えてもらったり、感想や質問・疑問を記述してもらい、これを出席カードにかえることを検討している。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 (12) 〔心を科学する〕	なか まる しげる 中 丸 茂	短国・短英	4

講義のねらい

心理学は、人間の行動（言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、自然科学の一分野であり、行動の科学と定義され、行動の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行う。また、講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. オリエンテーション | 心理学って何？ |
| 2. 血液型と性格 | 本当に関係あるの？ |
| 3. 科学としての心理学 | 科学って何？ |
| 4. 行動分析学Ⅰ | ラムちゃんの電撃 |
| 5. 行動分析学Ⅱ | バナナとリンゴ |
| 6. 行動分析学Ⅲ | 月に向かって吠える |
| 7. 認知心理学Ⅰ | マジカルナンバー |
| 8. 認知心理学Ⅱ | カクテルパーティ |
| 9. 認知心理学Ⅲ | 悩めるオマタかおる |
| 10. 心霊現象の心理学 | 幽霊は乗り物がお好き？ |
| 11. 社会心理学Ⅰ | 行動と心は一致するか？ |
| 12. 社会心理学Ⅱ | 他人を好きになる時 |
| 13. 無意識の心理学 | UFOは存在するか？ |
| 14. 人格心理学 | 社交的な人は朝に弱い |
| 15. 超能力の心理学 | 真実と解釈 |
| 16. 感情の心理学 | 本当の気持ちって何？ |
| 17. 所信の心理学Ⅰ | 知識は人類を駄目にする!! |
| 18. 所信の心理学Ⅱ | マインド・コントロール |
| 19. 宗教の心理学 | 神社の石段 |
| 20. スポーツ心理学 | イメージトレーニング |

履修上の留意点

講義は、プリント中心に行い、毎回、参考文献や図書の紹介を行う。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握できるというのではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。

成績評価の方法

筆記試験とレポートの提出が、それぞれ年2回あり、成績はそれらの絶対評価により行う。試験への参加・不参加、レポート提出・未提出は、学生の自由であり、得点は累積データとして処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教 科 書

なし

参 考 書 等

Super String SR21編『あしたのジョー「心理学概論」』（中央公論社）1995
 中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1982
 ジルバルドー, P.G.『現代心理学Ⅰ～Ⅲ』（サイエンス社）1983
 佐藤方哉『行動理論への招待』（大修館書店）1976
 ベネット, A他『認知心理学への招待』（サイエンス社）1984 その他

そ の 他

授業は、ビデオなどを使用し、簡単な実験を体験してもらいながら行っていく。学生-教師間のコミュニケーションは、講義終了後の感想文（悪口大歓迎!!）で行うので、出来るだけ提出しよう!!

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎物理学（前期）	し 清 水 忠 良 みず ただ よし	短放 1 選	2

講義のねらい

この科目は新入生に向けて開講されるものである。最初に今まで学習した内容の復習をする。近代（20世紀）の物理学で特に著しく医療に係わりの深いX線の発見と原子構造（主に水素）についてを材料にする。とりあえず、これらの世界の言葉の渦の中に浸っていただく。特に、現象と実験の関係を実際の歴史から採用する。予備知識は特に必要はない。問題意識としては百科事典、その他のメディアの情報には、簡単な基礎概念に対しても様々な表現があり、独特の言い回しがあること、常識的に信用があるとされている情報にもピンからキリまでであること、信頼できる情報とはなんだろうか？、などを身をもって体験してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

先ず、数回にわたって、学生に担当を決めて、以下の質問事項について調べ、発表してもらう。このときには何を参考にしてもよい。特に重視するのは、結果がどのような手段を用いて結果が得られたかを知ること。

- X線の発見
- 電子の発見
- 水素スペクトル
- ネオンの色
- 光電効果
- 原子核
- 周期律表と原子構造
- 単位系
- その他

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

筆記試験・レポートおよび出席により評価する。

教科書

特になし

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎化学（後期）	はら だ かず まさ 原 田 和 正	短放1選	2

講義のねらい

昨今の高校における理科の教科の履修方法では必修科目「放射化学序論」の講義の理解が困難な者が多い。「放射化学序論」では、出来る限り初歩的な、基礎レベルから講義をしているが「化学」を履修してきた学生との格差を埋めるのには充分とは言えない。

そこで、化学の学力が充分ではない学生、「放射化学序論」を聞いても理解のできない学生のために、その補習として演習形式により行う。化学の基礎的事項から「放射化学序論」で講義した重要事項についてまでを、問題として作成し、それ等の問題を解くことにより、これら基礎事項、重要事項を理解せしめ、応用力が身につくようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

a) 原子、分子、モルに関する問題

化学で量的に物質や化学変化を扱う時に基本となるモルの概念とその扱い方が十分に理解されていないと、化学そのものが理解できない。従ってモルを自由に使いこなせるようにする。

b) 化学結合に関する問題

分子軌道法の考え方について高校では殆んど扱っていない。物質の構造や性質を考える上では、この分子軌道法を導入することで理解しやすくなる。また水素結合も重要でありこれ等化学結合を詳細に理解できるようにする。

c) 化学平衡、電離平衡、pHの計算問題

質量作用の法則は不可逆反応でなければ広く通用する法則であって、それを十分に理解した上で、pHの計算法に関する問題を解く。緩衝溶液の緩衝能の計算も行う。

d) 酸化還元反応の式の作り方

酸化数についてのルールについては記憶して、その酸化数を用いて酸化還元反応の量的関係を電子の移動数として理解させる。

e) 標準電極電位と電位差の計算問題

酸化還元反応を電池と考え、その電位差を計算して、反応の進行について考える。

f) 反応速度と活性化エネルギーの計算

化学反応を理解する上でも、放射性核種の壊変についても、また生体触媒である酵素反応についても広く応用する計算であるから、基礎的事項として理解すべき問題である。

g) 化学熱力学

熱力学の第1、第2法則、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーの概念とその数量的扱い方、計算法の理解をする。

h) 吸光度の計算

比色分析をする上で必要な吸光度の計算法とその応用に関する理解をする。

履修上の留意点

高校で「化学」を履修しなかった学生、履修をしても学力が不充分だと自覚している学生を対象としている。また「放射化学序論」の講義を充分理解できない学生も選択履修をして欲しい。昨今の状況では、以上選択履修して欲しい学生は敬遠して選択せずに、逆に化学を得意とする学生が単位取得を目的のために履修するケースが目立つ。これはこの演習の目的から外れるものであって、好ましい傾向とは云えない。

問題は事前に配布するので、各自で問題を解いて欲しい。学生に解答して貰い、その解説を各問題ごとに行う。しかし、問題を解いて来ない学生、化学の出来る学生の解答を単に写してくる学生が居ると、演習の目的は達成できない。正解を写して事終われりとするならば、理解不十分のまま終わってしまう。

あくまでも自力で解く努力をして欲しい。例え間違っても、それなりの解答を出す努力をして、正解を示されたのを見たら、自分がどの点が間違っていたのか、どの点の理解に不足があったのか、わかる筈である。こうした努力が学力を養成すると考えて欲しい。

どうしても判らない場合には質問に来て欲しい。ただ質問に来る場合には全く判りません全部教えて欲しいという場合には答えないことにしている。ここまで解いたが、その先が判らない、またどうしてここで1/2にするのかと云った質問には、その解答を出すヒントを与えて考えて貰うことにしている。質問によっては、講義中に行った説明と同じ説明をすると納得する場合があるが、これは講義を聞いていなかったに相違ない。講義中には集中力を欠くことのないようにして欲しい。

成績評価の方法

(各時間小テストの平均+定期試験) × 1/2 = 成績

教科書・
参考書等

教科書としてプリントを配布する。参考書として「放射化学序論」の教科書を挙げておく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
計算機言語概論(前期)	すぎ 杉 田 徹	短 放 1 選 [H8年以降入学生]	2

講義のねらい	診療放射線技師を目指す諸君にとって、コンピュータの基礎技術を習得することは必要不可欠な条件といってよい。まずキーボード操作に慣れること、次に応用ソフトが自由に利用出来ること、そしてプログラミング技術を自らのものとしていることである。この授業では、初心者向きの言語である BASIC 高級言語を学び、それを用いてプログラミングの実際を習得する。 情報教育センターにおいて1人1台のコンピュータにより実習を行う。半期の授業である。
講義の内容・授業スケジュール	1. コンピュータの構成 2. コンピュータ言語の基本理論 3. BASIC 言語 4. パーソナルコンピュータによる実習
履修上の留意点	キーボード操作に慣れること。アルゴリズム的発想の習得とその活用に心掛ける。
成績評価の方法	実習の結果と定期試験により成績評価を行う。
教科書	コンピュータ教育工学研究所編 ガイドブック『BASIC』(サイエンス社) 1,854円
その他	選択科目であるが、2年次、3年次の専門科目に関係してゆくので出来るだけ受講してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎数学(前期)	し 清 水 忠 良	短 放 1 選 [H8年以降入学生]	2

講義のねらい	放射線を数量的に扱うための基礎を学ぶ。この科目は高校での数学の微分・積分学を今までとは違った角度から学ぼうとするために開設された。
講義の内容・授業スケジュール	いろいろな曲線 曲線の表し方(座標系のいろいろ) 曲線を作る(パソコン使用) 曲線を切る(微分)
履修上の留意点	特になし
成績評価の方法	筆記試験・レポートおよび出席により評価する。
教科書	矢野・石原共著『科学技術者のための基礎数学』(裳華房)
参考書等	P.ラックス他『解析学概論』(現代数学社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎生物学（後期）	し清水よしかず 清 水 善 和	短放1選	2

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後の連綿と続く進化の過程を経て現在に至った歴史的産物である。体の構造、生理、生態、種の分布などあらゆる面に過去の歴史が反映されている。一方、すべての生物の基本単位となる細胞には生命の根元物質である遺伝子（DNA）が含まれ、この遺伝子の情報に基づいて体がつくられ、そのコントロールのもとに生命が維持されている。生命活動のどの部分をとっても、遺伝子と無関係なところはないといってよい。現代生物学は遺伝子という物質的な拠り所をえて、より厳密で実証的な学問に変わりつつあるといえる。そこで、本講義では生物の進化と遺伝子を二つのキーワードにして、現代生物学の各分野の基礎的な内容を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 生体を作る物質
 - (1) 生元素
 - (2) 有機物
 - (3) 生体高分子
 - (4) 生命活動（酵素とATP）
- 第2章 細胞
 - (1) 細胞のしくみ
 - (2) 生体膜
 - (3) 共生説
- 第3章 遺伝子
 - (1) 遺伝子の働き
 - (2) タンパク質合成
 - (3) 突然変異と進化
- 第4章 発生
 - (1) 発生と遺伝
 - (2) クローン
 - (3) 細胞系譜
 - (4) 個体発生と系統発生
 - (5) ヒトの発育段階
- 第5章 神経と脳
 - (1) ホルモンと神経
 - (2) 情報伝達のしくみ
 - (3) 脳の構造と働き
 - (4) 脳と神経ホルモン
- 第6章 免疫
 - (1) 抗原と免疫のしくみ
 - (2) 免疫のネットワーク
 - (3) 血液型
- 第7章 性と生殖
 - (1) 遺伝子と染色体
 - (2) 細胞分裂
 - (3) 性の決定様式
- 第8章 遺伝
 - (1) メンデルの法則
 - (2) 遺伝病
 - (3) 集団遺伝学の基礎
- 第9章 系統と分類
 - (1) 分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 生物多様性
- 第10章 進化と進化論
 - (1) ダーウィン進化論
 - (2) ネオ・ダーウィニズム

成績評価の方法

テストと出席により評価する。

教科書

特に用いない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

板書中心の講義形式。必要な図表は適宜プリントにして配布する。

(4) 総合分野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 I (1) 〔 仏教と自然 〕	な ら やす あき 奈 良 康 明	短国・短英	4

講義のねらい

私たちは動・植物や山川草木等の自然とさまざまに関わり、共に生きている。というより、人間は環境としての動植物、自然に生かされている。しかし、今日、人間の側からの自然の収穫は著しく、そのために自然破壊、生態系保全など多くの問題が生じている。私たちは今後、動植物、自然とどう付き合うべきなのだろうか。
こうした問題を仏教の自然観、人間観、世界観を中心に検討してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、欧米の「西」の自然観と、インド、中国、日本を中心とする「東」の自然観の基本を比較検討する。私は「西」の自然観は「神→人間→動物→山川草木」のタテ系列であるが、「東」では人間、動植物、山川草木がすべて「自然なる存在」として同列にならぶヨコ系列ととらえ得ると考えている。東西の種々な誤解は、この差を相互に理解していないところに起因している。
さらに、インド、中国、日本における仏教伝承に見られるさまざまな問題を取り上げてみたい。例えば、輪廻的世界観における人間と動物の関係、植物の生命の有無、肉食と菜食、不殺生戒の意義と適応の問題。放生会、鰻供養等である。日本人に特有の万物の「いのち」という発想には、中国の「万物同根」、「無情說法」などの影響もあると同時に、「悉有仏性」および「悉皆成道」思想との関係もあると考えられる。これらは現象すべてに肯定的価値を与えるすぐれて日本的な考え方であるが、広く仏教文化史の立場から光をあてると同時に、「自然との新しい関係の樹立」を迫られている今日の立場からの再検討をも試みたい。

履修上の留意点

適宜プリントを配布し、参考書を指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅱ (1) 〔 旅 〕	前 期：竹内啓一 後 期：富士昭雄	短国・短英	4

講義のねらい

総合科目は複数の専門分野にまたがる内容で、すべての学部の学生に公開される新しい形の科目である。この講義は「旅」をテーマにして、竹内（地理学）、富士（国文学）がそれぞれ専門の観点から講義する。

最近海外に行く日本人が1年に1800万人にも達し、国内の旅を含めると何らかの形の旅をしない人はいないほど、旅が容易な時代になった。人はなぜ旅をするのだろうか。どんな旅があったのだろうか。旅の目的地や旅のルートはどうやって選ばれるのだろうか。旅をすることによって、何が得られるのだろうか…。

旅する人々は、身分や境遇をはじめ旅の目的も様々であり、旅に関する心情や感想も多種多様である。旅は人々の心を豊かにするばかりでなく、さまざまな学問の研究対象になっている。

専門を異にする教員の講義を聞いて、新しい人生の旅を始めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

竹内啓一（前期担当）

1. 旅の分類学：旅の考古学・旅の考現学
2. 巡礼・ガイドブック・マストゥリズム
3. 探検の変質：「地理的発見」から「科学的」探検へ
4. 旅される者（travelee）の立場
5. 王の旅、とくに天皇の行幸
6. 日本人にとってのオリエンタリズム
7. ディアスポラの立場

富士昭雄（後期担当）

1. 万葉集・伊勢物語などの旅と文学。また歌枕にも論及。
2. 更級日記・十六夜日記などの女性の旅と文学。
3. 平家物語・太平記などの武将の旅と文学。
4. 西行・芭蕉など連歌師・俳諧師の旅と文学。また俳枕にも論及。
5. 東海道名所記・東海道中膝栗毛などの滑稽人物の旅と文学。名所記・名所図会にも論及。
6. 近代の鉄道の旅と文学。

成績評価の方法

担当者がそれぞれ授業時間内に50点満点の筆記試験を実施し、2人の合計点をもって成績とする。

教科書

とくに用いない。随時資料を配布する。配布資料用のファイルを用意されたい。また、必要に応じてスライド等を用いる予定である。

参考書等

授業中に提示する。

その他

主として講義形式で進める。必要に応じてビデオ、スライド、OHPなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 II (2) (自然観察入門-富浦をめぐる人と自然)	しみず よしかず うるしぼら かずこ 清水 善和・漆原 和子 おだか しゅういち しのほら まさお 小高 昭一・篠原 正雄 ふじい すずむ みよし 藤井 享・三好 重明 やなぎさわ のりお 柳澤 紀夫	短国・短英	4

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データをとり、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。一方、我々の身近に接する自然は生の自然ではなく人間の営みの内にある自然である。あらゆる地域の自然を理解するためには、自然をめぐる歴史的・地理的な背景を知る必要がある。本講義では前期半期で植物、鳥類、岩石・土壌、天体の観察方法やデータ処理の方法、レポートのまとめ方等を紹介し、一部の講義では駒沢公園を利用した実習をおこなう。また、夏休み中に千葉県富浦町にある駒沢大学富浦セミナーハウスにて泊まり込みの集中講義と植物・植生、地形・地質、歴史・地理の巡検をおこない、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。また、夜には天体観測の実習も行う。これらの講義・実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方と基本的な観察の手法を学ぶ。

 講義の内容・
 授業スケジュール

次のような内容で前期の講義と富浦での実習をおこなう。内容に応じて、合計7名の教員が交代しながら講義と実習を担当する。

本校での講義（駒沢公園での実習を含む）：前期半期

- | | |
|-------------------------------|-----------------|
| (1) ガイダンス（定員30名を越えた場合の受講者の抽選） | (8) 天体観測の方法 |
| (2) 自然観察の方法（図鑑の使い方等） | (9) 房総半島の地質 |
| (3) 植物の観察（駒沢公園） | (10) 房総半島の地形・土壌 |
| (4) 鳥類の観察方法 | (11) 房総半島の植物・植生 |
| (5) バードウォッチングの実際（駒沢公園） | (12) データ処理の方法 |
| (6) 岩石・地質の見方 | (13) レポートの作成方法 |
| (7) 土壌の観察と分析方法 | |

富浦での講義・実習：7月20日(火)夕～7月24日(土)昼（4泊5日）

講義

- | | |
|---------------|--------------------|
| (14) ガイダンス | (18) 富浦周辺の歴史・地理 |
| (15) 天体観測について | (19) パソコンによるデータ処理1 |
| (16) 富浦の地形・地質 | (20) パソコンによるデータ処理2 |
| (17) 富浦の植物・植生 | |

夜：天体観測（二晩）

最終日：レポート作成

巡検

- (1) 地形・地質
- (2) 植物・植生
- (3) 歴史・地理

履修上の留意点

前期半期の講義と夏休みの実習の両者を合わせて単位を認定するので、実習に出られない人は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、夏休みの実習に参加できる人のみ履修すること。また、富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする（予約の都合上、宿泊費は4月に徴収する）。実習を伴う科目の性質上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回の講義で詳しいガイダンスを行ない、履修希望者が定員を越える場合にはその場で抽選を行なうので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

合計7名の教員が分担して講義と実習を行うので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課してこまめな評価を行う。富浦の実習については現地での実習をふまえて課題についてレポートを課す。以上の評価と講義・実習の出席点とを総合して最終的な判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試は行なわない。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

必要に応じて参考書を紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	短国・短英	4

講義のねらい

This is perhaps the most difficult English course available ; its purpose is to prepare students for study abroad. The course is conducted so that you may experience what it is like to take a university-level course in a foreign country. This experience should enable students to have more success studying abroad. The course is designed so that students can study something in English instead of studying English. Everyday English conversation as such will not be taught, although much emphasis is given to practice in carrying on an intellectual conversation in English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. I hope you will enjoy practicing an advanced level of English, and I also hope that you will really enjoy thinking about these topics.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おか さき とし いち ろう 岡 崎 寿 一 郎	短国・短英	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって変更されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3000校、日本は、約1000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）。講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参 考 書 等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅲ (3) 〔女性学・男性学〕	すま やま ひび こ 杉 山 秀 子	短国・短英	4

講義のねらい

まず本講座では、日常生活において男女の意識や役割の区分が長い年月をかけて文化的につくられてきたことの歴史的経過を理解し、ジェンダー（社会的、文化的性差）の概念を正しく把握することにより、ジェンダーの視点から、社会的人間関係や、社会構造について新たな考察を展開したい。そもそも女性学とはこれまで男性中心に出来上がっている社会を女性の視点から新たに洗い直し、批判的に分析するための学問として成立した。従って女性学の主要な課題は男性によってこれまでつくりあげられたバイアス志向（男の視点によるもの見方の偏向性）による既成の社会や、政治、経済の仕組みや、道徳観、思考などにメスをいれ、批判的に解剖することであった。女性学のこの華々しい出現に対して、男性達も男性優位の社会のなかで必ずしもそれが自分達にとって都合のよいことではないということ、男性中心社会が、女性にとっても快適な社会でないのと同様に男性にとっても居心地がよくないということが、男性自身にも近年ようやく気づきはじめられてきた。現在日本でも遅ればせながら、男性社会を男性の目でもう一度読み直そうとする男性学研究の気運が年々高まってきているのである。本講座ではこれらの最新の情報を踏まえながら、女性学、男性学の基礎を学んでいきたい。

授業のやり方としては、以下の項目の問題点をまず教員が基本的に提議、説明し、そのあと具体的な問題点を各人にディベートしてもらい、問題の所在を明らかにする事により、お互いに切磋琢磨し、意識を高めあいたい。

 講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 女性学、男性学とはなにか？
- 2) 性差とはなにか？
- 3) 男らしさ、女らしさとはなにか？
- 4) 性のダブル・スタンダード
- 5) 性の商品化
- 6) セクシュアル・ハラスメント
- 7) ジェンダー・ハラスメント
- 8) ジェンダー・トラブル
- 9) 家庭と性別役割分担
- 10) 現代日本の家族が抱える諸問題……非婚化、夫婦別性、出生率低下と高齢社会
- 11) 労働とジェンダー
- 12) まとめ

成績評価の方法

授業中に何回かにわけて小論文を書いてもらい、提出する。また年一回課題を出し、レポートを提出する。

教 科 書

プリントその他を必要におうじて配布する。
場合によってはビデオ、映画などを見る。

参 考 書 等

参考書はその都度列挙する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (2) 〔アメリカの黒人問題〕	<small>なか お しゅん こう</small> 中 尾 俊 光	短国・短英	4

講義のねらい

講座名を「アメリカの黒人問題」としました。アメリカの「黒人」が好む呼称の変化は次の通りです。

	1969	1979	1989	1993
アフリカン・アメリカン	—	—	23%	28%
アフロ・アメリカン	10%	1%	—	—
ブラック	19%	72%	66%	37%
カラード	20%	12%	—	—
ニグロ	38%	9%	—	—

(「ワシントン・ポスト」 1994. 1. 23より)

以上のような変化は「黒人」自身のアイデンティティの意識の変化を表わしているといえるでしょう。最近では日本でも「アフリカン・アメリカン」が採用されつつあります(「NHK ラジオ英会話」1995. 10月号)。それにもかかわらず、「黒人」を採用したのは、日本での現実認識を鑑みる時、この呼称が最も一般的と思われるからです。

アメリカの黒人は過去から現在に至るまで様々な重い問題を負わされてきました。そしてこのような黒人の現実、高々と掲げられてきた「アメリカ民主主義」の理念とどのような関係にあるでしょうか。黒人が抱えている重い諸問題と、そのような現実を内部に抱えている「自由と平等の国・アメリカ」。このような観点をふまえて「アメリカの黒人問題」と題しました。

アメリカのいわゆる「黒人問題」は、1960年代に高まりを見せた公民権運動の多くの差別撤廃の成果にもかかわらず、今なお未解決のままに残されています。政治的、社会的、そして経済的諸権利について、黒人は法の下での平等をほぼ達成したと考えられますが、黒人大衆の経済状態は依然として改善されていないようです。「人権」や「肌の色」の問題としてというよりも、過去に遡る諸要因によって、アメリカの経済機構の中に差別された状態で組み込まれてしまっていることが、1つの明らかな状態——貧困——となって現われていると思われま(教科書、251頁)。1619年にアフリカ大陸から強制的に「引き剥ぐ」ように「20名の黒人」が初めてアメリカの地に連行されてきました。その時から「アメリカの黒人」の苦しみが始まり、現在に至っています。彼らの苦悩とそれからの解放を求める歴史を辿りながら、そこに見い出される重要な出来事・事件の意味を、一方の「アメリカ民主主義の理念」と対照させながら考えたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の内容(プロローグと10項目)と順序(年代順)に従って、教科書では示されていない重要な事件(裁判等)や問題点をも取りあげ、その意味を考察します。各項目に2時限を当て、とくに重要と思われる「公民権闘争」及び「黒人革命」については、それ以上の時間を当てる予定です。なお、授業の方法は「講義」です。

履修上の留意点

本講座では、知識の修得ということばかりではなく、受講生自身の問題意識を大切に、「人間が共に生きること」の意味を自らに問い続けて下さい。参考書、とくに「アメリカの民主政治(中)」(A. トクヴィル)、「黒人はなぜ待てないか」・「良心のトランペット」(M.L. キング)に目を通して下さい。

成績評価の方法

前後期それぞれに2回(通年4回)のミニレポート提出、そして「学年末レポート」提出を求めます。以上の5点を総合評価します。

教科書

『アメリカ黒人の歴史』(岩波新書) 580円

参考書等

1. A. トクヴィル著『アメリカの民主政治(中)』(講談社学術文庫)
2. M. L. キング著『黒人はなぜ待てないか』(みすず書房)
3. M. L. キング著『良心のトランペット』(みすず書房)
4. ベンジャミン、クォールズ著『アメリカ黒人の歴史』(明石書店)
5. 中島和子著『黒人の政治参加と第三世紀アメリカの出発』(中央大学出版部)
6. 上坂昇著『キング牧師とマルカム X』(講談社現代新書)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	丸 小 哲 雄 <small>まる こ かつ お</small>	短国・短英	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。ポストモダンという言葉には混乱があります。最大公約数的に言って、ポストモダンは、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座(特権化された場所)を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現として現代史を思想化(帝国主義と植民地化する力の露呈)することにあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者(=文化)をどう捉え、どう身体的に受けとめて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

そこで、自己回帰のパラドックスと自己言及のパラドックスを確認して後で、「ポストモダン」をキーワードに現実世界のテキストの解釈を目指しつつ、プレモダン(前近代)→モダン(近代)→ポストモダン(脱近代)→トランスモダン(横断的近代)を対照的に重層的に講義します。

講義の内容・ 授業スケジュール

(代表的な思想家の文献リストに従って)

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き:「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方:「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について:ポストモダンの建築の特質とジェンダー論について
4. 言語について:ソシュールの言語観;言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観・宇宙観・社会観の変化について:プレモダン(前近代:絶対王政と重商主義)、モダン(近代:生産資本主義の文化)、ポストモダン(脱近代:消費資本主義社会の文化について)
7. 西洋の理性批判として:ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス:とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判としての『道徳の系譜』を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について:合理的理性批判について
9. フーコー、デリダなどを中心にして近代化批判の根っこのところの解説
10. トランスモダン(横断的近代:モダンとポストモダンの内から外へ)
11. レビュー:冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

成績評価の方法

平常点30%、ターム・ペーパー(レポート作成)50%。さらに、前期、後期に関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだペーパーも提出:20%。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

随時指示し、適宜コピーも配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (1) 〔 民族問題 〕	ほら じり ひで き 原 尻 英 樹	短国・短英	4

講義のねらい

みなさんご存知のことと思いますが、世界中で民族紛争や民族問題が噴出しています。この講義では、単にこのような問題をそのまま論じるのではなく、学問的にこの問題にアプローチする方法について考察します。とはいえ、どこか遠くにある「民族問題」について考えるのではなく、我々の日常における「民族」に関わることももから検討します。この講義のねらいは、「我々の日常生活における『民族』現象理解」です。

講義の内容・授業スケジュール

我々の日常的な生活に題材をとって講義をすすめ、毎回「読み切り」方式とします。ただ、カバーする「民族」に関する考察範囲は広く、日本、朝鮮半島、北米、中南米、アフリカなど多様な「民族」あるいは「民族問題」が検討されます。具体的な授業スケジュールは、最初の講義の際に配布しますが、たとえば、次のようなものです。

- 「『日本人』の名前は？」
- 「『日本人』とは何か？」
- 「ケビン・コスナーのルーツは何か？」
- 「安室奈美恵と羽賀研二の違い」
- 「君は名古屋の結婚式にたえられるか」

履修上の留意点

授業は時間どおりに始め、時間より少し早めに終わります（質問等を受けつけるため）。10分以上遅れて来る人は、私のギャグや冗談がわからなくなりますので、ご遠慮ください。

成績評価の方法

年二回の定期試験と時折ぬきうちでおこなう小テストで成績を決めます。

教科書

原尻英樹編『世界の民族』放送大学テキスト（日本放送出版協会）

原尻英樹『「在日」としてのコリアン』（講談社現代新書）

少しお金がかかりますが、この授業だけでなく、今後学生生活を続けていくうえで、それなりに役に立つ本だと思います。これらの本を直接使うのではなく、一年間を通して学習していけば、これらの本に書いてあることが結果的に理解できるようになる授業にしていきます。ですから、授業の合間や授業の後に参照すれば、授業の内容がよりよく理解できるようになります。

参考書等

授業中プリントを配り、それによって伝えます。

その他

授業の方法はウィットとユーモアを裏切る講義ですが、ビデオ教材も使い、具体的な画像や音声で理解を深めていきます。参加して楽しい授業にします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (2) 〔 イ ス ラ ム 〕	しお じり かず こ 塩 尻 和 子	短国・短英	4

講義のねらい

世界宗教の中でイスラムは日本人に最も馴染みのない宗教であり、最も分かりにくいといわれる。しかし現在、世界ではキリスト教について第2の宗教勢力を有し、世界総人口の4.5人に一人はイスラム教徒である。他の世界宗教が伸び悩む中で、イスラムの勢力は成長し続けている。来る21世紀の国際社会はイスラムを抜いては語ることができないであろう。イスラムについてこれまで語られてきたような偏見と蔑視を捨てて、正しく学び理解することが急務であると言っても言い過ぎではない。イスラムは宗教ではあるが、しかし一般的な「宗教」の枠組みに入らないダイナミックな側面を持つ。本講座ではイスラムの歴史、思想、文化などを教科書に沿って学びながら、適宜マスコミ報道や現実の国際問題なども考察し、幅広い理解を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

講義は教科書を用いて進めるが、イスラムに関する時事問題を取り上げて、イスラムの理想と現実の両側面からの理解を目指す。また参考資料などはコピーして配布する。年間4回ほどビデオ鑑賞を設け、馴染みのない宗教世界を視聴覚からも理解する。年間計画表（シラバス）、参考文献表は授業開始時に配布する。

履修上の留意点

試験は学年末に行うが、出席し十分にノートを作成することが重要である。また日ごろからイスラムに関する報道に注目し、質問や意見を積極的に述べること。

成績評価の方法

試験の結果と出席日数によって総合的に評価する。

教 科 書

中村廣治郎著『イスラム教入門』（岩波新書）640円

参 考 書 等

小杉泰著『イスラームとは何か』（講談社現代新書）700円

そ の 他

授業は講義形式で行う。ビデオ、音声テープなども利用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	あ げ の ふ み え 上 野 富 美 枝	短 国 ・ 短 英	4

講義のねらい

ジェンダー論とは、これまで自然的な領域にカテゴライズされることの多かった性を社会的なカテゴリーへ転換することによってみえてきた新しい人間論であると同時に、性を捨象してきた従来の社会科学の枠組みを超えた新しい社会理論である。この講義では、ジェンダー論の総体を概括すると同時に、それと密接な関連領域であるフェミニズムの理論・思想についてもあわせて考察する。新しい学問にふさわしく、生命と生活を感じることのできる講義、受講生の生きる指針さがしに役立つ講義にしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書を沿ってすすめる。

- ① ジェンダー論とはなにか
- ② ジェンダーと家族
- ③ ジェンダーと労働
- ④ 性と生殖
- ⑤ フェミニズムの理論と思想
- ⑥ ジェンダーフリーへの道

履修上の留意点

最新のデータ・事象を素材に授業を進めるので、毎日の新聞に目を通していただきたい。

成績評価の方法

レポートおよび小論文形式の試験

教 科 書

浅野富美枝『生きる場からの女性論』（青木書店）2,730円（税込み）

参 考 書 等

授業の中で随時必要に応じて指定する。

そ の 他

講義を中心とするが、ビデオ視聴、バズセッションもとり入れる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII (1) 〔トラブルと法的解決〕	<small>すぎうら</small> 杉浦 智紹・ <small>あめみや</small> 雨宮 眞也 <small>おかだとしひろ</small> 岡田外司博・ <small>せきぐち</small> 関口 雅夫 <small>はやし</small> 林 幸司・ <small>ふじもと</small> 藤本 茂	短国・短英	4

講義のねらい

私達が日常生活をしていく上で、現在は様々な法的トラブルが生じている。善良な市民が時には泣寝入りし、時には逆に裁判にまで発展することも少なくない。

そこで法的トラブルが発生したらば、どのように解決したらばよいのか。またそうしたトラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのかについてマクロ的またミクロ的に採り上げて分析し、法治国家の市民として知っておかねばならぬ、法的知識や解決への糸口を模索すると共に、幅広く資料を提供しつつ法的解決の在り方を知ってもらいたいと考えている。

全学共通教養科目の中、総合科目「法的トラブルと法的紛争の解決」というテーマで、法的トラブルの類型的発生形態と解決基準について、専門的な立場から、個別的に問題を採り上げて、法的解決に必要な実践的ノウハウを提供しようというのが開講意図である。

今回は民事法領域に限定しているが、次年以後には刑事法領域、あるいは憲法、行政法領域、公害法、医療法等の領域にも拡大し、更には、心理学、社会学的な分野の専門的立場の方にも加わってもらって、より実質的なものへと進展させるように努めたい。

本年は6人の法学部教員がそれぞれ、実質4回の講義を予定している。

講義の具体的内容については、担当教員が開講にあたって開示する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 「法的トラブルとその予防的手段及び解決への具体的対処法」 杉浦智紹
- ② 「財産関係・恋愛・結婚をめぐるトラブルと法的解決」 林 幸司
- ③ 「職場（オフィス）をめぐるトラブルと法的解決」 藤本 茂
- ④ 「消費者取引をめぐるトラブルと法的解決」 岡田外司博
- ⑤ 「企業・有価証券等をめぐるトラブルと法的解決」 関口雅夫
- ⑥ 「法的紛争の解決方法と具体的手段」 雨宮眞也

履修上の留意点

担当教員1人の講義回数実質4回であるため、講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

各担当教員によるテストの成績を総合して評価する。

教 科 書

特に指定はしない。

参 考 書 等

講義に際して、その都度、具体的に開示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII (2) 〔 都 市 論 〕	早川純貴・岩下弘 浦田早苗・江上渉 首藤素子・中野裕二 宝利尚一	短国・短英	4

講義のねらい

日本人の多くが都市生活者となった現在、都市は今や、政治・経済活動の主要なアリーナであり、常に刷新と否定を繰り返す文化・イベント創造の場である。あるいはまた欲望と情報の巨大な消費空間とも言えよう。人々は富と権力を求め流動し、新たなコミュニティの創造を試みる。いま世界の大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化/住宅難/犯罪/貧困と失業/ホームレス/ゴミ問題/再開発、あるいは国際化/多文化主義 etc. しかしそれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と収縮を繰り返す都市社会が示す多様な表象にはかならない。そうした都市の現状を政治学や経済学そして社会学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義は7名の講師により、各々2～5回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。

【第一部：コミュニティとまちづくり】

早川純貴『都市論』のガイダンス（1回/4月）

江上 渉『都市とコミュニティ』（4回/5月）— 20世紀は「都市の世紀」といわれるように、近代化、産業化が都市を中心に進んでいった100年であった。では飛躍的な経済成長も望めず、環境問題や高齢化・少子化といった問題を抱えてあまり明るい見通しの立たない21世紀の日本で、都市社会はどのようになっていくのだろうか？私たちの生活の基盤である地域社会（コミュニティ）を見直すという立場から、この疑問を考えてみたい。

岩下 弘『『まちづくり』と流通』（4回/6月）— 最近流通をめぐる「まちづくり」論が盛んである。これは都市空洞化に端を発し、都市計画の先進国であるヨーロッパ諸国では戦後すぐから「インナーシティ」問題として注目されてきている。日本においても郊外に大規模商業施設が立地し、モータリゼーションの進展と相俟って、従来型の駅前中心商店街が衰退し都市機能の分散と空洞化が発生している。ここでは都市の変容について流通の視点から検討する。

早川純貴『『まちづくり』と住民参加』（5回/7月・9月）— 木質アパートの建て替え・公園建設・防災対策・地域による老人障害者支援など身近にあるまちづくり、あるいは古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちの形」を住民参加の観点で考える。

【第二部：海外の都市問題】

宝利尚一「アメリカの都市とエスニック・グループ」（3回/10月）— 多人種社会、多元文化の米国の主要都市の実相について分析する。建国以来の都市の変容や、60年代以降に顕著なアバン・クライシス（都市の拡大、犯罪の増加、移民流入など）について考察する。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（2回/11月）— イギリスの一般市民の都市生活を食事/娯楽/住居などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

中野裕二「移民問題とフランスの苦悩」（2回/11月）— 移民や外国人労働者の問題は先進諸国で等しく見られるが、その問題の起こり方は国によって様々だろう。そこで、フランスの移民問題を概観した後、住宅や教育に焦点を当てて、フランスに特徴的な点を浮き彫りにする。

首藤素子「東南アジアの都市と政治」（2回/12月）— 東南アジア、とくにインドネシアの都市がかかえる諸問題を、中央と地方行政の関係、都市の環境悪化と環境政策、農村からの人口流入と都市の貧困層等の点から検討する

履修上の留意点

日本や海外の都市政治/都市経済/都市社会に強い関心を持つ学生の聴講を歓迎する。もちろん諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は出席点とレポートおよび小テストにより判定する（評価方法は各講師により異なる）。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

3 外国語科目

3 外国語科目

《必修・選択必修科目》

英語	I	〈短英〉	(高野秀夫)	135
英語	I	〈短英〉	(吉沢栄治郎)	135
英語		〈短放〉	(藤島喬樹)	136
ドイツ語	I	〈短英〉	(飯塚公夫)	137
ドイツ語	I	〈短英〉	(吉田文子)	137
ドイツ語		〈短放〉	(飯塚公夫)	138
ドイツ語		〈短放〉	(吉田文子)	138
フランス語	I	〈短英〉	(竹田正純)	139
中国語	I	〈短英〉	(岩崎皇)	140
スペイン語	I	〈短英〉	(佐藤紘子)	141

《再履修クラス》

英語	I	[再クラス]	〈短国・短英〉	(西原克政)	145
英語		[再クラス]	〈短放〉	(木村克彦)	145
ドイツ語	I	[再クラス]	〈短国・短英〉	(杉本正俊)	146
ドイツ語		[再クラス]	〈短放〉	(松岡晋)	146
フランス語	I	[再クラス]	〈短国・短英〉	(桑田禮彰)	147
中国語	I	[再クラス]	〈短国・短英〉	(波多野真矢)	147
スペイン語	I	[再クラス]	〈短国・短英〉	(佐藤麻里乃)	148

《選択科目》

英文	講読	〈短国・短英〉	(前田脩)	151	
英文	講読	〈短国・短英〉	(牧野輝良)	151	
英文	講読	〈短国・短英〉	(矢島直子)	152	
時事英語	研究	〈短国・短英〉	(宇都宮秀和)	152	
時事英語	研究	〈短国・短英〉	(河内賢隆)	153	
時事英語	研究	〈短国・短英〉	(林明人)	153	
マルチ・メディア		〈短国・短英〉	(逢見明久)	154	
マルチ・メディア		〈短国・短英〉	(大庭直樹)	155	
マルチ・メディア		〈短国・短英〉	(桧山晋)	156	
英会話	Ⅱ	〈短国・短英〉	(ジグラール, P. M.)	157	
英会話	Ⅱ	〈短国・短英〉	(ピアス, D. M.)	157	
英会話	Ⅱ	〈短国・短英〉	(ペンディネリイ, P. A.)	158	
英会話	Ⅲ	〈短国・短英〉	(ウェルズ, J. K.)	159	
英会話	Ⅲ	〈短国・短英〉	(デンドウ, G.)	159	
英会話	Ⅲ	〈短国・短英〉	(レオン, C.)	160	
英語	L L	Ⅱ	〈短国・短英〉	(風間則比古)	161
英語	L L	Ⅱ	〈短国・短英〉	(高柳文江)	162
英語	L L	Ⅱ	〈短国・短英〉	(ピアス, D. M.)	162
英語	L L	Ⅲ	〈短国・短英〉	(岩山義春)	163
英語	L L	Ⅲ	〈短国・短英〉	(久保ひさ子)	163
英語	L L	Ⅲ	〈短国・短英〉	(町田尚子)	164

英	語	I	〈短 国〉	(高 野 秀 夫)	164				
英	語	I	〈短 国〉	(吉 沢 栄 治 郎)	165				
英	語	I	〈短 英〉	(高 野 秀 夫)	165				
英	語	I	〈短 英〉	(吉 沢 栄 治 郎)	166				
英	語	II	〈短 国〉	(石 原 孝 哉)	166				
英	語	II	〈短 英〉	(熊 崎 久 子)	167				
ド	イ	ツ	語	I	〈短 国・短 英〉	(飯 塚 公 夫)	168		
ド	イ	ツ	語	I	〈短 国・短 英〉	(吉 田 文 子)	168		
ド	イ	ツ	語	II	〈短 国・短 英〉	(百 濟 勇)	169		
ド	イ	ツ	語	I	A (選)	〈短 国・短 英〉	(清 水 修)	169	
ド	イ	ツ	語	I	B (選)	〈短 国・短 英〉	(織 田 繁 美)	170	
ド	イ	ツ	語	II	(選)	〈短 国・短 英〉	(志 真 斗 美 恵)	170	
フ	ラ	ン	ス	語	I	〈短 国・短 英〉	(竹 田 正 純)	171	
フ	ラ	ン	ス	語	II	〈短 国・短 英〉	(長 谷 川 光 明)	171	
フ	ラ	ン	ス	語	I	A (選)	〈短 国・短 英〉	(井 田 清 子)	172
フ	ラ	ン	ス	語	I	B (選)	〈短 国・短 英〉	(加 藤 節 子)	172
フ	ラ	ン	ス	語	II	(選)	〈短 国・短 英〉	(谷 川 かおる)	173
中	国	語	I	〈短 国・短 英〉	(岩 崎 皇)	174			
中	国	語	II	〈短 国・短 英〉	(天 野 節)	174			
中	国	語	I	A (選)	〈短 国・短 英〉	(釜 屋 修)	175		
中	国	語	I	B (選)	〈短 国・短 英〉	(小 川 隆)	175		
中	国	語	II	(選)	〈短 国・短 英〉	(遊 佐 昇)	176		
ス	ペ	イ	ン	語	I	〈短 国・短 英〉	(佐 藤 紘 子)	177	
ス	ペ	イ	ン	語	II	〈短 国・短 英〉	(荻 野 雅 司)	177	
ス	ペ	イ	ン	語	I	A (選)	〈短 国・短 英〉	(ナバロー・ポロ, L. S.)	178
ス	ペ	イ	ン	語	I	B (選)	〈短 国・短 英〉	(瓜 谷 アウロラ)	178
ス	ペ	イ	ン	語	II	(選)	〈短 国・短 英〉	(ナバロ, ホワン J.)	179
ロ	シ	ア	語	I	A (選)	〈短 国〉	(佐 野 朝 子)	180	
ロ	シ	ア	語	I	B (選)	〈短 国〉	(木 村 英 明)	180	

3 外国語科目

必修・選択必修科目

[英 語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たか の ひで お 夫 高 野 秀 夫	短 英 1 年	2

講義のねらい

教養と実用の両面からの英語教材で、英語の総合力の向上と、特に英文学の専門書を原書で読めるようになることを目標としていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

- ① Natural Speed で英語の読み、書き、聞く能力を高める。
- ② 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家 Thomas Hardy は、運命論者として知られ、「この宇宙には Immanent Will (内在された意志) があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

後期

前期と同じ授業計画。

- ① 30～40分間 テープの英語
- ② 50～60分間 教科書を逐語訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、英文学への理解を深める。

履修上の留意点

毎回教科書の逐語訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

- ① 前期・後期一回づつテスト実施
a. テープの英語 b. 教科書
- ② 平常点

教 科 書

- ① *To Please His Wife And Other Stories* (成美堂)
- ② *Listening Capsules* (三修社)

英
語
必
修
後
修

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	よし さわ えい じ ろ う 吉 沢 栄 治 郎	短 英 1 年	2

講義のねらい

英作文の training に努めます。日用文が、即、英語でいえるように日頃から練習を怠らぬように。じっくりと、時間を掛けて、メモをしながら、口誦を忘れずにやってほしい。感銘した passage があったら「英文メモ」としてまとめてみるのもよい。

講義の内容・
授業スケジュール

一回の授業に10題をめどに英訳していきます。いくつかの別訳があり得ますが、その際は板書するようにしたい。

履修上の留意点

和英辞典を必ず持参のこと。英英辞典を何か一冊、使ってみるとよい。事前に訳文を用意してくるようでありたい。

成績評価の方法

定期試験の結果を基にして評価します。

教 科 書

授業時に指示します。

参 考 書 等

- 『プログレッシブ和英辞典』(小学館)
- 『和文英訳の修業』(文建書房)
- 『ロングマン英英辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語	ふじしま たかき 藤 島 喬 樹	短 放 1 必	2

講義のねらい

入学時の英語力を基盤とし、使用 TEXT により一層高度の読解力と聴解力の習得を志向する。

講義の内容・
授業スケジュール

語学学習の読む、書く、聞く、話す四技能は知ってのとおり切っても切れない関係。中でも「読む力」は四技能中最も必要不可欠。その点を十分踏まえ、本講義では基本的には下記 TEXT を中心に授業を進める。又所謂使える英語志向のプリント類もその都度配布し、教科書と併用する。

履修上の留意点

- ① 年間全授業回数の最低 2 / 3 以上の出席がなくてはならない。即ち欠席率が授業全回数の 1 / 3 を越えれば否応なくその時点で DROP OUT。
- ② 各回90分授業前半45分間では四技能向上志向の MINI TEST (原則的に英検 2 級程度) を実施する。

成績評価の方法

- I. 平常点、年間各回受講程度の度合い。(これは出席回数のみを意味するのでは決してない。大学生として本来あるべき実質的受講態度を意味すると心得よ。)
- II. 前・後期両定期試験。(7月と学年末にそれぞれ実施) 両試験共各100点満点で最低60Point 以上獲得し、初めて CLEAR 出来たとする。
- III. その他 (提出課題など)
最終的には以上三者を総合して年間評価を出す。

教 科 書

本教材：森田 彰他編著『楽しく読むニュース英語』(News Stories Today) (成美堂発行) 1,600 円
副教材：熊井信弘他著『楽しく学ぶロックアンドポップ』(HIT PARADE LISTENING) (マクミラン・ランゲージ社発行) 2,000円+税

参 考 書 等

必要に応じてその都度紹介する。

〔ドイツ語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	<small>い</small> 飯 <small>づか</small> 塚 <small>きみ</small> 公 <small>お</small> 夫	短 英 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語の文法の基本を学び、各課の読章部分の内容がわかるようになることを目標とします。

履修上の留意点

ことばをしっかりと発声することを求めます。辞書をもってきてほしい。家で予習をして授業は復習のつもりで。

成績評価の方法

前期後期の試験の成績に平常点（発表点）を加味。

教 科 書

渡辺健著『生きたドイツ文法』（改訂版）（朝日出版社）1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I	<small>よし</small> 吉 <small>だ</small> 田 <small>ふみ</small> 文 <small>こ</small> 子	短 英 1 年	2

講義のねらい

最低限の文法を習得し、辞書を片手に簡単なドイツ語の文章が読め、かつ書けるようになることが目標です。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期はあまり文法の細目にこだわらずドイツ語の音に慣れ、簡単な日常的な文章を書く練習をし、後期は文法を整理して理解することに重点を置きます。

履修上の留意点

出席すること。辞書を持参すること。大きな声を出して授業に参加すること。

成績評価の方法

数回のテスト、平常点を総合して評価します。

教 科 書

入谷幸江・他『300語で話すドイツ語』（三修社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語	飯塚公夫 <small>いいづかきみお</small>	短放1必	2

講義のねらい	ドイツ語の文法の基本を学び、各課の読章部分の内容がわかるようになることを目標とします。
履修上の留意点	ことばをしっかり発声することを求めます。辞書をもってきてほしい。
成績評価の方法	前期後期の試験の成績に平常点（発表点）を加味。
教科書	山本洋一著『ドイツ語はやさしい』（白水社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語	吉田文子 <small>よしだふみこ</small>	短放1必	2

講義のねらい	最低限の文法を習得し、辞書を片手に簡単なドイツ語の文章が読め、かつ書けるようになることが目標です。
講義の内容・授業スケジュール	前期はあまり文法の細目にこだわらずドイツ語の音に慣れ、簡単な日常的な文章を書く練習をし、後期は文法を整理して理解することに重点を置きます。
履修上の留意点	出席すること。辞書を持参すること。大きな声を出して授業に参加すること。
成績評価の方法	数回のテスト、平常点を総合して評価します。
教科書	入谷幸江・他『300語で話すドイツ語』（三修社）1,900円

[フランス語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I	たけ だ まさ ずみ 竹 田 正 純	短 英 1 年	2

講義のねらい

フランス語を、文法に片寄らないで、バランスよく聴き・話すことを中心にすえて、総合的な力が身につくようになることを目指す。しかし、読解力の養成にも時間をさいていく。

講義の内容・ 授業スケジュール

コミュニケーションを中心にした教科書を使うので、読解を考慮した副教材（教室で配布）で不足部分を補う。

履修上の留意点

実践的な授業なので、指定するカセット・テープをよく聴き、実践力の向上に努めてほしい。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力のほか応用力のテストもおこなう。

教 科 書

須長桂介他著『ゆっくりいそげフランス語』（芸林書房）1,800円

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I	いわ ^い 岩 ^わ さき ^さ 崎 ^き ひろし ^ひ 皇 ^ろ	短英 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

前半は発音の習得に力を注ぎます。後半は文法説明と会話練習が主となります。
試験は前期 2 回、後期 2 回を予定しています。

履修上の留意点

教室で大きな声が出せないと練習ができません。黙ってする勉強ではないので、履修者はそれなりの覚悟をしてください。

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病、急用、忌引等）により欠席する場合でも、6 回を越えた場合は成績評価をしません。

教科書

植田渥雄『会話で学ぶ中国語』（金星堂）1,750円

[スペイン語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I	さ とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	短 英 1 年	2

講義のねらい

1年間で、必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ出席すること。

成績評価の方法

前期・後期試験の成績に、平常点を合わせて評価する。

教 科 書

坂東省次他『コミュニケーションのためのスペイン語』（第三書房）

参 考 書 等

最初の授業で指示する。

3 外国語科目

必修・選択必修科目

再履修クラス

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I 〔再クラス〕	にしはら かつまさ 西原 克政	短英2年 H9以前入学生/短国2年	2

講義のねらい

平易な英文を読みこなしながら、その英文を集約した形の模範的なダイアログで用いられる日常会話の熟語ないし表現をマスターして、口語体の英語に習熟する。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの各章を2、3回の授業の中で、消化してゆくつもりです。

履修上の留意点

受講者は特に予習に力を入れてもらいたい。

成績評価の方法

授業中に適宜訳をつけてもらい、それを成績評価の対象にする。

教科書

Joan McConnell *Lessons on Life* (金星堂) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 〔再クラス〕	きむら かつひこ 木村 克彦	短放2年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

Developing Reading Skills (朝日出版社) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I 〔再クラス〕	すぎもと まさとし 杉 本 正 俊	短 英 2 年 H9以前入学生/短国2年	2

講義のねらい

再クラスだから決して難しいテキストは与えないが、ドイツという外国についての様々な知識を実際にドイツ語を読みながら得て行く。あわせて文法の知識を基礎から習得し直す。

履修上の留意点

必ずしも予習は必要でない授業をしますが、授業中は勉強に集中してほしい。私の方も皆さんの気を散らさないよう注意します。

成績評価の方法

前・後期2回のテストを行うが、成績は必ずしもテストのみには依らない。授業に出席する事が大切である。

教 科 書

河合節子・黒田 廉 著『ドイツを知って、ドイツ語を学ぼう』(三修社) 2,200円

参 考 書 等

なるべく『独和辞典』を用意してほしい。どの独和辞典でも良い。

再履修

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 〔再クラス〕	まつ おか すずむ 松 岡 晋	短 放 2 年	2

講義のねらい

あまり難しくはないドイツ語の文章を、文法事項に従って、ゆっくり読んでゆきます。それによってドイツ語への再チャレンジに成功していただければ、と願っております。

講義の内容・授業スケジュール

下の参考書等に挙げる教科書は、各課が読章と簡単な文法説明とからなっております。読章部分の理解が目標ですが、それに不可欠な限りである程度は文法の説明もおこないます。いずれにせよ、ゆっくりと、着実に進んでいきましょう。

成績評価の方法

年二回程度の筆記試験と平常点によって、成績評価をおこないます。

教 科 書

斉藤佑史・荒木詳二著『若葉のドイツ語』(三修社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I 〔再クラス〕	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	短英2年	2
		H9以前入学生/短国2年	

講義のねらい

フランス語の基礎の習得

講義の内容・
授業スケジュール

もう一度ゼロから、しっかり確認していきましょう。あまり無理をしないで、基礎力を確実に身につけることをめざします。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

大津俊克、楠瀬絢子、村岡正明著『赤い風船』（朝日出版社）

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I 〔再クラス〕	は た の ま や 波 多 野 真 矢	短英2年	2
		H9以前入学生/短国2年	

講義の内容・
授業スケジュール

発音・ピンインの学習後、簡潔な会話から成る本文と基礎文法を学んでゆく。二週で1課程程度のペースで、じっくり進める。

履修上の留意点

予習・復習は不可欠。出席は当然重視する。中国・中国語への関心と熱意を持って授業に参加すること。

成績評価の方法

小テスト・定期テスト・授業態度・出席等により総合的に評価する。

教科書

方如偉・王智新・鏡屋一『中国語10課』（白水社）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I 〔再クラス〕	さ とう ま り の 佐 藤 麻 里 乃	短 英 2 年	2
		H9以前入学生/短国2年	

講義のねらい	文法の基礎を習得する。
講義の内容・ 授業スケジュール	文法説明の後、簡単な文の訳や練習問題をやってもらう。
履修上の留意点	教科書だけでなく辞書を毎回必ず持参すること。
成績評価の方法	試験、出席率、授業態度を総合して評価する。欠席の多い者は理由の如何を問わず単位を認めない。卒業年次の学生でも例外は認めない。
教 科 書	宮本博司『簡単なスペイン語18課』（大学書林）
参 考 書 等	『プログレッシブ スペイン語辞典』（小学館）

3 外国語科目

選 択 科 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まえ だ おさむ 前 田 脩	短国・短英 1・2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

19世紀イギリス文化を扱います。ただしイギリス庭園を主としてとり上げますので、17世紀、18世紀のイギリスにおける文化現象も見なければなりません。テキストは初歩的ですので、三、四回の授業ですませ、あとはコピーを使用します。

成績評価の方法

授業中の日常評価を重視し、後期のテストを参考とします。

教科書

『イギリス庭園物語』（南雲堂フェニックス）880円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	まきの てるよし 牧 野 輝 良	短国・短英 1・2選	4

講義のねらい

英語による著作の正確な内容把握を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

近年国際間の交流は盛んで、外国への人々の往来は増加の一途を辿っている。いかなる国も孤立しては存在し得ない。そこで各国間の、各国民間の交流の仕方が問題になってくる。ただ相手方の言葉を習得しさえすればよいという時代は終わった。特に工業技術は発達しているが天然資源の乏しい日本にとっては他の世界諸国との係わり方、すなわち真の交流、国際化が重要な問題である。ライシャワー元駐日アメリカ大使は日本の若者に期待を込めて日本の「真の国際化」について提言する。We must see ourselves as citizens of a world community of nations which cooperate with one another for their common goods. 博士は共存共栄の切実な事を訴えている。この一年間博士の提言を学んでいく。

履修上の留意点

受講はよく予習し、博士の主張を理解しておくこと。

成績評価の方法

授業中の読解と期末テストによって評価する。

教科書

ライシャワー著『真の国際化とは』（成美堂）1,009円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文講読	矢島直子	短国・短英 1・2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現在のイギリス演劇界の大家の一人、トム・ストッパードの初期の作品を取りあげる。頭の切れる劇作家であるから、話が複雑で少々難しいが、面白い戯曲である。生きた会話の勉強にもなる。短い作品なので、読み終えたら、次の作品は学生と相談して決めたい。

履修上の留意点

学生に当てて授業を進めるので、予習がぜひとも必要になる。

成績評価の方法

前期末試験と後期末試験とで90%、平常点が10%の配分。欠席が全出席数の3分の1を越えると、受験資格がなくなる場合があるので、注意すること。

教科書

Tom Stoppard *The Real Inspector Hound* (Samuel French Ltd.)

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	宇都宮秀和	短国・短英 1・2選	4

講義のねらい

この授業ではアメリカ CBS ニュース、イギリス BBC ニュースなど、衛星放送で放映されたものを“主に”使用する

履修上の留意点

かなりスピードの早い英語なので、ヒアリングにかなり自信のある学生にとって欲しい。受身的な学生、教室へ来て座っているだけの学生にはついて行けない。

成績評価の方法

毎日がテストのつもりで授業をするので、学期末のテストは行わない。

教科書

プリント使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	短国・短英 1・2選	4

教科書

本テキストは政治、経済、文化、スポーツ等多岐にわたる分野の世界状況を的確につかめる重要ニュースが精選されている。量が多く、少し難しいかも知れないが、詳しい脚注に加え、必要に応じて背景知識も解説されているので、真剣に取り組めば容易に理解出来るであろう。評価は出席点、発表点に加え、前後期の二面の試験による。
『世界ニュース展望'99』（金星堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	はやし あき と 林 明 人	短国・短英 1・2選	4

英
語
目
録

講義の内容・ 授業スケジュール

CNN、Asahi Evening News などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした単文をたくさん読むことによりそのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに市販されているテキスト、また実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、小テスト、レポート、出席の総合評価です。

教科書

主に教員が作成したものをしますが、市販の教科書は『見出しと書き出しで読む英字新聞』（南雲堂フェニックス）1,600円を用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おう 逢 見 明 久	短国・短英 1・2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語文化圏の映画から生きた口語表現を学ぶ。

成績評価の方法

平常点と前・後期の定期試験の結果から判断します。総合的な評価の割合は、平常点が50%、前・後期の定期試験が50%です。ただし、平常授業の欠席率が3分の1を越えた場合は、不合格となります。

教科書

プリント使用。

その他

最適の英語教材は映画です。そのためには映画の台本が必要となりますが、様々なジャンルの映画を網羅しているスクリーンプレイ出版社のテキストが入手しやすいでしょう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おお ば なお き 大 庭 直 樹	短 国 ・ 短 英 1 ・ 2 選	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスでは、ネットで流れている「大庭直樹のホームページ」(www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/gaikoku.html)上の「Lecture notes 1999」に従って課題をこなしていく。

第一の課題は、Office 98を使いこなすことである。Office 98はWord (ワープロ)、Excel (表計算)、PowerPoint (プレゼンテーション)、Schedule+ (スケジュール管理)を中心としたアプリケーションである。Word 95と電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウを体得する。更に、Excelでの表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット(マルチメディア)の世界を体験することである。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。しかし、ネット・サーフィンで大切なことは、インターネットを一人歩きし、必要な情報探検ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、Windowsのネットワーク(リモートアクセス、ファイルの共有、Fax機能、電子メール、LAN)を理解して、それらの機能を活用することである。受講生は、コンピュータの操作と通信の知識を身につけ、時間と距離を超えて、居ながらにして情報の交換を可能にする方法を学ぶ。受講生は、各自全員がE-メール・アドレスを取得し、電子メールの交換をする。

第四の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。

第五の課題は、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が自分のホームページを作成する。

英語に特に興味がある学生は、マルチメディア語学教材「マイクロ・イングリッシュ Windows版、その他CDなど」、インターネットの語学学習のホームページを使って、英会話、英文読解、英文作成、TOEFL、TOEICの問題に挑むことができる。教室では、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用することである。

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピューターを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席する、ことが第一条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のドキュメントを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

教 科 書

受講者が購入するもの 教場で指示する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室(朝9時より夜9時まで開館)で補習すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	ひ やま すずむ 松 山 晋	短国・短英 1・2選	2

講義のねらい

コンピュータを使っての情報収集・自己表現能力の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

タイピングの基礎から始め、HTML 言語の初歩、ホームページの作成を扱う。

履修上の留意点

25名程度に受講者を制限する。第一回目の授業でアンケートを取り、それを基に受講者を決定し、名前を掲示する。

成績評価の方法

課題等をきっちりこなすことが要求される。情報センターでの講習会に出席し、電子メールのアカウントを取得しておくこと。

教 科 書

教場で指示。

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母国語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英会話の授業です。達成目標目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア500点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	Ziegler, P. M. (ジグラー, P. M.)	短国・短英2選	2

講義の内容・ 授業スケジュール

The focus of this course will be the comprehensive development of student English skills. The text to be used is a popular collection of thought-provoking short stories that will make this an enjoyable class. Students will gain a deeper understanding of American values and society in addition to improving their English skills.

成績評価の方法

Students will be assessed on attendance, notes, reports and presentations.

教 科 書

A Third Serving of Chicken Soup for the Soul (Health Communications Inc.)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	PIERCE, D. M. (ピアス, D. M.)	短国・短英2選	2

英 選 抜 科 目
語 目

講義のねらい

This is an advanced class for English conversation, but it is also a good course for students at the elementary level. This is a continuation of the basic conversation practice of English Conversation I; we will practice conversation patterns for everyday situations. Intensive review of the grammar in the TOEFL, EIKEN, AND TOEIC examinations will be made so that you can get high scores in these exams. Time will also be devoted to English composition and listening comprehension. The principal activity will be the practice of advanced conversation. Every week we will have various types of opportunity for carrying on intelligent dialogues about interesting topics that are a level beyond everyday conversation. Short lectures will be given on the cultural contrasts of Japan and America, following which you will express to each other your reactions to the ideas in these topics. The advanced conversation practice is especially good for students who need to show their English speaking ability when searching for employment.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 II	ベンディネリイ, P. A.	短国・短英2選	2

講義のねらい

An advanced course for students who really want to use the English which they have already studied.

講義の内容・
授業スケジュール

Students who take this course will be expected to read newspapers (in English or in Japanese) or watch the news on television and have a knowledge of current events.

Students will be expected to prepare for class each week and to participate in classroom activities. Activities include discussion, making speeches, role playing, listening practice (by video) etc. This is a class for active students only.

履修上の留意点

No more than four absences a year will be allowed.

教 科 書

No required text.

英 会 話 III

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母国語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられている表現力を目指した大学上級レベルの英会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア550点以上。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 III	ウェルズ, J. K.	短国・短英2選	2

講義のねらい

Hello students,
Welcome to my class! You are unique as you already speak English pretty well. This class is for students who have a good command of the language. I hope to create an even greater interest through open group discussion and interesting topics. You should not be shy to be a member of this class. Class attendance is very important. See you in April! Jonh Wells

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 III	デンドウ, G.	短国・短英2選	2

英
選
択
科
目

講義のねらい

This course will concentrate on developing the oral skills of students through discussion. This class is recommended for only those students who have a sincere desire to study challenging materials and work hard to improve their language skills.

講義の内容・ 授業スケジュール

Students will participate in discussions focusing on current events, controversial issues, and personal interests. Special emphasis will be put on the study of news and current events throughout the academic year. Students will study relevant vocabulary to assist in comprehension and discussion of class materials. Sources for class materials will include various textbooks, magazine and newspaper articles, as well as units developed by the teacher.
Details of class activities will be explained at the first class meeting.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. Students will be expected to keep themselves informed of news and current events as well as review materials on a regular basis.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance and attendance.

教科書

No text will be used. Bringing dictionaries to class is highly recommended.

教科書

Various types of handouts will be used to facilitate discussion.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 III	レーン, C.	短国・短英2選	2

講義のねらい

There are two important aims of this course. First, and most important, is to help students develop their English conversation skills and to learn to express their opinions spontaneously on a number of topics with confidence. However, as the majority of misunderstandings between different nationalities stems not only from language difficulties but also from cultural ones, the second aim is to promote knowledge and awareness of the cultural heritages of other countries.

講義の内容・
授業スケジュール

Throughout the year, a number of different themes will be covered. These will range from simple personal issues, current trends and cultural issues to deeper more involved international problems included throughout the course will be research projects wherein the students will be expected to write questionnaires, collect information and present it to the class. Presentations through the use of Video work will also be required.

履修上の留意点

This course offers students an opportunity to express their ideas on a variety of everyday matters. However, as this course is based on fluency and discussion, it is not recommended for students who want to concentrate on grammar skills or for students who are unwilling to participate fully in pair work, role plays or group activities

成績評価の方法

Evaluation 25% attendance, 25% semester exams, 50% participation and presentations

教 科 書

To be chosen later.

参 考 書 等

Dictionary

そ の 他

Every lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations role plays, Situational conversations and video work. All classes will be conducted entirely in English.

英 語 L L II

＜英語 LL II の授業内容と履修上の留意点＞

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いてニュース等の時事問題、やや専門的なテーマのスピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現を習得します。英検準1級程度をめざします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	かざま のりひこ 風 間 則 比 古	短国・短英2選	2

講義のねらい

この科目の目的は、英語によるコミュニケーション能力を向上させ、英検か TOEFL の問題にも対応出来るように、その基本であるリスニングの能力を強化することです。
授業は、「テーマ」や「大意」の推測や、「音」をつかむトレーニングに重点を置いて、英語を英語のまま理解出来るように毎回その日の内容を繰り返して練習する方法を進めます。
また、随時、トピックの練習問題を行います。

履修上の留意点

各自、空テープ（60～90分程度）を用意して、家で復習すること。

成績評価の方法

成績評価は、授業内での復習テストや定期テストなどの結果を総合して判断します。
尚、出席が全授業の3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教 科 書

Listening In (英宝社)
『TOEIC 聴き取り対策の要点』(マクミラン出版) 865円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	たか やなぎ ふみ え 高 柳 文 江	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

LLI に続く中級レベルとして、英語国（特にアメリカ）でのさまざまな場面で意思疎通ができる英語力の習得を目的とします。前期は、主にリスニング、及び、慣用表現を使ったコントロールされた会話を中心に行い、後期では、状況に応じて自分の意見を自由に表現できるようなコミュニケーション能力の向上をめざします。

履修上の留意点

授業を理解していくには、必ず予習をして下さい。授業の性質上、出席点が重視されます。

成績評価の方法

成績は、日常点（50％・出席点を含む）試験（40％・前期試験、後期試験、小テスト）提出物（10％）で評価します。

教科書

Getting Ready to Go Abroad（成美堂）1,800円

その他

テープレコーダー、ビデオ教材使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	ピアス, D. M.	短国・短英2選	2

講義のねらい

This is an advanced class for English conversation, but if you are at the elementary level, it is still a good course for you. In this class we will continue the basic conversation practice of English Conversation I; we will practice conversation patterns for everyday situations and practice elementary dialogues. We will also spend some time reviewing grammar, particularly for TOEFL, EIKEN, etc., some time on English composition, and some time practicing listening comprehension. Most of all we will also practice advanced conversation. Every week we will have conversation practice for holding "intelligent" dialogues about interesting topics instead of simple everyday conversation. I will also give short lectures on the differences between Japanese and American culture, and you will have practice talking to each other about what you think about these topics. The advanced conversation practice will give you very good preparation for the English III classes in the next year. You will love the course; please join in!

英 語 L L III

<英語 LLⅢの授業内容と履修上の留意点>

上級：LLⅡを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL550点以上を目指した訓練コースです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	いわ 岩 やま 山 よし 義 はる 春	短国・短英2選	2

講義のねらい

この科目では授業の前半はCNNやNBC等のニュースを聞き、アウトラインを英文で書く練習をする。

授業の後半は英国や米国の社会や文化を語るビデオを見て、アウトラインをまとめたり、種々の問題に答えてもらう。

成績評価の方法

全評価のうち、毎回提出するペーパー等を80%、前・後期末の試験を20%とする。前・後期末試験は口頭発表。出席が全授業の3分の2に満たない場合は不合格となる。

教 科 書

プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	く 久 ほ 保 ひ さ 子	短国・短英2選	2

講義のねらい

lecture が聞きとれ、議論できる程度をめざしたい。
LLⅡレベルを習得しているのを前提とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストをヒアリング、ディクテーション、スピーキング等で、訓練する。

履修上の留意点

LLは、実習授業のため、ラボによる練習を、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験50% 授業50%

教 科 書

Michigan Action English Step 6 (World Times of Japan)

そ の 他

小テスト、スピーチ、ディスカッションを含む。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 L L III	まち だ なお こ 町 田 尚 子	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

このコースはLL応用(上級)編として、次の2点を中心に展開します。
 (1) 人文、社会、科学分野の問題に関する英文講義を聴き取り、大要をまとめる練習。講義内容は広い視野にたった一般概論的なものを選びます。
 (2) Cambridge Preparation for the TOEFL Test から選んだテスト。

成績評価の方法

毎授業の口頭発表と提出する英文概要(エッセイ)の評価(A-D)を主とし、それに(2)のテスト成績を加味して評価点を出します。

教 科 書

必要な場合はプリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I	たが の ひで お 高 野 秀 夫	短国1選	2

講義のねらい

教養と実用の両面からの英語教材で、英語の総合力の向上と、特に英文学の専門書を原書で読めるようになることを目標としていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期

- ① Natural Speed で英語の読み、書き、聞く能力を高める。
- ② 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家 Thomas Hardy は、運命論者として知られ、「この宇宙には Immanent Will (内在された意志)があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

後 期

前期と同じ授業計画。

- ① 30~40分間 テープの英語
- ② 50~60分間 教科書を逐語訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、英文学への理解を深める。

履修上の留意点

毎回教科書の逐語訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

- ① 前期・後期一回づつテスト実施
a. テープの英語 b. 教科書
- ② 平常点

教 科 書

- ① *To Please His Wife And Other Stories* (成美堂)
- ② *Listening Capsules* (三修社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	よし ざわ えい じ ろう 吉 沢 栄 治 郎	短 国 1 選	2

講義のねらい

エッセイを中心に、物語、小説の抜すい等を織り込みながら、読解力養成をめざします。英文を読解するには、日本語で多くの小説やその他の文章を（新聞も含め）よんでいる必要があります。このふたつのことは、無論根本的に異なるのですが、通底する部分もあると思はれます。様々な英文を読むことによって、幅をより一層拡げていくことを期待します。

講義の内容・授業スケジュール

1回の授業につき1つの Passage を通読します。訳読しつつ、内容の理解に資するとおもはれるヒントも添えて、兎も角も、全体の要旨を把握するよう、労を惜しまず辞典を活用して下さい。

履修上の留意点

辞典を常時、持参のこと。

成績評価の方法

定期試験の結果を基にして評価します。

教 科 書

プリント

参 考 書 等

『岩波新英和辞典』、『プログレッシブ英和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たか の ひで お 高 野 秀 夫	短 英 1 選	2

講義のねらい

教養と実用の両面からの英語教材で、英語の総合力の向上と、特に英文学の専門書を原書で読めるようになることを目標としていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前 期

- ① Natural Speed で英語の読み、書き、聞く能力を高める。
- ② 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家 Thomas Hardy は、運命論者として知られ、「この宇宙には Immanent Will (内在された意志) があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

後 期

前期と同じ授業計画。

- ① 30～40分間 テープの英語
- ② 50～60分間 教科書を逐語訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、英文学への理解を深める。

履修上の留意点

毎回教科書の逐語訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

- ① 前期・後期一回づつテスト実施
 - a. テープの英語
 - b. 教科書
- ② 平常点

教 科 書

- ① *To Please His Wife And Other Stories* (成美堂)
- ② *Listening Capsules* (三修社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	よし ざわ えい じ ろう 吉 沢 栄 治 郎	短英 1 選	2

講義のねらい

英作文の training に努めます。日用文が、即、英語でいえるように日頃から練習を怠らぬように。じっくりと、時間を掛けて、メモをしながら、口誦を忘れずにやってほしい。感銘した passage があったら「英文メモ」としてまとめてみるのもよい。

講義の内容・授業スケジュール

1回の授業に10題をめどに英訳してゆきます。いくつかの別訳があり得ますが、その際は板書するようにしたい。

履修上の留意点

和英辞典を必ず持参のこと。英英辞典を何か一冊、使ってみるとよい。事前に訳文を用意してくるようでありたい。

成績評価の方法

定期試験の結果を基にして評価します。

教科書

授業時に指示します。

参考書等

『プログレッシブ和英辞典』(小学館)
『和文英訳の修業』(文建書房)
『ロングマン英英辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II	いし ほん こう さい 石 原 孝 哉	短国 2 選	2

講義の内容・授業スケジュール

平易な英文を速読して、内容を理解できるよう訓練する。

履修上の留意点

授業は演習方式でやるので必ず十分な予習をして出席すること。出席重視。

成績評価の方法

中間、期末試験のほか、レポート、平常点による。出席を重視する。

教科書

Looking Backward (南雲堂) 1,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II	くま ぎき ひさ こ 熊 崎 久 子	短 英 2 選	2

講義のねらい

戦後華やかにアメリカ文壇に登場し、1990年代後半に数多くの作品を発表したトルーマン・カポーティの中期の代表作「ティファニーで朝食を」を読みます。方言、俗語などもしばしば出てきますが、内容、表現を楽しめるよう、読解力の向上を図ります。愛着を込めて描かれているニューヨークの風物、都会的なスマートな雰囲気を楽しむよう期待します。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① ヴィデオ・テープを用いてアメリカ映画“Breakfast at Tiffany’s”を観賞し、hearing の訓練を行う。
- ② 内容について意見の交換をする。内容の理解を深める。
本文内容についての意見の発表、その他問題点についての討論など、いずれの場合もクラス全員の自発的発表、参加を主体に授業を進めます。

履修上の留意点

活発な発言と意見の交換を求められますので出席者は十分な予習が必要です。あらかじめ内容を把握し、また語句の下調べ、英語表現に関しても事前に必ず独自の意見をまとめておいて欲しい。質問に対しては即答できるようにしておくこと。

成績評価の方法

前期、後期各一回行う試験の評価 ……………60%
平常点 ……………40%

教 科 書

Breakfast at Tiffany's (Penguin Books)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I	飯塚公夫	短国・短英1選	2

講義のねらい

ドイツ語の文法の基本を学び、各課の読章部分の内容がわかるようになることを目標とします。

履修上の留意点

ことばをしっかり発生することを求めます。辞書をもってきてほしい。家で予習をして授業は復習のつもりで。

成績評価の方法

前期後期の試験の成績に平常点（発表点）を加味。

教科書

渡辺健著『生きたドイツ文法』改訂版（朝日出版社）1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I	吉田文子	短国・短英1選	2

講義のねらい

最低限の文法を習得し、辞書を片手に簡単なドイツ語の文章が読め、かつ書けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

前期はあまり文法の細目にこだわらずドイツ語の音に慣れ、簡単な日常的な文章を書く練習をし、後期は文法を整理して理解することに重点を置きます。

履修上の留意点

出席すること。辞書を持参すること。大きな声を出して授業に参加すること。

成績評価の方法

数回のテスト、平常点を総合して評価します。

教科書

入谷幸江・他『300語で話すドイツ語』（三修社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語Ⅱ	もも ずみ いさむ 百 清 勇	短国・短英2選	2

成績評価の方法

ベルリン・ドイツ経済研究所で仕事をしているが、そこには外国の大学から実習生が多く来ている。それには外国語履修が前提になっている。外国語の履修は専門を進めるに不可欠の課程である。さらに諸君の中でこれから4年制学部に入塾して学ぶことを希望している学生もあろう。毎時間、学生同士が討議しながらの“テスト”を行い、それを採点して返す。それを成績評価とするが故に、前期・後期の定期試験は行わない。熱心な受講生を望む。

教科書

藤田五郎、横山靖著『現代ドイツ文典』（都文堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA（選）	し みず おさむ 清 水 修	短国・短英 1・2選	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。この授業においては「読む・書く」に重点をおいて授業を進めます。語学の学習においては「聞く・話す」「読む・書く」という要素のバランスが重要であることはいうまでもない。しかし、初めて、しかも第二外国語としてドイツ語を学ぶには、まず文法と語彙を学ぶことが重要です。

ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

また、常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測ができません。したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補っておいてください。

成績評価の方法

年に2回試験等で総合的に判断する。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B (選)	お織 だ じげ み美 田 繁 美	短国・短英 1・2選	2

講義のねらい

ドイツ語は日本語とまったく違う仕組みを持つ言語ですから、努力も工夫もなしに学べるはずはありません。しかしドイツ語は英語に近い親戚にあたる言語ですから、あなたの英語の知識をうまく活用して、英語との共通点と相違点を確めながら勉強を進めるならば、ドイツ語の学習がずっとはかどることと思います。

しかし、ドイツ語は一見複雑に見える規則もっています。いったん要領をのみこんでしまえば、決して難しすぎるものではないのです。何よりも大切なことは、初めのうち手抜きをして後でまとめて勉強しようという気持ちを持たないで、最初の教課をしっかりと学んで基礎固めをしてしまえば、ドイツ語は案外に学びやすい言語なのです。

講義の内容・
授業スケジュール

最初3～4回は発音練習をし、発音の規則をしっかりと勉強します。後はテキストの内容に沿って勉強します。授業後半の僅かな時間を利用して副教材を用いて耳で聞き取る訓練もしてみたいと思っています。

履修上の留意点

授業時間に遅れないこと、欠席しないこと、辞書を必ず持って来ること。

成績評価の方法

平常点にかなりのウエイトが置かれます。

教科書

宮下『イラストドイツ語入門』(郁文堂) 1,900円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 II (選)	し 志 ま 真 と み 美 え 志 真 斗 美 恵	短国・短英2選	2

講義のねらい

ドイツ語初級を終えた方たちが対象のクラスですが、最初は初級文法をしっかりと復習しながらすすめます。最終的には中級程度の読解力をつけたいと思っています。

履修上の留意点

かならず自分で辞書をひいて、まず文の構造を確認すること、そして内容について考えを深めることの2点を念頭においた上で予習し、授業にのぞんで下さい。

成績評価の方法

平常点と定期試験で総合的に評価します。

教科書

Susanne Nishimura 他『ドイツ語万華鏡』(三修社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅰ	竹 田 正 純 <small>たけ だ まさ ずみ</small>	短国・短英1選	2

講義のねらい

フランス語を、文法に片寄らないで、バランスよく聴き・話すことを中心にすえて、総合的な力が身につくようになることを目指す。しかし、読解力の養成にも時間をさいていく。

講義の内容・
授業スケジュール

コミュニケーションを中心にした教科書を使うので、読解を考慮した副教材（教室で配付）で不足部分を補う。

履修上の留意点

実践的な授業なので、指定するカセット・テープをよく聴き、実践力の向上に努めてほしい。

成績評価の方法

前・後期の定期試験には、基礎力のほか応用力のテストもおこなう。

教科書

須長桂介他著『ゆっくりいそげフランス語』（芸林書房）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅱ	長 谷 川 光 明 <small>は せ がわ みつ あき</small>	短国・短英2選	2

講義のねらい

フランス語初級文法の復習を兼ねつつ平易な文章を講読し、フランス語の長めの文章にまず慣れ親しむことを目標とする。

履修上の留意点

出席重視。出席者には毎回フランス語テキストの訳読を割り当てる予定。

成績評価の方法

年二回の試験

教科書

R. P. L. et M. Ledésert『Le Trésor de Rommel（ロンメルの宝）』（白水社）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	井田清子	短国・短英 1・2選	2

講義のねらい

フランス語をはじめて学ぶ学生のための文法中心の授業です。文章を理解するための基本的な文法事項の動詞、名詞、冠詞、形容詞の用法などを、一年間で習得して、生きたフランス語を、無理なく正確に学ぶのが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を中心にしながら、できるだけ総合的にフランス語を習得できるようにします。パリを一巡するコースをたどりながら平易な文章を理解し、フランス人の日常生活に親しむことのできるような初歩の会話も学びます。こうして身につけた文法知識を実際に使って、さてどれだけ文章が読めるでしょうか。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

野村二郎著『パリ一周12課』(白水社)を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	加藤節子	短国・短英 1・2選	2

講義のねらい

フランス語の基礎の修得。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文、文法、練習問題、スケッチの四つの部分からなる教科書を用いて、日常生活で使われるフランス語に慣れるようにする。四課毎にシャンソンが付されていて、フランス語のリズムや発音を覚える役に立てる。一時間をフランスの町のビデオを見ることに使う。

成績評価の方法

前期・後期の試験と平常点。

教科書

『F・コム・ファシル』(白水社) 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語Ⅱ（選）	たに かわ 谷 川 かおる	短国・短英2選	2

講義のねらい

時事社会的問題を扱った文章を講読し、フランス語の読解力を養う。一年間でフランス語の新聞が読めるようになることを目標にしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は初級文法の復習もかねて比較的平易な文章を講読。後期には実際になるべく最近の新聞記事をとりあげて講読の予定。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

年二回の試験。

教 科 書

Tahar Ben Jelloun（三浦信孝編）*Le racisme expliqué à ma fille*（娘に語るラシズム）（白水社）
1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>	短国・短英1選	2

講義の内容・
授業スケジュール

前半は発音に力を注ぎます。後半は文法説明と会話練習が主となります。
試験は前期2回、後期2回を予定しています。

履修上の留意点

教室で大きな声が出せないと練習ができません。黙ってする勉強ではないので、履修者はそれ
なりの覚悟をしてください。

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由（急病・急用・忌引等）により欠
席する場合でも、6回を超えた場合は成績評価をしません。

教科書

植田渥雄『会話で学ぶ中国語』（金星堂）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 II	天野 節 <small>あまの せつ</small>	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国語 I の文法事項その他を復習しながら会話中心の読み物を読み進めて行く。

成績評価の方法

出席率、年間2回以上のテストの得点、その他課題の評価を総合して算出する。

教科書

山下輝彦他著『北京恋情－北京ラブストーリー』（同学社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	がまや おさむ 釜屋 修	短国・短英 1・2選	2

講義のねらい

入門の最も基礎となる発音と基本文法の学習に重点をおく。

講義の内容・
授業スケジュール

テキスト本体は会話体になっており、ここで思いっきり大声で発音をきかせる。同時に文法説明において購読力確得の基礎をかためる。

履修上の留意点

休まない人、聞いて理解する意志のある人、大声でしゃべる人のみ歓迎

成績評価の方法

平常点プラス試験

教科書

渋谷祐子・孟若燕『キャンパス的中国語』（同学社）2,500円

参考書等

開講後に説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	おがわ たかし 小川 隆	短国・短英 1・2選	2

講義のねらい

必修のワク以外に自発的に中国語を学ぼうとする人のための初級クラス。この一時間で中国語の発音と文法の最低限の基礎を一通り学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめ数回ピンインとよばれる中国語独自のローマ字表記法を学ぶ。その後1日1課平均のペースで基礎的な文法項目とそれを使った易しい会話・文章を学んでゆく。毎回、新しい内容を学び、それが次の項目の基礎になってゆくの、休まず出席し、その課の内容は必ずその週のうちに身につけてしまうよう努めてほしい。

履修上の留意点

週1コマのこの時間内でともかく一通りの基礎を学べるよう進めるが、これだけでは練習量が絶対的に不足である。時間が許すかぎり、IA(選)と併せて履修するようにしてほしい。またテレビ、ラジオの講座なども利用して中国語にじかに触れる時間をなるべく多く確保してほしい。

成績評価の方法

成績評価の方式その他は一般のIA-IBクラスに準ずる。

教科書

興水優『ワンポイント初級中国語』（郁文堂）1,648円

参考書等

上野恵司『標準中国語辞典（第2版）』（白帝社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ（選）	遊 <small>ゆ</small> 佐 <small>さ</small> 昇 <small>のぼる</small>	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国語の学習を始めた初歩の段階にあつては、正しい発音と発音に合わせた併音の習得は最も大事なことです。先に進むことを急がずに、基本ができているかも一度確認しましょう。それからゆっくりと、だが確実に自分のものになら先に進んでいくことにしましょう。

教科書

中野達『中国語教本』（白水社）1,682円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅰ	佐藤 藤 弘 子	短国・短英1選	2

講義のねらい

1年間で、必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ出席すること。

成績評価の方法

前期・後期試験の成績に、平常点を合わせて評価する。

教科書

坂東省次他『コミュニケーションのためのスペイン語』（第三書房）

参考書等

最初の授業で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅱ	荻野 雅 司	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

前年に学習したスペイン語Ⅰの続きを学習することで基礎的スペイン語の概略全体像を捉えることを基本的ねらいとします。但し、授業では単に言葉の学習に限ることなく、スペインと中南米諸国の文化、歴史、そこに住む人々の物の考え方などについても一般常識程度の知識を習得します。そのために、時間が許す限り、テープ、ビデオ等を教科書と併用して授業を進めていきます。

履修上の留意点

この授業では英語の語法との対比を行うことで理解を早めることを大きな特徴としています。従って、英語の得意な、或は英語に興味を持っている学生の受講を特に希望します。

成績評価の方法

成績の評価に当っては、年2回の major なテストの他、出席状況と受講態度を等しく重視します。

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA(選)	NAVARRO-POLO, Sergio ナバロー・ポロ, セルヒオ	短国・短英 1・2選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞(不定冠詞・定冠詞)・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞 SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞 ESTAR・SER と ESTAR の相違点・HAY と ESTAR の相違点・指示詞・否定文
5. 動詞 TENER・所有詞・TAMBIÉN と TAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞(AR 動詞・ER 動詞・IR 動詞)・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞 I・TENER QUE と HAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞 II・IR A+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・天候や天気表現・SABER と CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞 GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞・比較の表現・最上級
12. 再帰動詞・再帰代名詞の位置・過去を表す時制

履修上の留意点

定期試験－7月と1月－

教科書

佐々木克実『スペイン語との出会い』(芸林書房)

参考書等

辞書、参考書については、最初の授業のとき紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠB(選)	瓜 谷 アウロラ	短国・短英 1・2選	2

講義のねらい

スペイン語の初級文法をベースに会話表現を覚えます。必要に応じてプリントによる練習も行います。

成績評価の方法

前期、後期末に試験を行い、評価の基準とします。授業中の態度、宿題も成績の対象として考慮します。語学の修得には継続的な訓練が欠かせず、欠席は減点とします。とくに7回以上欠席したものは、期末試験の受験資格を失いますので欠席には十分注意して下さい。

教科書

宮本博司『ようこそスペイン語の世界へーミニ会話と初級文法ー』(大学書林) 1,648円

参考書等

『スペイン語中辞典』(小学館)、『プログレッシブ・スペイン語辞典』等。
『現代スペイン語辞典』(白水社)、『新スペイン語辞典』(研究社)、『スペイン語ミニ辞典』(白水社)等。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅱ（選）	Fuan J, Nurvro ナバロ, ホワン J.	短国・短英2選	2

講義のねらい

この一年を通じ、卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

動詞の過去形（不完了過去・不定過去）を中心に勉強する。各一課は、短い文章や会話及び練習問題で構成されている。

履修上の留意点

予習として単語の意味などは辞書で調べて頂きたい。

教科書

この講義の初回授業時間に教室にて配布するプリントを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A (選)	佐 野 朝 子 <small>さ の あさ こ</small>	短国1・2選	2

講義のねらい

ロシア語の初級文法を学ぶと共にかんたんなロシア語らしい表現も身につけてもらいます。

講義の内容・
授業スケジュール

必修クラス IA に準じますが、このクラスでは初歩の文法を徹底的にやります。

成績評価の方法

出席、平常点、期末の二回のテストで評価します。

教 科 書

中島由美他著『ロシア語へのパスポート』（白水社）2,200円
その他プリント配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I B (選)	木 村 英 明 <small>き むら ひで あき</small>	短国1・2選	2

講義のねらい

隣国ロシアと日本の関係は文化交流地域間協力など様々な領域で拡大しつつあります。ロシアの人々と直接にコミュニケーションできる機会、必要性は徐々に高まっています。また、現在政治経済の分野で混乱が続いているものの、ロシアの国際的な発言力、独特な文化は依然として高い水準にあります。ロシア語の学習は、政治屋文化をひっくるめたそんな「ロシア」という総体にアプローチするために最も手っとり早く、かつ最も重要な足掛りになると思います。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、簡単な日常的表現を用いながら初歩の文法を速修することになります。音声面にも留意して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語の修得を計ります。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

桑野隆著『エクスプレス・ロシア語』（白水社）をもとに、必要に応じ適宜プリントを配布します。

4 保健体育科目

4 保健体育科目

《必修科目》

スポーツ実技〔ソフトボール〕	(田中佳孝)	189
スポーツ実技〔室内球技〕	(川村正義)	190
スポーツ実技〔ゴルフ〕	(三幣晴三)	191
スポーツ実技〔卓球〕	(佐藤政之)	192
スポーツ実技〔屋外球技〕	(田中佳孝)	193
保健理論	(吉田稔)	193
スポーツ実技〔再クラス〕	(竹田幸夫・長濱友雄・牧野茂・宮沢栄作)	194
スポーツ実技〔再クラス〕集中授業コース〔室内球技〕	(川村正義・竹田幸夫)	195
スポーツ実技〔再クラス〕集中授業コース〔卓球〕	(長濱友雄)	196
スポーツ実技〔再クラス〕集中授業コース〔ソフトボール〕	(村松誠)	197
スポーツ実技〔再クラス〕集中授業コース〔サッカー〕	(秋田浩一)	198
スポーツ実技〔再クラス〕集中授業コース〔太極拳〕	(大石武士)	199

《選択科目》

スポーツ実技〔室内球技〕	(川村正義)	203
スポーツ実技〔卓球〕	(佐藤政之)	204
スポーツ実技〔ゴルフ〕	(三幣晴三)	205
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・基礎)〔バドミントン〕	(長濱友雄)	206
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・基礎)〔トレーニング&ニュースポーツ〕	(大石武士)	207
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・基礎)〔簡化太極拳〕	(大石武士)	208
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・基礎)〔室内球技〕	(宮沢栄作)	209
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・基礎)〔卓球〕	(長濱友雄)	210
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・基礎)〔室内球技〕	(牧野茂)	211
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・基礎)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・応用)〔バドミントン〕	(長濱友雄)	212
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・応用)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・応用)〔トレーニング&ニュースポーツ〕	(大石武士)	213
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・応用)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・応用)〔室内球技〕	(宮沢栄作)	214
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・応用)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・応用)〔卓球〕	(長濱友雄・宮沢栄作)	215
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・応用)		
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(前期・応用)〔室内球技〕	(牧野茂)	216
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ(後期・応用)		
生涯スポーツ実習(集中前期・基礎)〔テニス集中〕	(江口淳一)	217
生涯スポーツ実習(集中前期・応用)		

生涯スポーツ実習	(集中後期・基礎)〔テニス集中〕	(江口 淳一)	…… 218
生涯スポーツ実習	(集中後期・応用)		
生涯スポーツ実習	(集中後期・基礎)〔ゴルフ集中〕	(三幣 晴三)	…… 219
生涯スポーツ実習	(集中後期・応用)		
生涯スポーツ演習	(シーズン前期・基礎)〔ゴルフ〕	(舘岡 儀秋 他)	…… 220
生涯スポーツ演習	(シーズン前期・応用)		
生涯スポーツ演習	(シーズン後期・基礎)〔スキー〕	(江口 淳一 他)	…… 222
生涯スポーツ演習	(シーズン後期・応用)		
保健体育理論		(田中 佳孝)	…… 224
保健体育理論		(三幣 晴三)	…… 225

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4 保健体育科目

必修科目

スポーツ実技（必修）開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		金 曜 日	
1 時 限			
2 時 限	短 英	田 中	ソフトボール
		川 村	室内球技
		※三幣	ゴルフ
		佐 藤	卓球
3 時 限			
4 時 限	短 放	※田中	屋外球技
		川 村	室内球技

※は、科目の主担当者

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔ソフトボール〕	た な か よ し た か 田 中 佳 孝	短 英 1 必	2

講義のねらい

ソフトボールの基本技術を習得し、ルールを理解することにより、見るスポーツから参加するスポーツに発展させる。また、模擬試合をすることにより、戦術的なことを理解し、より楽しくゲームが行なえ、野球観戦にも違った視野を持つことができるようになる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明と諸注意
- 2 時限目：用具の説明と使い方、キャッチボールの基本、ゴロ補球の基本、ルールの説明と実際
- 3 時限目：キャッチボール&ゴロの補球、バッティングの基本、ルールの説明と模擬ゲーム
- 4 時限目：ゴロの補球と1塁送球、トスバッティング1、ルールの説明と模擬ゲーム
- 5 時限目：フライボール補球の基本、紅白ゲーム
- 6 時限目：トスバッティング2、ゲーム
- 7 時限目：ルートバッティング、ゲーム
- 8 時限目：W-up、リーグ戦（スローピッチ）
- 9 時限目：W-up、リーグ戦（スローピッチ）
- 10時限目：W-up、リーグ戦（スローピッチ）
- 11時限目：W-up、リーグ戦（ファーストピッチ）
- 12時限目：W-up、リーグ戦（ファーストピッチ）
- 13時限目：W-up、リーグ戦（ファーストピッチ）
- 14時限目：W-up、順位決定戦（ファーストピッチ）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装でよい。運動シューズを用意する事。帽子は、自由。用具は全て大学で用意する。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 室 内 球 技 〕	かわむらまさよし 川 村 正 義	短英・短放1必	2

講義のねらい

バスケット・ボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケット・ボール)
- 2時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3時限目：ハーフ・コート2対1、ゲーム（1次リーグ）
- 4時限目：ハーフ・コート3対2、ゲーム（1次リーグ）
- 5時限目：ハーフ・コート4対3、ゲーム（1・2次リーグ）
- 6時限目：ハーフ・コート3対3、ゲーム（2次リーグ）
- 7時限目：実技テスト、ゲーム（2次リーグ）
(バレーボール)
- 8時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム（リーグ戦）
- 9時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
(バドミントン)
- 12時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14時限目：サーブ、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

そ の 他

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 ゴ ル フ 〕	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	短 英 1 必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時 限 目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時 限 目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時 限 目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時 限 目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時 限 目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時 限 目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時 限 目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時 限 目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時 限 目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時 限 目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時 限 目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時 限 目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時 限 目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スポーツ実技 〔卓球〕	佐藤まさゆき 佐藤 政之	短英1必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14 時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行わない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スポーツ実技 〔屋外球技〕	たなか よし たか 田 中 佳 孝	短放 1 必	2

講義のねらい

屋外球技は、自分の能力や技術に合わせてテニス、ソフトボールを中心に行なう授業である。テニスもソフトボールも生涯を通じて楽しく行なえるスポーツで、身体を通して体力、健康を積極的に充実させ、豊かな情操の発達と精神活動を賦活させるものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明と受講上の諸注意
(ソフトボール)
- 2 時限目：キャッチボールの基本、ゴロ補球の基本
- 3 時限目：キャッチボールとゴロの補球、バッティングの基本
- 4 時限目：補球と送球、バッティング
- 5 時限目：紅白ゲーム
- 6 時限目：紅白ゲーム
- 7 時限目：紅白ゲーム
(テニス)
- 8 時限目：テニスのラケットイング、グラウンドストロークの基本
- 9 時限目：ボレー、サーブ
- 10 時限目：ラリーの応用とミニゲーム
- 11 時限目：半面でのシングルスゲーム
- 12 時限目：シングルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 14 時限目：トーナメント型式の試合
- 15 時限目：トーナメント型式の試合

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装でよい。運動シューズを用意する。帽子は、自由。用具は全て大学で用意する。

成績評価の方法

成績評価は出席点を重視し、実技と平素の受講態度を加味して評価する。

そ の 他

雨天時は教室にてビデオ教材を用いた解説、分析などテニスに必要な技術を学びまたは、トレーニングルームで基礎体力づくりを行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
保健理論 (前期)	よし た みのる 吉 田 稔	短放 1 必	2

講義のねらい

「健康とは、肉体的に、精神的および社会的に完全に良好 (well-being) な状態であって、単に病気に罹患してないとか、病的ではないということではない」。これは WHO 憲章によって定義された健康の概念である。今や我が国の平均寿命が世界一となり、健康状態は諸外国に比べ極めて良好といえる。しかしながら、我が国は21世紀には本格的な高齢化社会を迎えようとしており、老人問題が重要な課題となっている。今や時代のニーズに対応した保健活動のみならず将来を展望した保健活動が重要視されて来ている。ここでは現在そして将来の健康の確保に必要な諸問題について考える。

教科書

鈴木庄助・久道茂編集『シンプル衛生・公衆衛生学』(改訂7版)(南江堂)2,400円

参考書等

『国民衛生の動向』(厚生指標 臨時増刊)(厚生統計協会)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スポーツ実技 〔再クラス〕	たけ 田 ぬき お なが 長 はま 幸 まさ 牧 の とも みや 野 の 友 宮 ざわ え 沢 栄	短 大 (H10以降入学生) 短 国 除 く)	2
スポーツ実技 (前期)(後期)〔再クラス〕			各1

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 5 時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10 時限目： 〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11 時限目： 〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3 時限目： 〃 (アタックとブロッキングの技術、ルール解説)
- 4 時限目： 〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5 時限目： 〃 (ゲーム)
- 6 時限目： 〃 (ゲーム)
- 7 時限目： 〃 (ゲーム)
- 8 時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9 時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10 時限目： 〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11 時限目： 〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12 時限目： 〃 (ゲーム)
- 13 時限目： 〃 (ゲーム)
- 14 時限目： 〃 (ゲーム)
- 15 時限目： 〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔再クラス〕 集 中 授 業 コ ー ス 〔室内球技〕	川村 正義・竹田 幸夫 <small>がわむら まさよし たけだ ゆきお</small>	短 大 (H10以降入学生) (短 国 除 く)	2

講義のねらい

バスケット・ボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目午前：授業内容の説明、バスケットボールの基礎
- 1 日目午後：ボールハンドリング、ドリブルシュート、ミニゲーム
- 2 日目午前：ミニゲーム、戦術の解説
- 2 日目午後：ゲーム（リーグ戦）
- 3 日目午前：バレーボール、基本練習（アンダーパス、オーバーパス、スパイク）
- 3 日目午後：6人制ゲーム（リーグ戦）
- 4 日目午前：6人制ゲーム（トーナメント）
- 4 日目午後：バドミントン、基礎打球技術
- 5 日目午前：シングルスゲーム
- 5 日目午後：ダブルスゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服装とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月20日(火)～24日(土)
(後期) 12月19日(日)～23日(木)
7月20日及び12月19日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配当学科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔再クラス〕 集 中 授 業 コ ー ス 〔卓 球〕	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短 大 (H10以降入学生) 短 国 除 く	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム。
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム。
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム。
- 3日目午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方。
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習。
- 4日目午前：ダブルスゲーム。
- 4日目午後：ダブルスゲーム。(5人一組でのリーグ戦)
- 5日目午前：トーナメント形式の試合。
- 5日目午後：まとめ。

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は、授業を受けることはできない。
30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

成績評価の方法

評価は出席点70点。実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月20日(火)～24日(土)
(後期) 12月19日(日)～23日(木)
7月20日及び12月19日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スポーツ実技 〔再クラス〕 集中授業コース 〔ソフトボール〕	むら 村 まつ 松 まこと 誠	短 大 (H10以降入学生) (短 国 除 く)	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

第1日目午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
第2日目午前：ゲーム
午後：〃
第3日目午前：〃
午後：審判法・ゲーム
第4日目午前：〃
午後：〃
第5日目午前：〃
午後：〃

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月20日(火)～24日(土)
(後期) 12月19日(日)～23日(木)
7月20日及び12月19日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
上曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔再クラス〕 集 中 授 業 コ ー ス 〔サッカー〕	あき 秋 た 田 こう 浩 いち 一	全 学 科 (H10以降入学生) 短 国 除 く	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習(キック、トラップ、ヘディング、ドリブル) チーム分け
- 1日目午後： 〃
- 2日目午前：パス練習、ゲーム
- 2日目午後：ロングキック、ゲーム
- 3日目午前：ドリブル、ゲーム
- 3日目午後：シュート、ゲーム
- 4日目午前：ルールの解説、ゲーム
- 4日目午後：ゲーム(リーグ戦)
- 5日目午前： 〃
- 5日目午後： 〃

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コースについて

- (1) 実施機関：(前期) 7月20日(火)～24日(土)
(後期) 12月19日(日)～23日(木)
7月20日及び12月19日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スポーツ実技 〔再クラス〕 集中授業コース 〔太極拳〕	おお いし たけ し 大 石 武 士	短 大 (H10以降入学生) 短 国 除 く	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、筋骨を鍛えるだけでなく、屈伸運動・円運動を基本とした一種のバランス運動であり、呼吸法にのっとり行なう健康体操である。起勢から取勢間での24の動作を行ない、現在及び将来の健康・体力の維持増進を目手とする。また、太極拳動作の活発性や反応能力、技術水準を高めるためにゆっくり円滑に二人で対になって行なう一定の対抗性を具えた太極推手と組み合わせ、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：重心の移動・複式深呼吸運動
：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 1日目午後：第二組 左右揉膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 2日目午前：第四組 単鞭・雲手・單鞭
：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 2日目午後：第六組 左下勢独立・右下勢独立
：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 3日目午前：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢
：総合・太極推手（基本動作）
- 3日目午後：総合・太極推手（単推手）
- 4日目午前：総合・太極推手（双手平円）
- 4日目午後：総合・太極推手（定歩推手）
- 5日目午前：総合練習
- 5日目午後：テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コースについて

- (1) 実施機関：(前期) 7月20日(火)～24日(土)
(後期) 12月19日(日)～23日(木)
7月20日及び12月19日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時間で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

4 保健体育科目

選 択 科 目

スポーツ実技（短国）開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		金 曜 日	
3 時 限	短 国 (選 択)	川 村	室 内 球 技
		※佐藤	卓 球
		三 幣	ゴ ル フ

※は、科目の主担当者

生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日			
1 時 限									
2 時 限	長	前期・基礎	大		宮	野	前期・応用		
		バドミントン					トレーニング& ニュースポーツ※	卓 球	
	濱	後期・基礎	後期・応用				後期・応用	後期・応用	
		バドミントン	トレーニング& ニュースポーツ※				卓 球	室内球技	
3 時 限	長	前期・応用	大	宮	長	野	前期・基礎		
		バドミントン					簡化太極拳※	室内球技	前期・基礎
	濱	後期・応用	後期・基礎				後期・応用	後期・基礎	後期・基礎
		バドミントン	簡化太極拳※				室内球技	卓 球	室内球技
4 時 限	大	前期・基礎		宮	長		前期・応用		
		トレーニング& ニュースポーツ※					室内球技	卓 球	
	石	後期・基礎					後期・基礎	後期・応用	後期・応用
		トレーニング& ニュースポーツ※					室内球技	卓 球	卓 球

※は、本校第2体育館にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ポ ー ツ 実 技 〔 室 内 球 技 〕	かわ 村 まさ よし 川 村 正 義	短 国 1 選	2

講義のねらい

バスケット・ボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケット・ボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート 2 対 1、ゲーム (1 次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート 3 対 2、ゲーム (1 次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート 4 対 3、ゲーム (1・2 次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (2 次リーグ)
- 7 時限目：実技テスト、ゲーム (2 次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

そ の 他

出席点 (70点)、実技テスト (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スポーツ実技 〔卓球〕	さ とう まさ ゆき 佐 藤 政 之	短国1選	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スポーツ実技 〔ゴルフ〕	み 三 ぬさ 幣 はる 晴 み 三	短国1選	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名		担当者名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) 〔バドミントン〕		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る
 - (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：半面での簡易ゲーム
- 5 時限目：
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目：
- 11 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 12 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう

科 目 名	担当者名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎) (後期・基礎)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ 〔トレーニング& ニュースポーツ〕		短国・短英2選	

講義のねらい

体力づくりは、トレーニングマシンがなくてもできるメディシンボールやユニットダンベル等、簡単な器具で行う体力づくりを正しく行い、現在及び将来の健康・体力の維持増進を目的とする。また、ニュースポーツとして現在静かなブームをおこしている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやバウンドテニス等を余暇ゲーム感覚で行い、楽しみながら生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。基礎の反復を行いながら応用動作に移行する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：応用打法
- 6時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ゲーム
- 8時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 9時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 10時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 11時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 12時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：〃
- 13時限目：まとめ
- 14時限目：まとめ
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：第二体育館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) 〔簡化太極拳〕		短国・短英2選	

講義のねらい

太極拳は中国古来の武術であるが、筋骨を鍛えるものではなく、屈伸運動・円運動を基本とした一種のバランス運動であり、呼吸法にのっとりおこなう健康体操である。起勢から収勢までの24の動作を行い、現在および将来の健康・体力の維持増進を目的とする。また、太極拳動作の活発性や反応能力、技術水準を高めるためにゆっくり円滑に二人で対になって行う一定の対抗性を具えた太極推手と組み合わせ、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式深呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右撥膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攏雀尾・右攏雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。
- 3) 教場：第二体育館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担当者名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)	みやざわ えい まく 宮 沢 栄 作	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎) 〔室内球技〕		短国・短英2選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につなげることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：実技各種目の競技の性格、ルールの説明
- 3 時限目：バスケットボール競技の構成基礎技術実習
- 4 時限目：3：3の簡易ゲーム
- 5 時限目：3：3の簡易ゲーム
- 6 時限目：バレーボール競技の構成基礎技術実習
- 7 時限目：簡易ゲーム
- 8 時限目：簡易ゲーム
- 9 時限目：卓球の基本技術
- 10 時限目：シングルス、ダブルスでのゲーム
- 11 時限目：シングルス、ダブルスでのゲーム
- 12 時限目：バドミントンの基礎技術実習
- 13 時限目：シングルス、ダブルスでの簡易ゲーム
- 14 時限目：シングルス、ダブルスでの簡易ゲーム
- 15 時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科 目 名		担当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) 〔卓 球〕		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) スマッシュを打つことが出来る。
(3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7 時限目：シングルスゲームの練習
- 8 時限目：
- 9 時限目： } 総合練習、シングルスゲーム
- 10 時限目：
- 11 時限目：
- 12 時限目：
- 13 時限目：
- 14 時限目： } 総合練習、ダブルスゲーム
- 15 時限目：

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	まき の 野 牧 野 しげる 茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) 〔室内球技〕		短国・短英2選	

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生業にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：授業内容の説明 (バスケットボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2メン・ダッシュ
- 3 時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート3対2、ゲーム (リーグ戦)
- 5 時限目：レイアップ・シュート・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム (リーグ戦)
- 6 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE①、ハーフ・コート3対3、ゲーム (リーグ戦)
- 7 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE②、ハーフ・コート3対3、ゲーム (リーグ戦)
- 8 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)
- 9 時限目：(バドミントン) ラケットティング、ストロークの基本技術 (回内、回外)
- 10 時限目：オーバー・ヘッド・ストローク (スマッシュ、ドロップ、クリアー)
- 11 時限目：アンダー・ハンド・ストローク (クリアー、ヘアピン)
- 12 時限目：サービス、ストロークの応用とミニゲーム、ダブルスのルール
- 13 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 14 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技テスト (20点)、態度点 (10点)

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) 〔バドミントン〕		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時間目： }
- 11 時間目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう

科 目 名	担当者名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用) (後期・応用)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ [トレーニング& ニュースポーツ]		短国・短英2選	

講義のねらい

体力づくりは、トレーニングマシンがなくてもできるメディシンボールやユニットダンベル等、簡単な器具で行う体力づくりを正しく行い、現在及び将来の健康・体力の維持増進を目的とする。また、ニュースポーツとして現在静かなブームをおこしている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやバウンドテニス等を余暇ゲーム感覚で行い、楽しみながら生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ゲーム
- 8 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：　　　　　　　　　　〃
- 9 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：　　　　　　　　　　〃
- 10 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：　　　　　　　　　〃
- 11 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：　　　　　　　　　〃
- 12 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：　　　　　　　　　〃
- 13 時限目：まとめ
- 14 時限目：まとめ
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：第二体育館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) 〔室内球技〕		短国・短英2選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につなげることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：バスケットボール競技の基本応用技術の全般についての実習
- 3 時限目：正式ゲーム
- 4 時限目：正式ゲーム
- 5 時限目：バレーボール競技の基本応用技術について
- 6 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 7 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 8 時限目：卓球の基礎応用技術について
- 9 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 10 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 11 時限目：バドミントン技術について
- 12 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 13 時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 14 時限目：まとめとして、希望種目の実施
- 15 時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科 目 名		担当者名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	ながはまともお みやさわえいぞく 長濱友雄・宮沢栄作	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) 〔卓 球〕		短国・短英2選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
2時限目：サーブ、サーブレシーブ
3時限目：サーブ、ラリー
4時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
8時限目： }
9時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
10時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
13時限目： }
14時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
15時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	まきの野 しげる茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) 〔室内球技〕		短国・短英2選	

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を旨とする。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：授業内容の説明 (バスケットボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート・ドリル、ハーフ・コート2対1
- 3 時限目：シューティング・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム (リーグ戦)
- 4 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム (リーグ戦)
- 5 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム (リーグ戦)
- 6 時限目：モーション・オフENSE・ドリル①ハーフ・コート3対3、ゲーム (リーグ戦)
- 7 時限目：モーション・オフENSE・ドリル②ハーフ・コート4対4、ゲーム (リーグ戦)
- 8 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)
- 9 時限目：(バドミントン) ストロークの基本技術 (回内、回外)
- 10 時限目：オーバ・ヘッド・ストローク (スマッシュ、ドロップ、クリアー、ドライブ、カット)
- 11 時限目：サイド・ハンド・ストローク (ドライブ、クリアー)、シングルスゲーム
- 12 時限目：アンダー・ハンド・ストローク (クリアー、ネット・ショット)、シングルスゲーム
- 13 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 14 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技テスト (20点)、態度点 (10点)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	短国・短英選	1
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）			

テニス集中

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど応用技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは、打球技術の習得ばかりでなく《あたり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

（基礎）…初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

（応用）…エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながらHighでFullにテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1 日目午後：ラリーの応用練習
- 2 日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2 日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指して
- 3 日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3 日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4 日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4 日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5 日目午前：団体戦形式の試合
- 5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月19日(日)～23日(木)、12月19日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする
- (5) 申込方法：生涯スポーツ実習（Ⅰ・Ⅱ）と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習（集中後期・基礎）	み ぬさ ほる み 三 幣 晴 三	短国・短英選	1
生涯スポーツ実習（集中後期・応用）			

ゴルフ集中

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的のスポーツになりつつある。本講義は、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、すでに体験している学生までを対象として実施する。

ゴルフの技術的な上達は、本講義の主たるねらいとなるが、それ以外のゴルフのもつ重要なねらいとしての、マナーやエチケット、さらに練習仲間とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。

生涯スポーツ実習として、大学卒業後もゴルフの良さを十分に楽しみ、かつ社会人としてゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基本を学んでほしい。

基礎：初心者を対象として、ゴルフスイングの基本を理解させる。

応用：経験者を対象として、ゴルフスイングの応用を理解させる。

講義の内容・授業スケジュール

1 日目：オリエンテーション・打席練習（7番アイアン／グリップ・アドレス・スイングの基本練習）

講義・ビデオ：ゴルフスイングの基本

2 日目：打席練習（7番アイアン・9番アイアン）、アプローチ練習、打席練習（ウッド）、パッティング練習

講義・ビデオ：マナーとエチケット

3 日目：打席練習（5、7、9番アイアン、ウッド）、アプローチ練習（PW、7番アイアン）、パッティング練習

講義：ゴルフルール

4 日目：打席練習（5、7、9番アイアン、ウッド）／近隣のゴルフ練習場での打席練習

講義：ゴルフラウンドの基礎知識

5 日目：グラウンドでのコースラウンド（6ホール）

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）

シューズ：運動靴（ゴルフシューズは禁止する）

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

集中授業コース実施について

(1) 実施期間：12月19日(日)～23日(木)、12月19日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合

(2) 実施時間：午前 10:00～12:00

午後 13:00～15:30

(3) 実施場所：玉川グラウンド

(4) 費用：練習場での打席練習代として、¥1,000が必要である。（4日目に持参すること）

(5) 定員：40名とする。

(6) 申込方法：生涯スポーツ実習と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

土曜日・8時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎)	たて おか よし あき 館 岡 儀 秋 他	短国・短英選	2
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・応用)			

ゴ ル フ

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。本講義は、大学内で行われているゴルフ授業を一步進めて、自然の中での実際のゴルフを基本からラウンドまで体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、すでに大学内の授業やその他で体験している学生までを対象として実施する。

ゴルフの技術的な上達は、本講義の主たるねらいとなるが、それ以外のゴルフのもつ重要なねらいとしての、マナーやラウンドにおけるエチケット、さらに同伴競技者（パートナー）とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。生涯スポーツ演習として、大学卒業後もゴルフの良さを十分に楽しみ、かつ社会人としてゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基本を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 事前講義：5月14日(金)PM.12:10～12:50 2研-101教場「オリエンテーション、ゴルフの基本的知識1」
7月21日(水)PM.1:00～3:30 玉川-101教場「ゴルフの基本的知識2」
※上記の事前講義は、オリエンテーションを兼ねるので必ず出席すること。
- ② 実習内容

1日目《9月6日(月)》	PM.2:00～5:00オリエンテーション・打撃練習(7番アイアン/グリップ・アドレス・スイングの基本練習)
講義	PM.7:00～9:00《ゴルフスイングの基本》
2日目《9月7日(火)》	A.M.9:00～12:00/PM.1:30～4:30打撃練習(7番アイアン・9番アイアン)、アプローチ練習、打撃練習(ウッド)、パッティング練習
講義	PM.7:00～9:00《ゴルフのエチケット・マナー》
3日目《9月8日(水)》	A.M.9:00～12:00/PM.1:30～4:30打撃練習(5、7、9番アイアン、ウッド)、アプローチ練習(PW、SW、7番アイアン)、パッティング練習
講義	PM.7:00～9:00《ゴルフルール・ラウンドについて》
4日目《9月9日(木)》	A.M.9:00～12:00/PM.1:30～4:30ラウンド(本コース・ショートコース)
講義	PM.7:00～9:00《ラウンドの反省と総括》
5日目《9月10日(金)》	A.M.9:00～11:00/PM.12:30～2:30ラウンド(本コース・ショートコース)

履修上の留意点

- (1) 服装：一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
シューズ/グローブ：練習は運動靴でもよいが、ラウンドはゴルフシューズが必要。特に経験者は、正式の本コースをラウンドするので、ゴルフシューズ及びグローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバッグ・ボール・ティーは大学で用意するが、自分のものを持参してもよい。
- (2) 場所：宿 泊：軽井沢スケートセンターホテル ☎(0267)46-1111
練習場：軽井沢ゴルフ練習場(アプローチ練習場を含む) ☎(0267)48-1211
コース：馬越ゴルフコース/和美パー3コースその他
- (3) 期日：平成11年9月6日(月)～10日(金)4泊5日
- (4) 募集人員：30名(定員になり次第締め切る)
- (5) 集合/解散：現地(軽井沢スケートセンターホテル) / 詳細(時間：道順など)は下記のオリエンテーションで説明するので必ず出席すること。
- (6) 費用：49,000円(ラウンド費用を含む) ※交通費は含まれない。(現地集合・解散)
- (7) 納入方法：上記49,000円を、経理部窓口で、平成11年5月17日(月)～5月28日(金)までに納入すること。
- (8) オリエンテーション：上記の事前講義5月14日(金)、7月21日(水)で実習の説明を行うので必ず出席すること。

- (9) 生涯スポーツ演習（基礎）（応用）の区分
生涯スポーツ演習（基礎）：初心者を対象とする。ゴルフの基本的知識を理解し、ゴルフスイングの基本的運動を実習してショートコースをラウンドする。
生涯スポーツ演習（応用）：既にゴルフラウンドを2～3回経験した者を対象とする。ゴルフの全般的な知識を理解させ、さらにゴルフスイングの実際のラウンドでのさまざまな応用を実習し、ラウンドを主体にして体験させる。
- (10) 申し込み・期日：教務部窓口／事前登録受付期間

成績評価の方法

単位数は、事前講義と実習の参加で2単位。出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

その他

都合で参加できなくなった場合には、早急に保健体育部（☎03-3709-0717）に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎)	えぐち じゅんいち 江口 淳 他	短国・短英選	2
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・応用)			

ス キ ー

講義のねらい

現在、わが国においてスキーは国民のスポーツといわれるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできる種目として定着している。将来においても、スキーを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、並びにゲレンデにおけるマナーについての理解を深めていきたい。

実習は、スキー技能レベルに応じて、1班10名程度にグループ分けをして実施する。各班とも本学教員、および全日本スキー連盟指導員の指導によって行う。

コース内容は、基礎コースではシュテムターンの習得、応用コースではウェーデルンと斜面に応じた総合滑降技術の習得、および完成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- 生涯スポーツ演習 (基礎) (応用) の区分
 - 生涯スポーツ演習 (基礎)：初心者・初級者を対象とする。
歩行、直滑降、ブルーク、ブルーク・ボーゲン、斜滑降、横滑り、ブルーク・ターン、シュテム・ターン
 - 生涯スポーツ演習 (応用)：中級者・上級者を対象とする。
斜滑降、横滑り、シュテム・ターン、パラレル・ターン、ウェーデルン、様々な斜面へ対応する総合滑降技術
- 事前講義：5月14日(金)12:10~12:50 2研-102教場「オリエンテーション、スキーの基本的知識1」
12月20日(月)13:00~15:30 玉川-306教場「スキーの基本的知識2」
- 実習内容

1日目〈2月21日(月)〉	10:30	軽井沢スケートセンターホテル集合
	14:00~17:00	班別の実習
	19:00~21:00	講義 (スキー場におけるマナー)
2日目〈2月22日(火)〉	9:00~12:00	各班毎の実習
	13:30~17:00	〃
	19:00~21:00	講義 (スキーの基本技術)
3日目〈2月23日(水)〉	9:00~12:00	各班毎の実習
	13:30~17:00	〃
	19:00~21:00	講義 (スキーの応用技術)
4日目〈2月24日(木)〉	9:00~12:00	各班毎の実習
	13:30~16:30	〃
	19:00~21:00	講義 (スキー実習の総括)
5日目〈2月25日(金)〉	9:00~12:00	各班毎の実習・評価
		軽井沢プリンスホテルスキー場解散

履修上の留意点

シーズンコース・スキーの授業は、下記の要領で実施する。

- 日程：平成12年2月21日(月)~2月25日(金)の4泊5日
- 場所：実習 軽井沢プリンスホテルスキー場
宿泊・講義 軽井沢スケートセンターホテル ☎(0267)46-1111
- 受講料：49,000円 ※尚、現地集合・解散の為、交通費は含まれない。
※受講者は、費用を納入期間の平成11年5月17日(月)から5月28日(金)までに経理部窓口で納入すること。
- 定員：90名
履修希望者は、教務部窓口にて事前登録受付期間に手続きを済ませること。
定員になり次第締め切る。
- 『履修届 (事前登録)』に関する注意：教務部窓口に提出する『事前登録申請書』には、シーズンコース用に設定された『土曜日8時限 (後期)』で記入すること。
- オリエンテーション：上記の事前講義 (5月14日(金)・12月20日(月)) で実習の説明を行うので、必ず出席すること。
- スキー用具とウェア：スキー用具は、現地でレンタル可能 (有料)。ウェアは、各自で事前に準備しておくこと。

- 8) 学部及び短大卒業年次生：成績発表及び再試験申込み受付・成績質疑応答期間と重なるので、学部及び短大の卒業年次生は卒業取得単位を十分に考慮して履修すること。

成績評価の方法

事前講義および実習（5日間）に参加終了し、2単位が認められる。成績評価方法は、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びにスキーの基本技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

教科書

DSK（大学スキー研究会）編『スキー教本』1,155円

その他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（☎03-3709-0717）に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
保健体育理論（前期）	田 ^た 中 ^{なか} 佳 ^{よし} 孝 ^{たか}	短国・短英1選	2

講義のねらい

健康を保つ為に必要な栄養素と正しい食生活の知識を学び、肥満のメカニズム・ダイエットの原則と正しい方法を識る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：身体に必要な栄養素（糖質・脂質・蛋白質について）
- 2 時限目：身体に必要な栄養素（ビタミン・ミネラルについて）
- 3 時限目：ビタミンの欠乏症と薬理作用
- 4 時限目：タバコの悪害とビタミン
- 5 時限目：妊婦時の栄養と肥満
- 6 時限目：人間は何故肥満するのか？（肥満とは）
- 7 時限目：ダイエットの基本
- 8 時限目：減食に依るダイエット、運動に依るダイエット
- 9 時限目：リバウンドと拒食・過食症
- 10時限目： }
 } ダイエット法各論
- 13時限目： }
- 14時限目：まとめ
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

遅刻・早退・私語は認めない。携帯電話、ポケベル等のスイッチは切っておくこと。

成績評価の方法

毎時間出席をとり、2/3以上の出席者が学期末テストを受験できる。出席点を50点満点とし、テスト点（50点満点）を加えて評価とする。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に発表する。

その他

講義の補助としてビデオを使用することがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保健体育理論 (前 期)	み ぬ さ は る み 三 幣 晴 三	短国・短英1選	2

講義のねらい

健康は、人間が生きて、何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康だけに焦点をおくのではなく、人間として生きる上で身体的・精神的健康とはどんな状態であるのか、また、その実現にはどうすべきかを論ずるものである。したがって健康にとって障害となる現代の社会的状況からのさまざまな問題（食・住・ストレスなど）について、どう対処すべきかを、実際の観点から探ろうとするものである。また、西洋医学と東洋医学の相異などから、心と体の関係などにも言及し、メンタルマネジメント・自律訓練法・ヨーガ・健康体操などの実際的な健康づくりによって学生としての、また生涯にわたっての健康の必要性を認識することをねらいとする。その際、これまで一般的に常識とされてきた種々の考え方を、別の角度から検証し、新しい認識を作り上げることを目指すものである。

スポーツは、過去から長い間にわたって築きあげられてきたが、いまや現代の人々によって欠かすことのできない《文化》である。文化としてのスポーツを楽しむことは、いまや現代人にとって生活のひとつの要素になりつつある。それは、実践することを楽しむことだけにとどまらず、観ることを楽しむ、あるいはマスコミからの情報によってスポーツから幅広い視点を提供されるなど、現代人にとって広範囲の影響力をもちつつある。本講義では、スポーツを《文化論》あるいは《遊戯論》から論じることで、人間とは何か、生きるとは何かについても言及するものである。また、《スポーツの技術論》、さらに《スポーツ運動学》、《メンタルトレーニング》などにも触れることで、スポーツの狭い領域だけにとどまらず、生きがいをもって仕事・生活・趣味をしていく上での共通点を見いだしていこうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の概要説明
- 2 時限目：健康とは何か（世界の長寿村と短命村の比較）－そのⅠ
- 3 時限目：同 ーそのⅡ
- 4 時限目：現代の生活と健康
- 5 時限目：ストレス学説（セリエ博士の学説）－そのⅠ
- 6 時限目：同 ーそのⅡ
- 7 時限目：西洋医学と東洋医学の比較
- 8 時限目：健康体操・メンタルトレーニング
- 9 時限目：遊戯論（ホモ・ルーデンス）－そのⅠ
- 10 時限目：同 ーそのⅡ
- 11 時限目：スポーツ論
- 12 時限目：スポーツ技術論
- 13 時限目：スポーツ運動学（カテゴリー論）
- 14 時限目：同（発達論・学習論）
- 15 時限目：日本のスポーツ（組織編・考え方）／まとめ

履修上の留意点

教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。教科書の内容は各自であらかじめ読んでおいてほしい。

成績評価の方法

ペーパーテストを基本とし、毎時間の出欠席を参考にする。

教科書

『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700円

参考書等

『ホモ・ルーデンス』（中央公論社）
『マイネル・スポーツ運動学』（大修館書店）

その他

講義形式を基本とし、ビデオや実技も加える。

Ⅱ 全学共通科目

(仏教科一夜間開講)

仏教科 (一夜間開講)	宗教科目
	人文分野
	社会分野
	自然分野
	外国語科目
	保健体育科目

1999 (平成11) 年度 学年暦

■は全学休業日
(事務も取扱いません)

日	月	火	水	木	金	土
4月 (平成11年)						
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
5月						
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
6月						
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			
7月						
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
8月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
9月						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

6日・7日 在校生成績発表・在籍確認
8日 入学式
9日～12日 新入生オリエンテーション
13日 前期授業開始
13日～19日 在校生成績質疑応答
19日・20日 履修届受付
30日 特別研修日 (全学休業)

1日 特別研修日 (全学休業)
10日～14日 履修訂正期間

13日～19日 前期終了科目定期試験
※授業平常どおり
19日 前期授業最終日
21日 夏季休業開始 (～9月15日)
22日 前期終了科目定期試験欠試験
(追試験申込) 受付締切
26日～28日 全学休業

7日～18日 全学休業

6日～10日 生涯スポーツ演習 (シーズン前期)
16日 後期授業開始
16日・17日 前期終了科目定期試験成績発表
成績質疑応答及び再試験申込受付
16日～24日 編入学試験願書受付
20日～22日 転部・転科試験願書受付
(第2部から第1部へ、第2部内)
27日 前期終了科目追・再試験
(～10月2日)
※授業平常どおり

日	月	火	水	木	金	土
10月 (平成11年)						
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
11月						
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				
12月						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
1月 (平成12年)						
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
2月						
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29				
3月						
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

11日 編入学試験、転部・転科試験
15日 第117回開校記念日 (全学休業)

18日・19日 教職課程受講登録ガイダンス
(大学1年次生)

20日 冬季休業開始
(～12年1月10日)
20日・21日 後期補講日

11日 後期授業再開
17日 後期授業最終日
18日～24日 定期試験 (専門・教職科目)
25日～31日 定期試験 (全学共通科目)

3日 定期試験欠試験 (追試験申込)
受付締切
16日・17日 成績発表および再試験申込受付・
成績質疑応答 (大学4年次生・短大生)
21日～26日 追・再試験
21日～25日 生涯スポーツ演習
(シーズン後期)

17日 卒業生名簿発表
25日 卒業式
27日～31日 春季休業

1 宗教教育科目

1 宗教教育科目

仏教と人間	(大西龍峯)	233
仏教と人間 [再クラス]		

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	おおにしりゅうほう 大西龍峯	短仏1必	4
仏教と人間 〔再クラス〕		H8年度以降入学生 短 仏	

講義のねらい

仏教の教えが、現代人にとってどんな意味をもち、またどんな役割をはたしうるかについて考えていくことが、本講座の目的であります。

講義の内容・
授業スケジュール

できるだけ現在われわれの身のまわりに起こっている問題をとりあげ、それに対し仏教がどういう考え方を示し、対処をなしうるかを検討し、あわせて仏教の基本的教義や、その宗教的特質を明確にしていきたいと思えます。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

テキスト、資料等は、授業の中で配布します。

2 教養教育科目

(1) 人 文 分 野

2 教養教育科目

(1) 人文分野

宗教学(1)〔聖と俗〕(菅原壽清)	241
宗教学(2)〔比較宗教文化〕(田中かの子)	242
文学(1)(3)〔日本文学-古典-〕(山下哲郎)	243
文学(2)〔日本文学-近代-〕(大泉政弘)	244
歴史学(1)〔日本近代史〕(林彰)	244
歴史学(2)〔中国古代史〕(茂沢方尚)	245
歴史学(3)〔中国古代思想史〕(茂沢方尚)	245
哲学(1)〔西洋思想の源流〕(河谷淳)	246
哲学(2)〔近代の人間観と世界観〕(伊古田理)	246
哲学(3)〔現代文明と人間〕(麻生享志)	247
論理学(1)(2)〔科学方法論と現代論理学〕(伊古田理・山本敦之)	247
倫理学(1)(2)〔西洋倫理学〕(河谷淳・末木恭彦)	248

(2) 社会分野

法学・憲法(1)〔法と権利〕(光田督良)	251
法学・憲法(2)〔法と社会生活〕(長谷川日出世)	252
社会科学論(1)〔社会認識の思想〕(小杉修二)	252
経済学(1)〔現代経済と人間〕(明瀬政治)	253
社会学(1)〔現代社会を考える〕(橋爪敏)	253
社会学(2)〔現代文化を考える〕(橋爪敏)	254
統計学(1)〔社会現象の統計的決定〕(日下泰夫)	254
文化人類学(1)〔文化と人間〕(小川順敬)	255
文化人類学(2)〔諸民族とコスモロジー〕(杉井純一)	256
政治学(1)〔政治システムと政治参加〕(宝利尚一)	257
政治学(2)〔国際社会と日本〕(山田敦)	257

(3) 自然分野

心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕(鈴木順一)	261
心理学(2)〔人間関係を考える〕(鈴木順一)	262
生物学(1)〔生態と進化〕(清水善和)	263
生物学(2)〔生物と環境〕(中村敏枝)	265
コンピュータ基礎(1)〔コンピュータと情報〕(竹田洋一)	266
コンピュータ基礎(2)〔コンピュータと情報〕(上原隆平)	267
地球科学(1)(2)〔変動帯としての日本列島〕(藤井享)	268
自然環境論(1)〔宇宙から見た地球環境〕(篠原正雄)	269
自然環境論(2)〔環境と保全〕(漆原和子)	269
情報数学(1)〔情報と論理〕(三好重明)	270

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 (1) 〔 聖 と 俗 〕	すが 原 とし きよ 菅 原 壽 清	短 仏	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえて行きたいと考えております。授業は講義形式とし、前半は宗教学・宗教人類学についての基礎的な問題を、後半は聖と俗、アニミズム、シャーマニズムを手がかりに、日本人の生死観など具体的な事例を基にしながら、現代社会との関わりや人びとの暮らしと宗教について、順次考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 〈宗教人類学入門〉
1. 宗教と宗教人類学 (宗教をとらえる視点)
 2. 宗教人類学の研究領域 (多様なアプローチ)
- 〈宗教の多様性〉
3. さまざまな宗教形態 (その多様な形態)
 4. 宗教の分類方法 (現代の分類方法)
- 〈聖なるコスモロジー〉
5. 聖と俗
 6. アニミズム・シャーマニズムの世界
 7. 日本人の生死観
 8. 東南アジア・稲作の人びとの暮らしと宗教

成績評価の方法

試験・その他

教 科 書

指定なし

参 考 書 等

『宗教学ハンドブック』(世界書院)

そ の 他

ビデオ・スライドなども使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 (2) 〔比較宗教文化〕	田 中 かの子	短 仏	4

講義のねらい

宗教は、人間が自他の生命（いのち）をより善くまっとうするための究極的な拠りどころと生き方を提示する。

諸宗教の興起し発展してきたこの世界において、わたくしたちはいま、宗教を比較して宗教それぞれの現代的意義と役割を見出すべき時機を迎えている。

以上の視点から観ると宗教学とは、諸宗教における生命（いのち）や人間性の普遍的価値を追究し、人間相互の理解と協調への道を拓くいとなみであるといえよう。

本講は、1)宗教学の基本的立場をふまえ、2)諸宗教の思想・文化を正しく把握することで、3)国際的視野における「他者」認識と「人間」理解の眼を養うことをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

I. 宗教学とは何か

- 1) 宗教 (religion) という用語の起源と「作業仮説的」限界。
- 2) 「宗教学」成立のいきさつ。
- 3) 宗教学の意味と目的とは何か。
- 4) 宗教学のさまざまな方法と可能性。

II. 宗教生活の原初形態

- 1) 「いのち」に気づく（生への畏敬、「いのち」の表現（洞窟壁画の思想）、「いのち」のゆくえ（死への畏怖と生死観のめばえ）、生死観四態）。
- 2) アニミズム説、ブレアニミズム説、原始一神教説、「起因者」説の提起と問題点。

III. 科学・呪術・宗教

- 1) 呪術の原理と諸類型。
- 2) 科学と呪術。
- 3) 呪術と宗教。
- 4) 宗教と科学。

IV. 宗教の類型論

- 1) ひとつの宗教の諸相・さまざまな宗教の比較。
- 2) 人格的「神」を拠りどころとする宗教と非人格的「法」を拠りどころとする宗教。
- 3) 権威主義的宗教と人間主義的宗教。
- 4) 神秘主義的宗教と預言者的宗教。
- 5) 汎神的宗教の諸相。
- 6) 「救い型」「悟り型」「つながり型」の三類型。
- 7) 民族宗教と世界宗教の歴史的連関。
- 8) 「宗教進化の五類型」説（宗教史における「進化」とは何か）。

V. 宗教を構成するもの

- 1) 「聖なるもの」は目に見えない（宗教的實在）。
- 2) 「聖なるもの」からのメッセージ（神話・教説・教義・聖典）。
- 3) 「聖なるもの」を祀る空間（聖域・聖地・聖所）。
- 4) 「聖なるもの」の象徴論（symbolism）。
- 5) 「聖なるもの」に向かって祈り集う人々（宗教集団）。
- 6) 「聖なるもの」をめぐる行なわれること（宗教儀礼）・体験されること（宗教体験）。
- 7) 「偶像」(idol) とは何か。

VI. 宗教的人間観

- 1) 人類の起源神話。
- 2) 人間というものの二元的構造（霊と肉、善と悪、聖と俗）。
- 3) 宗教的人格の理想像とその形成過程。

VII. 宗教的世界観

- 1) コスモロジー（宗教的宇宙論）。
- 2) 「この世」と「来たるべき世」。
- 3) 時間と空間。

VIII. I. ~VII. をふまえながら、現代も生きつづける諸宗教の思想と文化について解説する。また、異なる宗教の間に生じる誤解や偏見を指摘し、正しい「他者」認識と平和友好的な「人間」理解とはどうあるべきかを考える。そのためには何よりもまず、それぞれの宗教を信奉する人々が「生命（いのち）をまっとうするための道」(a way of 'Life') をどのように歩んでいるのかを実際に観ることが望ましい。本講の後半においては、スライドと録音テープを併用しながら「人間」のさまざまな生き方にアプローチしていく。

1) ゴアスター教、2) ユダヤ教、3) キリスト教、4) イスラーム、5) シーク教、6) ヒンドゥー教、7) ジャイナ教、8) 仏教。

履修上の留意点

毎回、1) 板書を写す、2) 教科書や配布資料を参照する、3) 講義内容をメモしながらキーワードを探す、4) 視聴覚資料を鑑賞したときは、その感想を書き留めておくなどの作業をとおり、自分自身の見方・考え方をしっかりと持てるように心がけていこう。

成績評価の方法

期末試験、レポート、出席状況、受講態度。

教科書

脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）。後期は、プリント資料を中心にすすめる。

参考書等

水野弘元・柴田道賢（監修）『宗教学ハンドブック』（世界書院）。そのほかは、必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文 学 (1) (3) 〔日本文学－古典－〕	やま した てつ ろう 山 下 哲 郎	短 仏	4

講義のねらい

本年度は、中世随筆文学の代表的な作品、兼好法師の『徒然草』を読む。わが国の古典文学に親しみ、その作品世界を愉しみながら読み進めていくことを目標とする。古典作品を原文で読解していくため、内容の理解にはやや努力を要するが、年間を通してできる限り多くの章段の読解を期したい。作品の時代的背景や、各章段の関連事項など、特に問題となる事柄に関しては、時間をかけて、じっくりと考えていきたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前・後期を通じて作品の講読を行うが、前期のはじめの数講において、作品の兼好法師や『徒然草』という作品についての概説を行う予定である。

履修上の留意点 履習にあたっては、各自必ずテキストを用意すること。関連資料等は随時配布する。

成績評価の方法

成績評価はレポートと出席状況で行う。レポートは原稿用紙（400字詰）5枚以上で、年度末に提出すること。なお、レポートの課題等の詳細については開講時に指示する。

教科書

テキストは以下のものを使用する。
木藤才蔵校注 新潮日本古典集成『徒然草』（新潮社）昭和52年 2,500円

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文 学 (2) 〔日本文学－近代－〕	おお いずみ まさ ひろ 大 泉 政 弘	短 仏	4

講義のねらい

本年度も、文学における「時代性」について考えて行く予定である。明治から現代へ、時代の流れの中で、現在も我々のこの社会に影を落としている問題が存在する一方で、時代の波の中に埋没していった問題もある。それは、時代という奔流の中であって、今に生きる文学作品と埋没し姿を消して行った作品があることと無関係ではない。「戦後」が遠のきつつある中で、時代と文学の関わりを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期「文学」という概念の説明から入り、日本の文学思潮とその特殊な流れの背景や明治日本固有の近代概念についておおまかに講義する。

概論の講義が終わったところで、明治20年代中期・後期・30年代の作家の作品を比較しながら読む。特に本年は、小説だけではなく、詩歌等韻文も読む予定である。

後期 前期の展開にもよるが、宮本輝等現代作家を読む予定である。

成績評価の方法

前期のレポート・期末試験・講義への出席で総合的に評価する。

教科書

教科書は特に定めないが、講義の中で指示した作品は必ず講義の前に読んでほしい。参考書についても講義の中でその都度指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 (1) 〔日本近代史〕	はやし あきら 林 彰	短 仏	4

講義のねらい

19世紀後半から20世紀初頭にかけては、いわゆる近代日本の国民国家の形成・成立期にあつている。その国民国家は、内に対しては民権や地域の思想・文化などを抑圧しつつ、外に向かっては国権を優先させた帝国主義的なあゆみを伸張していく。そこでは、天皇制思想を核とする体制側の思想と民権運動や初期社会主義の運動などを含めた反体制側の思想が、対立ないしは錯綜したものとなっている。そうした国民国家形成期における知識人や「国民」のあゆみはどういったものであったのか、検討してみたい。今年度は知識人に重点をおくが、われわれは明治の精神の中に今日に通じる思想やこれまで気づかずになっていた新しい問題を改めて発見できうるかもしれない。講義では、主に人物やジャーナリズムを通して明治期の思想をみていくつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、日本近代史を概観する。その後、数人の人物をとりあげ、時代背景を考慮しながら彼らの思想や行動をおってみる。さらに時間があれば、明治20年代の雑誌や明治30年代の知識人(初期社会主義者)にもふれて、国家や民衆との関係性などを検討してみたい。

成績評価の方法

レポートか期末試験のどちらかにする。

教科書

講義中に指示する。

参考書等

参考文献は講義中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔中国古代史〕 (2)	茂 沢 方 尚 <small>も ざわ みち なお</small>	短 仏	4

講義のねらい

中国の古代史とは、秦の始皇帝、李斯等が活躍する以前の歴史を通観するとともに、その中国の西北方にいたとされる少数民族との関係を中心に、中国の文献学に基づく情報の稀少性に充分配慮しつつ、最近の青銅器の銘文の分析を再検討しながら、その西北方の異民族の実態に迫ろうとするものである。

それは解説困難を極める王国維、郭沫若等の研究が不可欠である。それには、古代中国の文字学（小学）的知識がどうしても必要である。

それは中国古代史をひもとくためにも、又日常我々が使う漢字について注がれた説文学の膨大な諸成果がある。多岐茫羊の感が深いが、それらの研究を無視しては、研究が進展しない。そういう小学の知識、清朝考証学に敬意を表しつつ、この幻とも思われる西北方の民族の研究にけんめいの努力を捧げた王国維やプルセックの研究を紹介しつつ、この謎に迫ってみたいと思っている。又中国古代の諸子百家の思想の根源にさかのぼってみたい。

教科書

『韓非子の思想史的研究』（近代文芸社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔中国古代思想史〕 (3)	茂 沢 方 尚 <small>も ざわ みち なお</small>	短 仏	4

講義のねらい

中国古代とは、私の場合、漢代以前を指す。その時代を含むが、私の関心は、中国の諸子百家の思想の源流を尋ねることにある。それは老子、孔子、孟子、荀子、荘子、列子、楊朱、慎到、申不害、商鞅、管子、韓非子、李悝等の活躍した春秋戦国時代に遡及して、それぞれの思想を歴史的に解明しようという願いに支えられている。果たして「道」とは何か、「常道」とは何か。「自然」とはと問題は複雑多岐にわたり、把えんとし把えきれない程深遠である。しかし私は私の関心に依って支えられている長年にわたる研究成果の一端を示して、諸君とともに、この四千年とも五千年とも言われる歴史をもつ中国の心臓部に立ち入ってみたいと思っている。

教科書

『韓非子の思想史的研究』（近代文芸社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (1) 〔西洋思想の源流〕	かわ 谷 <small>あつし</small>	短 仏	4

講義のねらい

この授業では古代地中海世界において展開されたギリシア哲学と西ヨーロッパ全域を舞台とした中世のキリスト教哲学とを主に扱う。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流（ヘレニズム・ヘブライズム）に対応するものであり、それぞれ知の優位と信の優位という対立のもとにさしあたっては理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続性と同時に連続性という側面も併せ持ち複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば、これら両者がいかなる意味で現代の「源流」であるのかは改めて問われなければならない。

講義の内容・授業スケジュール

講義では主に次のような内容を扱う。

- ① ギリシア哲学（ソクラテス以前、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）
- ② キリスト教哲学（教父哲学、スコラ哲学）
- ③ 近代哲学（合理論、経験論）

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

授業においてその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 (2) 〔近代の人間観と世界観〕	い 古 田 <small>まさる</small>	短 仏	4

講義のねらい

例年、ひとつのテーマを決めてヨーロッパ近代哲学・思想の諸相を探ってるが、今年度は「法と国家」について考えてみたい。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

開講時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 (3) 〔現代文明と人間〕	あさ 麻 生 享 志	短 仏	4

講義のねらい

どういものが真理だろうか、認識はどのようになっているのだろうか、存在とは何であろうか。このような問いが、哲学の立てる問いである。普通、「哲学」という言葉は、経営哲学とか、趣味における哲学などと使われる。それは、人生論とか、自分独自のこだわりや目標のようなものである。そのような哲学は、学問的でもないし、哲学との内容的なつながりもない。そういったものではなく、本当の「哲学」、本物の哲学を、現代の視点から案内したい。講義では、いろいろな哲学関係の議論の中で、おもしろさを伝えられるようなものを選び、わかりやすく説明する。また、哲学の議論は、人間の諸問題とつながっている。だから過去に行われた議論を紹介するだけでは足りない。講義を聞く一人一人が、自分の問題として考えられるようになるために、私自身の考え方や批判も示す。

講義の内容・授業スケジュール

主な話題としてプラグマティズム・分析哲学・ドイツ観念論・生の哲学などを考えているが、西洋近世に限らず、古代や東洋思想にも言及する予定である。

履修上の留意点

学問の場として、自分で考える態度を持つように努めること。そのためには、自分で読んだり、調べたり、書いたりしなければならない。その具体的なやり方は、講義において、場合に応じて説明する。

成績評価の方法

前期・後期試験・夏のレポートを中心とし、平常点として小テスト・出席点を加味する。

教科書

基本的には、なし。

参考書等

その都度、講義の中で丁寧に紹介する。

その他

多少は指名して対話するかもしれないが、基本的には講義。主体的な質問は大いに歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 (1) (2) 〔科学方法論と現代論理学〕	いこた 伊古田 理・山本 敦之	短 仏	4

講義のねらい

論理学という学問のあつかう問題をわかりやすく解説し、同時に現代の記号論理学の基礎を習得することを目標とする。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

開講時に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫 理 学 (1) (2) 〔西洋倫理学〕	かわなに 河 谷 あつし 淳 ・ 末 木 やすひこ 恭 彦	短 仏	4

講義のねらい

人間がただ生きるのではなく、「よく」生きることを目的とする生物だということは、考えてみれば不思議なことだ。両者が具体的にどう違うかと問われれば答えに困るが、我々はこの二つのことが違うということは知っているし、「よく」生きるとは、「うまく」あるいは「快適に」生きるとか、「強く」あるいは「美しく」生きることとは何となく違うのではないかと思っている。倫理学は「よいこと」あるいは「悪いこと」の意味を分析し解明する学問である。そこでは大ざっぱに言って次の二つのことが問題になる。すなわち、何が「よい」（あるいは「悪い」）のか。そして「よい」（あるいは「悪い」）とは何なのか。例えば、人を殺すことや盗むことは「悪い」ことだろうが、それらにも様々な様態があり、それらを一概に「悪い」と一言で言ってしまうことにはためらいが残るし、もしかしたら「よい」殺人というものもあるのかもしれない。また様々な事柄がともに「よい」（あるいは「悪い」）と呼ばれるのだから、そこにはそれらに共通の統一的な「何か」が生起していると考えことは自然である。とすればそれは何なのか。一体いつから我々はこんなふう考えるようになったのだろうか。西洋ではこの種の考えが登場した古代ギリシア以来、倫理学は、哲学や神学あるいは法学など諸学問の思想的基盤として大きな役割を果たしてきた。

講義の内容・
授業スケジュール

東洋思想と対比しつつ西洋倫理思想史上の考え方のうちいくつかをとりあげて解説する。

成績評価の方法

成績は中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

講義中に適宜に指示する。

(2) 社 会 分 野

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 (1) 〔法と権利〕	みつだ まま よし 光 田 督 良	短 仏	4

講義のねらい

本講座は、「法学・憲法」と二つの標題を持ちますが、全体としては、「法と人権」というテーマのもとに講義をすすめます。人権を保障している憲法も「法」の一つです。そこで、まず、「法とは何か」ということを検討します。そのためには、できるだけ多くの「法現象」を見聞することが必要です。それは、これらについての個別分野の専門科目が多く存在する事からも理解できます。しかし、「法学」の講義が、それぞれの個別分野を概観するような内容であれば、中途半端は内容となってしまいます。したがって、講義では、これら個別分野の科目に共通する、法の一般的な、基礎的な考え方について検討します。

次に、憲法の内容に入ります。「憲法」の講義の目的は、日本国憲法の内容を、主として憲法解釈学の立場から理解することにあります。憲法の講座では、本来、日本国憲法全体を対象として検討しなければなりません。講義では、本講のテーマおよび時間的制約から、特に人権を中心に検討します。具体的には、人権の内容、限界、制限といった点が主たる内容となります。もっとも、その際、国会、内閣、裁判所などの統治(政治)機構についても、人権との関連において、人権をよりよく確保するための制度という観点から、必要に応じて、採り上げます。

「法の一般的な、基礎的な考え方」、「人権の内容、限界、制限」の検討というと、どうしても抽象的で、難解であると考えられがちです。しかし、抽象的な検討に終始すれば、十分な理解もできませんし、また学修する意欲、興味を損なうこととなります。そこで、講義では、できるだけ、判例など実際に起きた具体的事柄に例を求め、分かりやすく説明するつもりです。

また、人権をめぐる法現象は社会現象の一つですので、現実の社会において現在生じている事柄についても、「今」の法を考えるという意味において、関連性、必要性に応じて採り上げるつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、具体的には以下のようなスケジュールで行います。

序 法学・憲法を学ぶに当たって

I 法とは何か

- 1 法とは何か——法の定義
- 2 法と道徳 (関係の歴史・区別の基準)
- 3 法の構造
- 4 法における強制 (主体・方法・意味)
- 5 法の目的 (正義・秩序)
- 6 法の効力
- 7 法の適用
- 8 法の解釈

II 憲法における人権

- 1 日本国憲法の基本原則
- 2 基本的人権の視角
- 3 包括的な人権
- 4 法の下での平等
- 5 内心の自由
- 6 信教の自由と政教分離
- 7 表現の自由
- 8 経済的自由
- 9 身体的自由
- 10 社会権
- 11 立法と国会
- 12 行政と内閣
- 13 裁判と司法

履修上の留意点

講義では、「検討する」という姿勢を重視します。したがって、受講者も、講義を聞き、板書を写し、それを覚えるということではなく、常に「考える」という態度で望んでほしく思います。そのためには、少なくとも、教科書の講義該当部分を読んでおくことが必要です。

成績評価の方法

成績は、学年末に行う試験を中心に評価します。受講者数にもよりますが、出席をとった場合、それを平常点として評価することもあります。

教科書

- I の分野については、有沢知子・光田督良・山本悦夫著『法と社会生活』(尚学社) 2,060円
II の分野については、古野豊秋編『スタンダード憲法 [テキスト版]』(尚学社) 1,000円

参考書等

六法(用途に応じた種類等については開講時に紹介します)。参考書等は講義の進行に応じその都度紹介します。

その他

主として講義の形式ですすめます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法学・憲法(2) 〔法と社会生活〕	長谷川 日出世	短 仏	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会科学論(1) 〔社会認識の思想〕	小杉 修二	短 仏	4

講義のねらい

社会科学とはフランス革命や近代社会の成立を契機として生れたものと言われる。人と人との関係が生々しい形で衝突し合うのではなく、法や商品といった関係を通じて、いわば間接的に他者と係わり合うが如き社会が生れた時、物や法の向う側にある、人や人間集団の仕組みを知ろうとする努力が始まった。

本講義ではこのような社会科学の巨人たちの思想に時折ふれつつ、主として、現代世界が私たちに投げかけている問題について知ることから初めてみたいと思っている。即ち、テレビや新聞を素材にして、さまざまな現象にとりあえずふれてみよう。しかるのち、社会科学的思考でそれらを見直してみると、それらはそもそもどんな問題だったのかを考えてみたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

授業の進め方としてはその時々話題になったトピックスを取上げながら進めていきたいと思っはいるが、前期のテーマは「経済成長と人間」を、後期は「経済成長と環境問題」を柱にしていこうとする。

成績評価の方法

成績評価は、前後期の私権と若干のレポートで行なう予定。

教科書

教科書は特に指定しないが、テレビの情報系番組や新聞に目を光らせるように望む。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 (1) 〔現代経済と人間〕	みょう せ まさ はる 明 瀬 政 治	短 仏	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

受講生にあっては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- ① 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
 - ② きょうは「経済学」か、と言わせたい
- そして、
- ③ 結構おもしろい（じゃん）、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りで業間チェック(クイズ)を行い、平常点として考慮します。

教科書

教科書は、酒井泰弘著『はじめての経済学』（有斐閣）1,957円を使用しますが、基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

参考書等

- 幸村千佳良著『経済学事始』（多賀出版）
 伊藤 元重著『入門経済学』（日本評論社）
 林 俊彦著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 (1) 〔現代社会を考える〕	はし つめ まとし 橋 爪 敏	短 仏	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題——大衆社会、高度情報化社会、高度消費社会等——を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

- 高尾・橋爪編『社会学の基礎』（厚書房）
 R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
 その他授業中に適宜指示したい。

教養教育科目
社会分野

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 (2) 〔現代文化を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	短 仏	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題——文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等——を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』(学文社)

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』(犀書房)
R. ニスペット『現代社会学入門1～4』(講談社学術文庫)
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計学 (1) 〔社会現象の統計的決定〕	くさ か やす お 日 下 泰 夫	短 仏	4

講義のねらい

統計学は、観測値(バラツキをもったデータ)から観測値の源泉に関する結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定などに広範に使用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と方法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 統計的方法の本質、2. 記述統計、3. 標本空間と確率、4. 確率変数と確率分布、6. 母集団と標本、7. 推定、8. 検定、9. 相関、10. 回帰

履修上の留意点

統計学は数学の一分野であり、積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

後期末に行う試験を主に、出席状況、演習を加味して評価します。

教科書

P.G. ホーエル(浅井 晃、村上正康 共訳)『初等統計学』(培風館) 1,732円

参考書等

開講時に紹介します。

そ の 他

授業の方法：重要な部分はその講義の終了の都度個別に演習を実施しますが、全講義の終了直前(12月頃)に3～4時間をかけて演習を行います。ここでは、これまでに学習した全内容に関する典型的な問題とその解答について解説し、自習のための便宜を図ります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学 (1) 〔文化と人間〕	お 小 川 とし 順 敬 お 小 川 とし 順 敬	短 仏	4

講義のねらい

文化人類学とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする文化人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけではありません。比較を通してその差異と共通性について考え、それらの作業を通じて文化とは何か、人間とは何かについて考えようとしているのです。

この講義では、私たちにとっては一見奇妙に思ってしまう異文化の慣行のなかにある考え方を探りたいと考えています。そしてまた同時に、日頃私たちが何気なく行っている生活慣行をふりかえり、異文化と比較しながら、その意味を考え直してみたいと思います。ふだんは気付かない私たちの文化の形が、異なる文化の調査者の目を通して現れてくるのではないのでしょうか。すなわち、この2つの目的は比較という作業を通してこそ可能となるものなのです。

講義では、以上のような文化人類学の研究方法の特徴について具体的な事例をもとに述べていきたいと思っています。しかし、文化人類学という学問はまだ歴史も浅く、全体としてかならずしもまとまった体系をなしているとはいえないと考えられています。基本的な概念のいくつかや研究方法についても学問的な議論がつついている場合があります。そこで、同時にその方法がはらむ問題点についても考えてみたいと思います。

なお、この講義は専門課程の前段として行なうものではありません。したがって、文化人類学の専門性の強い講義ではありません。あくまで文化人類学の基本的な考え方について受講のみなさんに理解を深めてもらうことを第1の目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

文化人類学の研究対象領域は広範にひろがり、また研究方法も多岐にわたっています。そこで、1年間の講義でそのすべてに触れることは不可能です。そのため講義では、下記に挙げる幾つかの研究領域をトピックとして選び、文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説することにしたいと思います。

前期では、「文化と分類」を大きなテーマとして、文化の概念の検討を考えてみたいと思います。

たとえば、私たちの社会では「虹は7色」といわれていますが、これは人類すべてにとって真実でしょうか。文化の違いによって虹の色数が異なるとしたらこの「異なるという事実」をどの様に考えればよいのでしょうか。人間をとりまく自然環境（あるいは社会環境）をどの様に秩序づける（分類する）かは、文化によって異なっているといえるでしょう。すなわち、人間は自然環境や社会環境をどの様に秩序づけ、分類し、そして「創り出して」いるのかという問題を考えてみたいと思います。そして、この問題を言語や象徴、また認識の問題として述べていくことにしたいと思います。また、親族関係（人間の分類）、社会関係などにも触れたいと考えています。

後期は、文化人類学の研究分野から、アニミズム、シャーマニズム、呪術と宗教、祖先崇拝、贈与交換、文化変容、などをトピックとして取り上げ、文化相対主義や調査方法論、フィールドワークなど人類学の研究方法の特徴と問題点を考えます。その際、人類学の幾つかの基本的な概念についても再考したいと考えています。

成績評価の方法

年に1回のレポート提出（夏期休暇明け）と、年度末の筆記試験により評価します。年度末の試験は必須条件です。レポートは受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容・形式、出席その他に関しては最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男著『文化人類学入門』（中公新書560番）800円

参考書等

講義の内容に直接関連する参考書は適宜紹介します。

その他

年に2、3回は講義の内容に関連するビデオを見たいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学(2) 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ い じゅん いち 杉 井 純 一	短 仏	4

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとわられず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼、慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者から理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化とコミュニケーション
 - 3. 環境と人間
 - 4. ジェンダーとセクシュアリティ
 - 5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 儀礼の構造
 - 2. 呪術と宗教
 - 3. 儀礼・神話・世界観
 - 4. 神聖王権
 - 5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート、期末試験で評価します。

教 科 書

特に指定しません。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）

そ の 他

できるだけ、ビデオを利用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 (1) 〔政治システムと政治参加〕	ほ う り し ょ う い ち 宝 利 尚 一	短 仏	4

講義のねらい	冷戦後終結からほぼ10年、国際政治に新たなパワーゲームが始まっている。国際関係の変化を分析する。その過程で各国の政治システムのあり方、非政府組織（NGO）、市民団体などの政治参加の増大などについても検証する。
講義の内容・授業スケジュール	国際政治のアクター（主体）の変化を、具体的事例に基づいて解説する。 国家、民族の対立、アジア・太平洋地域での4極パワーゲーム、宗教に関連する「文明の衝突」論など、現代世界の動向をみながら分析する。
履修上の留意点	授業をより活発化するため、一つのテーマについて複数の学生に意見を発表してもらおう。新聞、時事雑誌などをよく読み、世界の動きと日本の動きについて関心をもってもらいたい。
成績評価の方法	不定期に国際政治に関する専門語などについて小テストを行う。定期試験は2-3のテーマから1テーマを選び、論文作成とする。
教科書	教科書は特定しない。国際政治システム、国際政治に関する論文、新聞解説などを参考資料としてプリントし、その都度配布する。
その他	プリント教材やビデオ教材をもとに、国際政治のあり方、政治システムについての問題意識を高めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 (2) 〔国際社会と日本〕	や ま た あ つ し 山 田 敦	短 仏	4

講義のねらい	政治学入門講座の1つとして、「政治を見る眼」を養うことを目的とする。副題にあるとおり、国際社会のなかで現代日本が直面するさまざまな問題点や課題を取り上げるが、いわゆる時事問題解説ではなく、出席者ひとりひとりが政治問題を考えていくための「分析の道具」を提供することがねらいである。政治学・国際政治学の理論や概念を手がかりに、今日の国際社会と日本について、各自が意見を形成していくことを望む。
講義の内容・授業スケジュール	主として以下の項目を取り上げる。詳しい授業のスケジュール表は、第1回目の講義で配布。 1 インTRODクッション 2 「ジャパン・プロブレム」とは何か 3 日本異質論 4 日本ただ乗り論 5 貿易摩擦と日本 6 国際組織と日本 7 日本の国際貢献
履修上の留意点	出席者の希望も取り入れて講義内容を充実させたいので、講義初日にアンケートを実施する。日本政治あるいは国際政治で特に関心がある問題を2~3つ考えておくこと。
成績評価の方法	中間レポートと学期末試験による。どちらも、①論旨明快であるか（発想だけで裏付けがなければ不可）、②みずからの意見を述べているか（参考書の丸写しは不可）を評価基準とする。7月第1週目の講義で、中間レポートの課題を発表する。中間レポート未提出者は学期末試験を受けられないので留意されたい。
教科書	特定の教科書は使用しない。
参考書等	さらに詳しく勉強したい出席者のために、講義中に参考文献を随時紹介する。

(3) 自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゅんいち 鈴 木 順 一	短 仏	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅でしていただきます。授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・ 授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』— 自己理解ワークブック —（ナカニシヤ出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心 理 学 (2) 〔人間関係を考える〕	すず き じゅん いち 鈴 木 順 一	短 仏	4

講義のねらい

より良い人間関係を築くには、自分や他人の性格を深く理解し受容する必要があるでしょう。特に、自己を知り自分をコントロールすることは重要です。

自分のことは自分が一番良く知っているようであり、実は案外知らないことが多いことを深層心理学は教えてくれます。他人という鏡を通して自己を見つめなおさないと、本当の自分の姿はなかなか見えてこないものです。

本講座では、主として性格心理学や臨床心理学を背景にして、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いの性格を理解し、より良い人間関係を築いていくような体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教 科 書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円

川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 (1) 〔生態と進化〕	しみず よし かず 清水 善和	短 仏	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しているわけであり、進化を抜きにして生物を理解することはできない。一方でこの地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20m 超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。この生物の多様性が生物を理解するもう一つのカギである。さらに、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。本講義では生物の進化や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化
 - (1) 遺伝子と生命現象
 - (2) 進化のメカニズム
 - (3) 集団遺伝学の基礎
- 第2章 40億年の生物進化
 - (1) 地質年代図
 - (2) マーグリスの共生説
 - (3) カンブリアの爆発
 - (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類
 - (1) リンネ式分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 種の定義と属性
 - (4) 相同と収斂
 - (5) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化
 - (1) 動物行動学の基礎
 - (2) 適応度とゲーム理論
 - (3) 利他的行動と血縁淘汰
 - (4) 性選択と性比
 - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学
 - (1) 生命表
 - (2) 個体数の変動
 - (3) r-K 戦略
- 第6章 共生と競争
 - (1) 花と昆虫のパートナーシップ
 - (2) 菌根の役割
 - (3) 擬態
 - (4) 共生と寄生
 - (5) 生物学的多体問題
- 第7章 人類の進化
 - (1) 霊長類の系統
 - (2) ヒトの発展段階
 - (3) ホミニゼーション (ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論
 - (1) ダーウィン以前
 - (2) ダーウィン進化論
 - (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系
 - (1) 生態系 (エコ・システム)
 - (2) 食物連鎖
 - (3) 物質生産とエネルギー流

- (4) 物質の循環
- (5) 地球環境の形成
- 第10章 植生遷移
 - (1) 遷移のモデル
 - (2) さまざまな遷移
 - (3) 森林の更新
 - (4) 植生の復元
- 第11章 生物多様性
 - (1) 3つの多様性
 - (2) 多様性の尺度
 - (3) 熱帯林とサンゴ礁
 - (4) 多様性の危機
- 第12章 人為と生物
 - (1) 里山の生物
 - (2) 都市と生物
 - (3) 帰化種の侵入
 - (4) 汚染と指標生物

成績評価の方法

テスト、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に用いない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 (2) 〔 生物と環境 〕	<small>なかむらとしえ</small> 中 村 敏 枝	短 仏	4

講義のねらい

人間の創りだした化学物質は、確かに私達の生活を快適で便利なものにしてきた。それが持つ負の側面について、最初に警告を発したのは、R. カーソンであり、「沈黙の春」の出版は1962年のことである。30年後の今、私達は内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）に脅かされている。生殖機能のみならず、免疫系、神経系をも損なう可能性があるという。

間違いなく、地球は将来人類絶滅の瞬間を用意している。人類にそれを避ける手段はない。できることは、その瞬間をどれだけ先に送るかだけなのだ。「病んだ地球」、「傷ついた地球」という言葉が、かつてあった。痛み、傷ついていたのは、地球ではなく実は人類自身なのである。

この1年間、生物と環境について考えていきたい。まず、生命の営みをいろいろな段階（個体・個体群・群集・生態系）で紹介する。次に、環境破壊の幾つかについて、その背後にある社会・経済問題も視野にいれて考察したい。地球史における人類の時間を少しでも長くするために、一体何ができるのか、何をしなくてはならないかを、一緒に考えましょう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生物の生活：生命の維持・植物の物質生産・動物の個体群・社会・行動
2. 生態系：物質の循環・エネルギーの流れ
3. 人間による環境破壊：オゾン層の破壊・地球温暖化・酸性雨・熱帯雨林の破壊・化学物質汚染・ゴミ問題など（これらのうちの幾つか）

教科書

未定

参考書等

その都度紹介します

その他

意見発表の場を設けるので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。期末試験と平常点とで総合評価をします。教科書は未定。参考書はその都度紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(1) 〔コンピュータと情報〕	たけだ よういち 竹 田 洋 一	短 仏	4

講義のねらい

今日の情報化時代、コンピュータが我々の社会において果たす役割はきわめて重要なものとなっており、この技能を少しなりとも有することは特にこれからの若い世代にとってはほとんど不可欠であるとみなして良いであろう。本授業の目的とするところは、未経験の初心者を対象にして、①コンピュータに関する最低限の基礎的知識、並びに②将来必ず必要になる代表的なビジネスソフトの操作経験、を身につけてもらうことにある。とはいえ堅苦しく考えるには及ばない。基本的な姿勢として、無味乾燥な学問的知識を強いて覚え込ませるという形はなるべく取りたくはない。むしろ「習うより慣れろ」に重点を置いて、パーソナルコンピュータを実地に操作する演習を中心に据え、「コンピュータとはこんなことまで出来るんだ」といった感動を一人一人が自分自身の感覚で味わってもらいたいものと願う次第である。

講義の内容・授業スケジュール

この基本的指針の通り、次のような実際上の目標を設定して授業を進めたいと思っている。まず最初は、現在もっともポピュラーになったパソコンのオペレーティングシステムの代表格であるウィンドウズ（教場のパソコンは富士通 FM-V+Windows NT）に親しみ、習熟することを目指す。タイピングや日本語入力などのキーボードの操作、マウスを用いたウィンドウズの基本的テクニックから初めて、ファイル並びにディレクトリの取り扱い、ディスクへのデータの読み書き、などをまず学習する。そしてワープロや描画ソフトなどを用いてデータの交換と貼り付けの手法を学び、絵入りの文書が作成できるまでの基礎を身につける。

しかる後にビジネスソフトパッケージの代表格であるマイクロソフト社の「OFFICE」に含まれる各ソフトを用いての実習に取り組む。前期は主に表計算ソフトの「EXCEL」を扱うことにする。基本的な帳簿計算やグラフの作成の手法を学習することで、如何にこの種のツールが実際のビジネスにおいて便利なものであるかを自分自身で体験してもらいたい。後期は「データベースの取り扱い」をメインテーマに据えたい。前期で慣れた EXCEL に加えて、高機能のデータベースソフト「ACCESS」を用いて大量のデータの取り扱いと整理の仕方を学ぶ。できれば最終的には、初歩的なレベルのプログラミングで独自のシステムやインターフェイスを作ることできる段階にまで到達してもらいたい。

履修上の留意点

先にも述べたように初心者を対象とするので特に予備知識の必要性はないが、折に触れて課題や宿題を出すつもりであるので授業以外でもパソコンの使用が必ず必要となるであろう。そのためには情報教育センターの自習室のパソコン群があるので、センターにこの利用のための登録(登録料1,000円)をする事はほとんど必須であるものと理解されたい。

成績評価の方法

各人の成績は、一年を通しての出席の様子、課したレポートや課題の提出状況と出来具合、おのおのの前期後期の終わりに行う計2回の試験の点数、などに基づき総合的に判断して決定する。

教 科 書

本年の授業では決まった教科書は特に用いない。しかし毎回授業の際にプリントを配布する予定である。

そ の 他

実習室のパソコンの台数が限られているため、受講希望者が多い場合は選考をせざるを得ないので、その旨理解されたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(2) 〔コンピュータと情報〕	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	短 仏	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理を学ぶ。実習を交えながら現在のコンピュータネットワークの上で実現されているさまざまな機能を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータとはなにか、どのようなもので構成されているか、という金物的な話から、そのうえで実現され、実行されるソフトウェアとはどのようなものか、という話、さらにはコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネット上ではどのようなサービスが利用できるのか、という話まで、実習を交えて行う。ソフトウェアの背景となるプログラミング言語とプログラミングにも途中で簡単にふれる。インターネット上のサービスとして、電子メール、オンラインニュース、WWWなどのサービスを実際に利用する。その際にインターネット上のセキュリティに関する話にも簡単にふれる。最終的にはHTMLを用いたホームページの作成を通じて、構造を持った文とは何かを知る。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須になる場合もある。その場合は、実際の利用申請は、授業の中で適宜行う予定である。

成績評価の方法

評価は前期末（中間試験）と後期末（期末試験）の2回の筆記試験および演習（授業時間中に適宜行う）によって行う予定である。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 (1) (2) 〔変動帯としての日本列島〕	ふじ 藤 井 すすむ 享	短 仏	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多く地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯といっても過言ではない。

近年、九州の桜島火山、阿蘇中岳、雲仙普賢岳、伊豆諸島の三宅島、大島三原山、伊東沖海底火山、北海道の十勝岳、雌阿寒岳、有珠山、駒ヶ岳など火山活動が活発化し、多くの災害を引き起こしている。また、宮城県沖地震、浦河沖地震、日本海中部地震、釧路沖地震、北海道南西沖地震、北海道東方沖地震、三陸はるか沖地震、兵庫県南部地震等地震関連の災害も多発した。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 (1) 〔宇宙から見た地球環境〕	しの 篠原 まさ 正 雄	短 仏	4

講義のねらい

工場が周囲を汚染する公害問題から始まって、今日では全地球的な環境問題が議論されている。人類の活動が、物質循環においてもエネルギー循環においても惑星規模に達したことの当然の結果である。本講では個別の環境問題ではなく、[地球環境]とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを論じる。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきた。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にある。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきた。本講では、現代の天文学と惑星科学の成果の上に立って地球の自然環境を眺めてみる。

講義の内容・授業スケジュール

太陽放射は地球環境の支配的な要因である。ところが人類は化石燃料の使用等により太陽放射と地球環境の関係を変えようとしている。前期は、まず太陽放射について学び、太陽系の他の惑星との比較をおりませつつオゾン層、地球温暖化について考える。

化石燃料を減らすには、原子力や太陽エネルギーなどの代替源が要る。後期は核エネルギーと放射能環境、太陽エネルギー利用の可能性について学ぶ。さらに、地球独特の自然が形成されてきた歴史をたどり、未来を考える。

成績評価の方法

学期末に行う筆記試験により、平常点を加味する。

教科書

パリティ編集委員会編『地球・環境・惑星系』（丸善）1,500円

参考書等

講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 (2) 〔環境と保全〕	うるし 漆原 かず 子	短 仏	4

講義のねらい

前期は自然環境を理解するための基礎知識について講義する。後期には人間活動による自然環境の諸問題についてふれる。地球の温暖化、オゾン層の破壊、大気汚染、酸性雨、砂漠化、熱帯雨林の破壊、鉱山跡地の保全、観光洞内の人為による影響について、最新のデータをプリントで配布し、説明する。受講生には自然にどのように接するべきか、自然の保護保全のために何をすべきかを考えてもらう。

履修上の留意点

各時間に使用する図表のプリントを配布する。但し、その時間以外では配布をしない。毎回出席すること。

成績評価の方法

出席と試験によって評価する。

教科書

なし。

参考書等

テーマごとに授業中紹介する。

その他

講義方式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 数 学 (1) 〔 情 報 と 論 理 〕	み よ し し げ あ き 三 好 重 明	短 仏	4

講義のねらい

この講義では、コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際の数学的部分の基礎についての解説を行う。

講義の内容・授業スケジュール

したがって、基本的な数学の言葉の説明から始めて、論理代数と論理回路、アルゴリズムとその存在、計算量の問題、等を解説する予定である。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は毎回必ず受け、出題された演習を必ず解いているものと仮定する。

成績評価の方法

評価は原則として前期末と後期末の2回の試験によって行う。

教 科 書

講義の初めに指定する予定である。

3 外国語科目

3 外国語科目

《選択必修科目》

英語 I	(大庭直樹)	275
英語 I [再クラス]		
英語 II	(佐々木 隆)	275
ドイツ語 I	(新倉 真矢子)	276
ドイツ語 I [再クラス]	(本橋 右京)	276
フランス語 I	(小玉 齊夫)	277
フランス語 I [再クラス]	(前田 祝一)	277
中国語 I	(宮本 厚子)	278
中国語 I [再クラス]	(秋元 翼)	278
中国語 I [再クラス]	(東 映全)	279
中国語 I [再クラス]	(大久保 明男)	279
中国語 I [再クラス]	(戸張 嘉勝)	280
中国語 I [再クラス]	(前川 亨)	280
スペイン語 I	(亀山 晃一)	281
スペイン語 I [再クラス]	(栗林 ゆき絵)	281
ロシア語 I	(廣田 英靖)	282
ロシア語 I [再クラス]		

《選択科目》

英会話 I	(外池 一子)	282
-------	---------	-----

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I	おお ば 直 樹 大 庭 直 樹	短 仏 1 年	2
英 語 I 〔再クラス〕		短 仏 2 年	

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスは、コンピューターを使って、英語による意志伝達 (Writing and/or Speaking) 能力の向上を目指す。受講者は、適切なガイダンスと自らの努力によって、パソコン相手に英作文、英会話表現、映画の英文字幕、そして TOEFL テストなどの語学演習に挑む。インターネット (マルチメディア) の世界を体験する。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。
到達目標：受講生が自らの弱点を補強していく。したがって、到達目標は、各受講生が自らの英語の運用能力をレベル・アップする語学演習形式にある。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。成績は、各受講生の「一年間の努力による成果」を評価する。

教科書

インターネット、使用ソフト-語学教材 CD、Micro English for Windows。受講者はフロッピーデスクのみ用意する-詳細は、教場で指示する。

その他

上記のソフトは電算機事務室 (4号館 2F) に置いてあるので、受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて自習室 (4号館 1F、夜 9 時まで開館) で補修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II	さ さ き たかし 佐 々 木 隆	短 仏 2 年	2

講義のねらい

本講座は一年次の習得内容をさらに深めるものである。

講義の内容・
授業スケジュール

読解にのみとらわれることなく、幅広い学習を目指す。

教科書

使用する教材はコピーにて配布する。四月当初にまず配布し、その後の学生諸君の興味や関心も念頭に入れ教材を決定する。

その他

授業のすすめ方は履習の人数にもよるが、発表の機会を設ける予定である。なお、英和辞典は必携。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I	<small>にい くら まや こ</small> 新 倉 真 矢 子	短 仏 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語文法の基礎を学ぶことに力点を置きますが、日常的に使用される文例をもとに対話練習を取り入れて、ドイツ語の基礎力をつけていくことを目標とします。その分文法事項は厳選する予定です。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項を比較的簡単に説明した後で、練習問題を多く取り入れて繰り返し練習します。声に出したり、書いたりする練習の中で、確実に身につけてほしいと思います。前の段階の学習項目が理解できてから次のステップに進めるように、努力を怠らないで下さい。

履修上の留意点

授業時に行うパートナー練習なども含め、積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験の点数と出席率、その他宿題や小テストなどを総合した点数。

教科書

在問進『一步一步のドイツ語』(郁文堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I 〔再クラス〕	<small>ちと はし う きょう</small> 本 橋 右 京	短 仏 2 年	2

講義のねらい

やさしい文章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

初級文法を初めから復習し、場合によっては補足します。表現は短くて平易な会話文です。テーマは、日常の挨拶に始まり、家族紹介、外出、手紙による旅の報告などです。テープを用いた、聞き取り訓練にも力を入れます。また、さまざまな状況や話題に応じて、パートナー練習をする予定です。

履修上の留意点

テキストには丁寧な文法問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んでください。みなさんの予習や授業中の発表など積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

『佐藤恵子・ドイツ語に親しもう』(同学社) 1,850円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I	こ だま なり お夫 小 玉 齊 夫	短 仏 1 年	2

講義のねらい フランス語文法を、ていねいに習熟していきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール 開講時に提示します。

履修上の留意点 欠席しないこと。

教科書 『新川村フランス語』（駿河台出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I 〔再クラス〕	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	短 仏 2 年	2

講義のねらい 初めてフランス語を学ぶものとして、簡単な発音の学習のあと、ゆっくりと基本の文法事項を修得してもらいます。

履修上の留意点 毎時間が新しい項目の勉強であり、その積み上げによって次の学習が可能となるので、欠席しないようにして下さい。

成績評価の方法 平常点を基本とし、人数によってはペーパー・テストも行ないます。

教科書 高井邦子編『フランス語ポイント文法』（駿河台出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I	みやもとあつこ 宮本厚子	短 仏 1 年	2

講義のねらい

中国語を初歩から学ぶ。発音記号（ピンイン）について学んだ後、初歩的な構文をマスターしてゆく。

履修上の留意点

発音の習得に時間がかかるので、毎回出席し、授業に積極的に参加することをのぞむ。

成績評価の方法

前後期末各1回に以外に、1～2回小テストを行なう。出席点も考慮する。

教科書

董燕・遠藤光暁著『話す中国語』基礎篇（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I 〔再クラス〕	あきもとたすく 秋元翼	短 仏 2 年	2

講義のねらい

中国語学習で特に難しく感じるところを丁寧に説明し、挫折せずに基礎が身につくようにします。同時に、その学習を通じて中国に対する関心が高まることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

中国語学習にとって難しいとされる発音の練習を重視しながら、やさしい例文を使って基礎的な文法を学び、さらに基本的な語彙や会話表現を学びます。

履修上の留意点

4分の3以上の出席と、授業中に声を出して練習する積極的な姿勢が必要です。

成績評価の方法

成績評価は、テストによりますが、出席率や日常的な学習態度も重視します。

教科書

渡辺晴夫等『(改訂版)フレッシュ中国語』(白水社)2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I 〔再クラス〕	あずま 東 えい 映 ぜん 全	短 仏 2 年	2

講義のねらい

中国語を構成する諸要素（発音・語彙・語法等）を体系的に習得し、中国語の基礎を築くことがこの授業のねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

まず発音練習から一步一步着実に前進させながら基本的な語彙と語法に慣れさせる。中国の文化・社会・習慣などでもできる限り紹介する。

履修上の留意点

口をあけて読むこと、そして反復練習することが語学上達の秘訣である。辞書を用意すること。

成績評価の方法

試験、出席、授業態度等総合的に判断する。

教 科 書

斎藤道彦等共著『中国を知ろう』（神保出版）2,500円＋税

そ の 他

1 回目の授業から必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I 〔再クラス〕	おお く ぼ 明 男 あき お	短 仏 2 年	2

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得をめざす

履修上の留意点

予習、復習は必須である。

成績評価の方法

以下の三項目で評価する

- ① 出席率：全授業回数の四分の三以上出席すること。6 回以上の欠席は単位放棄とみなす。
- ② 小テスト：各課終了後に小テストを行う。必ず受けること。
- ③ 学習態度：遅刻、早退、私語、指されて「わかりません」の即答など授業に対する消極的な姿勢はマイナス評価される。

教 科 書

尹景春・竹島毅『中国語はじめての一步』（白水社）2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I 〔再クラス〕	戸張嘉勝 <small>と べり よし かつ</small>	短 仏 2 年	2

講義のねらい	中国語の発音と声調を正確に覚え、さらに基本文型の解析によって、文の構造と文法を理解し、基本的な会話力を身につけるのがねらいである。
講義の内容・授業スケジュール	発音と声調のトレーニングを通して正確な発音を覚える。そして文法や文型の解析・練習問題、会話の応用などは教科書に従い展開する。
成績評価の方法	中間テスト、前期と後期の期末試験、出欠、授業態度などで評価する。
教科書	榎本英雄著『できる中国語』（同学社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I 〔再クラス〕	前川亨 <small>まえ かわ とおる</small>	短 仏 2 年	2

講義のねらい	中国語の発音（ピンイン字母と声調）、初級文法をもう一度やり直そうとする科目である。到達目標は正規クラスと同一である。
履修上の留意点	昨年つまづいた原因をよく考えてから、しっかりした気持ちで授業に臨むこと。疑問点にぶつかった場合にはその都度解決する姿勢が重要である。文法事項の復習、発音の自主的な練習が不可欠なことは言うまでもない。欠席はとりわけつまづきの元となるから極力避けること。授業中に私語する者、授業に非協力的な者（発音練習を行なわない者）の聴講は認めない。積極的にとり組めば、語学の授業も決して短なる苦痛ではなくなるだろう。
成績評価の方法	前期・後期それぞれの期末考査と小テストによる。欠席・遅刻はその数の多少に応じて減点する。三回連続して欠席した場合には履修の意志を失ったものとみなす。
教科書	荒川清秀『中国語ステップバイステップ』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	短 仏 1 年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・イントネーションを練習する。初級文法を終えた後、比較的簡単な会話の練習と文章講読により、スペイン語圏で生活したり、旅するに当って役立つコミュニケーション能力の開発と養成を行ないます。テープ、ビデオを併用して、背景文化の歴史にも触れ、関心を育てる。

履修上の留意点

成績評価は、年間数回のテストと日頃の出席状況・受講態度を総合して行ないます。

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I 〔再クラス〕	くり ばやし え 栗 林 ゆき 絵	短 仏 2 年	2

講義のねらい

基本的な文法事項の再確認をしましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

単語の数を増やすより基本的な動詞の活用をきちんとおさえておくことで、日常表現の幅を広げます。

履修上の留意点

特に重要な10程度の動詞を重点的に学習してみてください。それだけで十分普通の会話が出来たり、簡単な文章が読めるようになります。

成績評価の方法

試験と平常点を合わせた評価となります。

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）1,800円

その他

随時 Web 上のスペイン語の記事など、短いテキストを用意する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	短 仏 1 年	2
ロシア語 I 〔再クラス〕		短 仏 2 年	

講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ばないと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておおらかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようにします。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

戸辺又方『1年生のロシア語』(白水社) 1,400円

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 I	との いけ かず こ 外 池 一 子	短 仏 1・2 選	2

講義のねらい

旅行やホームステイといった状況で英語で意志疎通が出来るようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

ビデオとテープを使って様々な状況に応じた基本的な表現を練習しますが、speaking の力と listening の力は表裏の関係にありますから、listening comprehension の訓練にも時間をかけます。

履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。カセット及びビデオテープを必ず持ってくること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度に合わせて行う試験70%。

教科書

VIVA! SAN FRANCISCO (MACMILLAN LANGUAGE HOUSE) 2,000円

4 保健体育科目

4 保健体育科目

健康・スポーツ論 (長濱友雄)	289
健康・スポーツ論 (竹田幸夫)	290
健康・スポーツ実習 [卓球] (宮沢栄作) ...	291
健康・スポーツ実習 [トレーニング&ニュースポーツ] (大石武士) ...	292
健康・スポーツ実習 [バドミントン] (川村正義) ...	293

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論（前期）	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短仏1・2選	2

講義のねらい

我々日本人は世界一の長寿を誇っているが、ほんとうに健康で活力に満ちた生活を送っているのだろうか。最近のデータによれば体格は非常によくなったけれども、それに反して体力は低下している。それでどのような生活をし、体力の増強を計らなければならないかを中心に講義を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：現代生活の身体活動、余暇と運動
- 2 時限目：体力の定義、時代の変遷と体力
- 3 時限目：運動を起こす身体のしくみ
- 4 時限目：運動を持続する身体のしくみ
- 5 時限目：運動の継続体験に対応する身体の変化
- 6 時限目：体力の指標と運動の激しさの尺度
- 7 時限目：体力トレーニング理論
- 8 時限目：体力、運動能力の個人差と素質
- 9 時限目：運動と外気環境
- 10 時限目：運動と心理的要因
- 11 時限目：運動と食事・薬物
- 12 時限目：運動と疲労
- 13 時限目：ドーピング論
- 14 時限目：エイズ問題
- 15 時限目：オリンピック論

履修上の留意点

出席50%以下の者は採点の対象にしない。

成績評価の方法

出席30%、テスト70%で評価する。

教 科 書

特になし

参 考 書 等

『保健体育理論』『体力論』『人間と健康』

そ の 他

主として講義で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論（前期）	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	短仏1・2選	2

講義のねらい

健康・スポーツに関する基礎的な知識についての講義を行なう。健康については、現代病やストレス、肥満などのテーマで、とくに心と体の関わりで考えていく。体力については、基礎的な体力要素の特徴とトレーニング方法、またスポーツ運動学の立場から人間の運動のさまざまな特徴を具体的な例によって解説する。

大学生の年代は、将来におけるライフスタイルの基礎を確立する大切な時期でもある。講義の内容から、自分の健康や体力、さらにはスポーツに関する基礎的な知識と考え方についての理解を深めてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：人間と健康（心と体、現代病）
- 3 時限目：〃（心と体、ストレス）
- 4 時限目：〃（心と体、肥満とダイエット）
- 5 時限目：体力とトレーニングの方法（基礎的な体力要素）
- 6 時限目：〃（体力要素の特徴）
- 7 時限目：〃（トレーニング方法）
- 8 時限目：スポーツ運動の理論（スポーツ運動の特徴）
- 9 時限目：〃（運動の上達、習熟とは）
- 10 時限目：〃（運動の発達）
- 11 時限目：〃（スポーツにおける右と左）
- 12 時限目：〃（イメージトレーニング）
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：まとめ
- 15 時限目：試 験

履修上の留意点

授業において扱う内容、知識として聞くだけではなく、自分の身近な、そして具体的な問題として考えながら講義を聞いてほしい。

成績評価の方法

授業最後の試験と出席を加味して成績評価を行なう。

教 科 書

駒沢大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700円

参 考 書 等

授業内容と関わりのある以下の書籍を参考図書として上げておきたい。

- 1) 芦原 睦著『心でおきる身体の病』（講談社ブルーバックス）760円
- 2) D. チョブラ著『パーフェクトヘルス』（ダイヤモンド社）
- 3) 白石 豊著『スポーツ上達の基礎理論』（自由現代社）1,200円

そ の 他

授業は、主に講義形式で進めるが、テーマによっては受講生の見解を発表してもらう場合もある。また、バイオフィードバック装置（脳波測定装置）等の機器を利用して実験的な内容の授業も試みたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔卓 球〕	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	短仏1・2選	2

講義のねらい

文明発達著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは益々減少しつつある。このような生活環境、特に二部学生に対して例え少ない時間であっても、卓球を通じて身体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時限目：ラケットの種類の特長、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時限目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時限目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時限目：サービス、バックハンド
- 6 時限目：サーブレシーブ、バックハンド
- 7 時限目：総合練習
- 8 時限目：総合練習、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：　　〃
- 11時限目：　　〃
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：　　〃
- 14時限目：　　〃
- 15時限目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

そ の 他

服装は運動着、体育館用シューズ
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔トレーニング&ニュースポーツ〕	おお いし たけ し 大 石 武 士	短仏1・2選	2

講義のねらい

体力づくりは、トレーニングマシンがなくてもできるメディシンボールやユニットダンベル等、簡単な器具で行う体力づくりを正しく行い、現在及び将来の健康・体力の維持増進を目的とする。また、ニュースポーツとして現在静かなブームをおこしている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラを余暇ゲーム感覚で行い、楽しみながら生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：審判規則・ゲーム
- 8 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 9 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 10 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 11 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 12 時限目：トレーニング・スポーツチャンバラ：ゲーム
- 13 時限目：まとめ
- 14 時限目：まとめ
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員は40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：第二体育館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔バドミントン〕	かわむらまさよし 川村正義	短仏1・2選	2

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術／ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同第2日目
- 7 時限目：同第3日目
- 8 時限目：同第4日目
- 9 時限目：同第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同第2日目
- 13 時限目：同第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服 装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

成績評価の方法

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

